

2017年12月6日(水)

第1会場

[1AW01] いかにして「使える」データベースを維持し続けるか?

オーガナイザー:粕川 雄也(理化学研究所)、オーガナイザー:坊農 秀雅(ライフサイエンス統合データベースセンター)
09:00 ~ 11:30 第1会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 偕楽1)

[1AW01-1] ライフサイエンス統合データベースプロジェクトから学ぶこと

○高木 利久¹ (1.東大・院理・生物科学)
09:00 ~ 09:24

[1AW01-2] FANTOMプロジェクトおよび細胞データベース SCPortalenにおけるデータリソース維持管理の取り組み

○粕川 雄也¹ (1.理研CLST)
09:24 ~ 09:42

[1AW01-3] オープンサイエンス政策とその実践が目指す研究者社会に向けて

○林 和弘¹ (1.NISTEP)
09:42 ~ 10:06

[1AW01-4] 論文の補足資料を越えて: リポジトリとデータジャーナルによる効果的なデータ共有

○新谷 洋子¹ (1.シュプリング・ネイチャー)
10:06 ~ 10:30

[1AW01-5] 生命科学におけるオープンデータの理想と現実

○八塚 茂¹ (1.NBDC)
10:30 ~ 10:54

[1AW01-6] データベースとデータ解析の融合 ~なぜデータベースは必要か~

○露崎 弘毅¹ (1.理研・情報基盤・バイオインフォ)
10:54 ~ 11:12

[1AW01-7] 公共 DBを利用した研究は「コロンプスの卵」である

○坊農 秀雅¹ (1.情シ機構・ライフサイエンス統合DBセ)
11:12 ~ 11:30

[1PW01] クライオ電顕で見てきた生命現象

オーガナイザー:光岡 薫(大阪大学)、オーガナイザー:横山 謙(京都産業大学)
16:00 ~ 18:30 第1会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 偕楽1)

[1PW01-Introduction] Introduction

○横山 謙¹ (1.京都産業大学)
16:00 ~ 16:05

[1PW01-1] クライオ電子顕微鏡で解き明かす細菌べん毛モーターのトルク伝達に重要な回転対称構造
○川本 晃太¹、宮田 知子¹、木下 実紀¹、南野 透¹、加藤 貴之¹、難波 啓一^{1,2} (1.阪大院・生命機能、2.理研・QBiC)
16:05 ~ 16:33

[1PW01-2] クライオ EM による好熱菌由来 V 型 ATP 合成酵素の単粒子解析

○岸川 淳一¹、中西 温子¹、光岡 薫²、横山 謙¹
(1.京産大・総合生命・生命システム、2.阪大・超高圧電顕センター)
16:33 ~ 17:01

[1PW01-3] コフィリンによるアクチン線維切断機構

○成田 哲博¹ (1.名大・理・構造セ)
17:01 ~ 17:29

[1PW01-4] クライオ STEMトモグラフィによる細胞レベルの3次元構造解析

○青山 一弘^{1,2} (1.サーモフィッシャーサイエンティフィック、2.大阪大学 超高圧電子顕微鏡センター)
17:29 ~ 17:57

[1PW01-5] 細胞内の構造を三次元クライオ電子顕微鏡法で観る

○安永 卓生¹、荒牧 慎二¹ (1.九州工業大学)
17:57 ~ 18:25

[1PW01-Conclusion] Conclusion

○光岡 薫¹ (1.大阪大学)
18:25 ~ 18:30

第2会場

[1AW02] RNA生理学の学際的アプローチ —非コード RNAの全貌を明らかにする新たな試み—

オーガナイザー:黒川 理樹(埼玉医科大学)、オーガナイザー:片平 正人(京都大学)
09:00 ~ 11:30 第2会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 偕楽2)

[1AW02-Introduction] Introduction

○片平 正人¹ (1.京都大学)
09:00 ~ 09:06

[1AW02-1] TLS/FUSタンパク質と非コードRNAの認識機構の解明と結合に伴う TLS/FUSの大きな構造変化の検出

○片平 正人¹ (1.京大・エネルギー理工学研究所)
09:06 ~ 09:29

[1AW02-2] 分子動力学シミュレーションによる生体高分子の研究：RNAへの展開の現状と可能性

○山下 雄史¹ (1.東京大学)

09:29 ~ 09:52

[1AW02-3] 生殖 phasiRNAの生成を引き起こす miR2118 ファミリー機能

荒木 沙織¹、遠藤 真咲²、三上 雅史²、野々村 賢一³、Gordon Arbuthnott¹、○小宮 怜奈¹ (1.OIST・S TG、2.農研機構・ゲノム改変ユニット、3.遺伝研・実験圃場)

09:52 ~ 10:15

[1AW02-4] 細胞老化関連 long non-coding RNAsの探索と機能解析

○岩下 雄二¹、杉本 昌隆²、梶村 春彦¹、丸山 光生² (1.浜松医大・腫瘍病理、2.国立長寿医療研究センター・老化機構)

10:15 ~ 10:38

[1AW02-5] エストロゲン受容体シグナルに関連し治療抵抗性乳がんの病態に関わる長鎖非コード RNA

○堀江 公仁子¹、水戸部 悠一¹、池田 和博¹、井上 聡¹ (1.埼玉医大・ゲノム研・遺伝子情報制御)

10:38 ~ 11:01

[1AW02-6] 長鎖非コード RNAの生理機能を実験的に検証する

○黒川 理樹¹ (1.埼玉医大・ゲノム医学研究センター・遺伝子構造機能)

11:01 ~ 11:24

[1AW02-Conclusion] Conclusion

○黒川 理樹¹ (1.埼玉医科大学)

11:24 ~ 11:30

[1PW02] RNA制御が支える真核生物の複雑な形質発現機構

オーガナイザー:甲斐田 大輔(富山大学)、オーガナイザー:片岡 直行(東京大学)

16:00 ~ 18:30 第2会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 倶楽部2)

[1PW02-Introduction] Introduction

○甲斐田 大輔¹ (1.富山大学)

16:00 ~ 16:04

[1PW02-1] 天然翻訳阻害剤をもつ植物 Aglaiaの自己防衛機構

○岩崎 信太郎^{1,2,3}、岩崎 わかな⁴、高橋 真梨⁴、Stephen Floor^{1,5}、水戸 麻里²、伊藤 拓宏⁴、Nicholas Ingolia¹ (1.Dept. of Mol. and Cell Biol., Univ. of California, Berkeley、2.理研・RNAシステム生

学、3.東大・院親領域・メディカル情報生

命、4.理研・ライフサイエンス技術基盤研究セン

ター・構造・合成生物学部門、5.Helen Diller Family Comprehensive Cancer Center, Univ. of California, SF)

16:04 ~ 16:20

[1PW02-2] ARE結合蛋白質 ZFP36L1による脱アデニル化非依存的な翻訳抑制機構の解析

○深尾 亜喜良¹、大塚 衆志²、藤原 俊伸¹ (1.近畿大・薬、2.東大・新領域)

16:20 ~ 16:36

[1PW02-3] PI3 kinase様タンパク質リン酸化酵素

SMG1による新たな転写後制御機構の発見

○山下 暁朗¹、佐藤 由典¹、黒澤 瞳¹、廣瀬 博子¹、青柳 杏子¹、永井 陽子¹、大野 茂男¹ (1.横浜市大・医・分子細胞)

16:36 ~ 16:52

[1PW02-4] 高等真核生物がスプライス部位認識の正確性と柔軟性を両立する仕組み

○米田 宏¹ (1.北大院・薬)

16:52 ~ 17:08

[1PW02-5] スプライシング異常が細胞周期進行に与える影響の解析

○甲斐田 大輔¹ (1.富山大・院医)

17:08 ~ 17:24

[1PW02-6] 個体レベルで行う mRNA前駆体プロセシングの動態の解析

○渡部 栄地¹、黒柳 秀人¹ (1.医科歯科大・難研)

17:24 ~ 17:40

[1PW02-7] 熱ストレス応答性の選択的スプライシング制御機構

○井上 邦夫¹ (1.神大・院理・生物)

17:40 ~ 17:56

[1PW02-8] U1 snRNPと疾患における異常スプライシング

○大江 賢治¹ (1.福岡大・薬)

17:56 ~ 18:12

[1PW02-9] 骨髄異形成症候群における ZRSR2変異が引き起こすスプライシング異常の解析

○片岡 直行¹ (1.東大・農学生命・応用動物)

18:12 ~ 18:28

[1PW02-Conclusion] Conclusion

○片岡 直行¹ (1.東京大学)

18:28 ~ 18:30

[1AW03] 脂肪細胞性質決定の転写、エピゲノム調節
 オーガナイザー:稲垣 毅(群馬大学)、オーガナイザー:大野 晴也(広島大学)
 09:00 ~ 11:30 第3会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 偕楽3)

[1AW03-Introduction] Introduction

○大野 晴也¹ (1.広島大学)

09:00 ~ 09:01

[1AW03-1] 脂肪組織リモデリングの制御因子の同定と機能解析

○江口 潤¹ (1.岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科)

09:01 ~ 09:22

[1AW03-2] 脂肪組織量制御における転写コレギュレーター CITED2の役割の解明

○松本 道宏¹、辻村-早川 知子¹、酒井 真志人¹、飯田 智¹、山地 大介¹ (1.国立国際医療研究センター糖尿病研究センター)

09:22 ~ 09:43

[1AW03-3] ヒストン脱メチル化酵素 LSD2による脂肪細胞分化制御

○高瀬 隆太¹、日野 信次朗¹、阿南 浩太郎¹、興梠 健作¹、田中 宏¹、中尾 光善¹ (1.熊本大学 発生医学研究所 細胞医学分野)

09:43 ~ 10:01

[1AW03-4] 脂肪細胞の性質決定に関わるヒストンメチル化制御機構

○稲垣 毅¹ (1.群馬大学 生体調節研究所 代謝エピジェネティクス分野)

10:01 ~ 10:19

[1AW03-5] 褐色脂肪の分化・機能を制御するエピジェネティクス

○長野 学¹、大野 晴也¹、江草 玄太郎¹、森田 好美¹、梶村 真吾²、米田 真康¹ (1.広大・院医・分子内科学、2.UCSF Diabetes Center)

10:19 ~ 10:40

[1AW03-6] The Color of Fat: Brown, Beige, and White

○梶村 真吾¹ (1.UCSF Diabetes Center, University of California)

10:40 ~ 11:04

[1AW03-7] 褐色脂肪遺伝子の転写制御プログラムとオープンクロマチン解析

○脇 裕典^{1,2}、平池 勇雄²、堤 修一³、油谷 浩幸³、山内 敏正²、門脇 孝² (1.東京大学大学院医学系研究科分子糖尿病科学講座、2.東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科、3.東京大学先端科学技術研究セン

ター ゲノムサイエンス分野)

11:04 ~ 11:28

[1AW03-Conclusion] Conclusion

○稲垣 毅¹ (1.群馬大学)

11:28 ~ 11:30

[1PW03] ゲノム安定性を脅かす DNA複製ストレスの実態

オーガナイザー:塩谷 文章(国立がん研究センター研究所)、オーガナイザー:大橋 英治(九州大学)
 16:00 ~ 18:30 第3会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 偕楽3)

[1PW03-Introduction] Introduction

○塩谷 文章¹ (1.国立がん研究センター研究所)

16:00 ~ 16:05

[1PW03-1] グアニン四重鎖ヘリカーゼ DHX36は DNAに作用しゲノム完全性の維持に関わる

水本 綾佳¹、石川 冬木¹、○定家 真人¹ (1.京大・院生命科学・細胞周期学)

16:05 ~ 16:25

[1PW03-2 (2LBA-043)] Y-familyポリメラーゼ Polηは

Mus81/EME2ヌクレアーゼ複合体と協同してがん遺伝子 c-Mycによる replication stress(RS)を緩和する

○関本 隆志¹、倉島 公憲¹、小田 司¹、川端 剛²、松田 美弥子^{1,3}、中村 瑠里^{1,3}、大園 真純^{1,3}、花岡 文雄⁴、山下 孝之¹ (1.群大・生調研・遺伝子情報、2.阪大・院医・遺伝学、3.群大・院保健・生体情報検査学、4.学習院大・理・生命科学)

16:25 ~ 16:45

[1PW03-3] ATR依存性 DNA複製ストレス応答による発がん制御機構

○塩谷 文章¹、Marianne Mazevet¹、林田 直也¹ (1.国がん・研・遺伝医学)

16:45 ~ 17:05

[1PW03-4] 倍数体化による紫外線ストレス耐性獲得の分子メカニズム

○菱田 卓^{1,2}、塩入 拓馬¹、芝田 眞菜²、毛谷村 賢司^{1,2} (1.学習院大学大学院自然科学研究科生命科学専攻、2.学習院大学理学部生命科学科)

17:05 ~ 17:25

[1PW03-5] DNA複製領域付近で二重鎖切断を誘導する生薬

成分の薬理作用に関する解析

○花田 克浩¹、川島 友莉¹、井上 尚実²、西田 欣広²
(1.大分大・医・臨床医工学、2.大分大・医・産科婦人科学)

17:25 ~ 17:45

[1PW03-6] lacO-LacIがヒト染色体において誘導する

DNA損傷応答経路の解析

○吉田 和真¹、都築 洋太¹、串山 辰徳¹、石本 理子¹、杉本 のぞみ¹、藤田 雅俊¹ (1.九大・院薬・医薬細胞生化学)

17:45 ~ 18:05

[1PW03-7] Rad9-Hus1-Rad1クランプの Rad9 C-tailを介した DNA複製ストレス応答の制御機構

○大橋 英治¹、岩田 直也¹、達川 絢介¹、釣本 敏樹¹
(1.九大・理・生物)

18:05 ~ 18:25

[1PW03-Conclusion] Conclusion

○大橋 英治¹ (1.九州大学)

18:25 ~ 18:30

第5会場

[1AW05] X線自由電子レーザーが捉えるタンパク質ダイナミクス研究の最前線

オーガナイザー:南後 恵理子(理化学研究所)、オーガナイザー:久保 稔(理化学研究所)

09:00 ~ 11:30 第5会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 菊水)

[1AW05-Introduction] Introduction

○南後 恵理子¹ (1.理化学研究所)

09:00 ~ 09:10

[1AW05-1] SACLAの現状と蛋白質ダイナミクス研究への応用

○登野 健介^{1,2} (1.高輝度光科学研究センター、2.理研・放射光セ)

09:10 ~ 09:37

[1AW05-2] チトクロム酸化酵素の動的構造解析: リガンド結合と共役した水チャネルの開閉機構

○久保 稔¹ (1.理研播磨)

09:37 ~ 10:04

[1AW05-3] X線自由電子レーザーによって見えてきたチャネルロドプシンのイオン透過機構

○西澤 知宏¹、小田 和正¹、濡木 理¹ (1.東大・院理・生物科学)

10:04 ~ 10:31

[1AW05-4] X線自由電子レーザーにより明らかにされた光

化学系 IIの水分解・酸素発生の反応機構

○菅 倫寛¹ (1.岡山大・異分野基礎研)

10:31 ~ 10:58

[1AW05-5] 自由電子レーザーによる膜タンパク質の構造ダイナミクス研究

○岩田 想^{1,2} (1.京大・院医・分子細胞情報、2.理研・放射光科学総合研究センター)

10:58 ~ 11:25

[1AW05-Conclusion] Conclusion

○久保 稔¹ (1.理化学研究所)

11:25 ~ 11:30

[1PW05] 「個性」創発神経基盤の統合的理解に向けた階層横断的解析

オーガナイザー:富永 貴志(徳島文理大学)、オーガナイザー:郷 康広(自然科学研究機構新分野創成センター)

16:00 ~ 18:30 第5会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 菊水)

[1PW05-Introduction] Introduction

○富永 貴志¹、○郷 康広² (1.徳島文理大学、2.自然科学研究機構新分野創成センター)

16:00 ~ 16:05

[1PW05-1] Illuminating cortical circuit mechanism using genetically encoded voltage indicators

○Thomas Knöpfel^{1,2} (1.Laboratory of Neuronal Circuit Dynamics, Department of Medicine, Imperial College London, UK、2.Centre for Neurotechnology at Imperial College London, UK)

16:05 ~ 16:34

[1PW05-2] 制約付き主成分分析を用いた脳内ネットワーク結合の個人差の特徴付け

○川鍋 一晃^{1,2}、平山 淳一郎^{1,2}、Aapo Hyvarinen^{3,4}、Vesa Kiviniemi⁵、山下 宙人^{1,2}

(1.国際電気通信基礎技術研究所、2.理化学研究所革新知能統合研究センター、3.ヘルシンキ大学、4.ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン、5.オウル大学病院)

16:34 ~ 17:03

[1PW05-3] 表現型データ統合データベース J-Phenomeにおける計測メタデータの整理統合

○梶屋 啓志¹ (1.理研バイオリソースセンター)

17:03 ~ 17:32

[1PW05-4] げっ歯類とサルのためのオープンソース3次元ビデオ行動解析システムの開発と神経科学への応用

○松本 惇平¹、西丸 広史¹、高村 雄策¹、三村 喬生²、浅場 明莉³、鈴木 航³、一戸 紀孝³、南本 敬史²、小野 武年¹、西条 寿夫¹ (1.富山大学(医) システム情動科学講座、2.量子科学研究開発機構 放射線医学総合研究所 脳機能イメージング研究部、3.国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 微細構造研究部)

17:32 ~ 18:01

[1PW05-5] 自発的行動に起因する発声学習表現型の個性創発の神経分子基盤

○和多 和宏¹ (1.北海道大学・理学研究院・生物科学)

18:01 ~ 18:30

第6会場

[1AW06] 微生物からヒトに至るトランスグルタミナーゼ遺伝子ファミリーの多彩な機能

オーガナイザー:一瀬 白帝(山形大学)、オーガナイザー:人見 清隆(名古屋大学)

09:00 ~ 11:30 第6会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 北野)

[1AW06-1] 微生物からヒトに至るトランスグルタミナーゼ遺伝子ファミリーの多彩な機能

○一瀬 白帝¹、人見 清隆² (1.山形大学医学部医学科 分子病態学講座、2.名古屋大学大学院創薬科学研究科)

09:00 ~ 09:05

[1AW06-2] 活性型微生物由来トランスグルタミナーゼ前駆体の設計と機能評価

○神谷 典穂^{1,2}、松崎 隆¹、南畑 孝介¹ (1.九州大学 大学院工学研究院 応用化学部門、2.九州大学未来化学創造センター バイオテクノロジー部門)

09:05 ~ 09:30

[1AW06-3] キイロショウジョウバエにおけるトランスグルタミナーゼの機能と分泌機構

○柴田 俊生¹、川畑 俊一郎¹ (1.九大院・理・生物科学)

09:30 ~ 09:50

[1AW06-4] 137番グルタミンをグルタミン酸に変異した

S19リボソーム蛋白質遺伝子をノックインした C57BL/6J系マウスの全身性エリテマトーデス様病態

○西浦 弘志¹、山田 直子¹、中正 恵二¹、藤渕 航²、山根 康嗣¹ (1.兵庫医科大学・病理学講座・病理診断部門、2.京都大学・iPS細胞研究所・増殖分化機構研

究部門)

09:50 ~ 10:10

[1AW06-5] 中枢グリア細胞におけるトランスグルタミナーゼの機能

○河邊 憲司¹、高野 桂²、森山 光章²、中村 洋一² (1.岡山大院・医歯薬・組織機能修復、2.大阪府大院・生命環境科学・獣医・統合生理)

10:10 ~ 10:35

[1AW06-6 (1P-0358)] 肝線維化において架橋されるタンパク質群の網羅的同定法の確立および基質タンパク質の解析

○辰川 英樹¹、人見 清隆¹ (1.名大・院創薬・細胞生化)

10:35 ~ 10:55

[1AW06-7] 自己免疫性出血病 XIII/13症例より作製したヒト単クローン抗体のエピトープ解析

○尾崎 司¹、惣利 正善¹、小澤 龍彦²、村口 篤²、一瀬 白帝¹ (1.山形大・医・分子病態学、2.富山大・院医薬・免疫学)

10:55 ~ 11:15

[1AW06-Discussion] Discussion

11:15 ~ 11:30

[1PW06] 生体金属動態の分子科学ー「生命金属科学」への展開

オーガナイザー:石森 浩一郎(北海道大学)、オーガナイザー:城 宜嗣(兵庫県立大学)

16:00 ~ 18:30 第6会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 北野)

[1PW06-Introduction] Introduction

○城 宜嗣¹ (1.兵庫県立大学)

16:00 ~ 16:03

[1PW06-1] 無セルロプラスミン血症、脳内鉄サイクルの障害による鉄蓄積性神経変性症

○宮嶋 裕明¹ (1.浜松医大・内科一)

16:03 ~ 16:27

[1PW06-2] 腎臓近位尿細管における生体金属の動的な輸送機構と生体影響の解析

○藤代 瞳¹、姫野 誠一郎¹ (1.徳島文理大・薬)

16:27 ~ 16:51

[1PW06-3] 亜鉛要求性酵素のメタレーションに関わる亜鉛トランスポーターとその制御機構

○神戸 大朋¹ (1.京大・院生命科学・統合生命)

16:51 ~ 17:15

[1PW06-4] コンディショナルプロテオミクスによる亜鉛関連タンパク質群の同定

○田村 朋則¹、三木 卓幸¹、西川 雄貴¹、清中 茂樹¹、若林 真樹³、石濱 泰³、浜地 格^{1,2} (1.京大・院工、2.JST CREST、3.京大・院薬)

17:15 ~ 17:39

[1PW06-5] ネイティブな状態を捕える質量分析の構造生物学での展開

○明石 知子¹ (1.横浜市大・院生命医科学)

17:39 ~ 18:03

[1PW06-6] 化膿連鎖球菌における鉄獲得機構の物理化学解析と相互作用阻害剤の探索

○津本 浩平^{1,2}、長門石 暁^{1,2}、中木戸 誠¹、星野 将人¹、野澤 孝志³、相川 知宏³、中川 一路³ (1.東京大学大学院工学系研究科、2.東京大学医科学研究所、3.京都大学大学院医学系研究科)

18:03 ~ 18:27

[1PW06-Conclusion] Conclusion

○城 宜嗣¹ (1.兵庫県立大学)

18:27 ~ 18:30

第7会場

[1AW07] TOR研究の奔流

オーガナイザー:前田 達哉(東京大学)、オーガナイザー:武井 延之(新潟大学)

09:00 ~ 11:30 第7会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 布引)

[1AW07-1] ショウジョウバエ発育過程において、TORシグナルは変態開始を決定づける栄養チェックポイントとして働く。

○大原 裕也¹、小林 公子¹ (1.静岡県大・食品栄養)

09:00 ~ 09:25

[1AW07-2] 出芽酵母から探る TORC1制御の仕組み

○野田 健司^{1,2}、鶴飼 洋史²、荒木 保弘¹、吉良 新太郎¹、ハオ フェイケ¹ (1.大阪大学大学院歯学研究科、2.大阪大学大学院生命機能研究科)

09:25 ~ 09:50

[1AW07-3] mTORによる IRS-1の分解制御がインスリン様成長因子シグナルの時間的制御に果たす役割

○米山 鷹介¹、稲光 智美¹、伯野 史彦¹、高橋 伸一郎¹ (1.東大・院農・応用動物科学)

09:50 ~ 10:15

[1AW07-4] mTORC2とがん代謝：中心炭素代謝から微量元素代謝へ

○増井 憲太¹、原地 美緒¹、ミシェル ポール²、柴田 亮行¹ (1.女子医大・病理、2.ルードヴィヒがん研)

10:15 ~ 10:40

[1AW07-5] TOR複合体2の必須制御サブユニット

Sin1がもつ CRIMドメインの多重機能

○塩崎 一裕^{1,2} (1.奈良先端大・バイオ、2.カリフォルニア大デービス・微生物分子遺伝)

10:40 ~ 11:05

[1AW07-6] Ragulatorの構造と Ragとの複合体形成機構

○名田 茂之¹、米原 涼²、中井 昌弘¹、北村 彩佳¹、小川 輝¹、山下 栄樹²、中川 敦史²、岡田 雅人¹

(1.阪大・微研・発癌制御、2.阪大・蛋白研・超分子)

11:05 ~ 11:30

[1PW07] 先端的異分野連携で切り開くシグナル伝達研究

オーガナイザー:武川 睦寛(東京大学)、オーガナイザー:鈴木 真(大阪大学)

16:00 ~ 18:30 第7会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 布引)

[1PW07-Introduction] Introduction

○武川 睦寛¹ (1.東京大学)

16:00 ~ 16:04

[1PW07-1] 数理解析を活用した中心体複製制御機構の解明

○武川 睦寛¹ (1.東大・医科研・分子シグナル制御分野)

16:04 ~ 16:24

[1PW07-2] インスリンパターンによる生体内シグナル分子の選択的制御

○久保田 浩行¹、宇田 新介¹、松崎 英美子¹、山内 幸代¹、黒田 真也² (1.九大・生医研・統合オミクス、2.東大・院理・生物科学)

16:24 ~ 16:45

[1PW07-3] 肺腺がんのMET増幅型ゲフィチニブ耐性の数理解析モデルを用いた解析

○伊東 剛¹、大橋 (熊谷) 友紀¹、板野 景子²、川崎 秀二³、鈴木 貴²、村上 善則¹ (1.東大・医科研・人癌病因遺伝子、2.大阪大・基礎工・数理、3.岩手大・院工・数理)

16:45 ~ 17:05

[1PW07-4] 非古典的 NF-κB経路の1細胞ライブイメージング

○井上 純一郎¹、関 崇生¹ (1.東大・医科研・分子発癌)

17:05 ~ 17:26

[1PW07-5] 細胞膜分子相互作用と細胞内シグナル伝達経路解明のための数理的方法

○鈴木 貴¹ (1.阪大・MMDS)

17:26 ~ 17:47

[1PW07-6] 無細胞プロテオミクス

○澤崎 達也¹、高橋 宏隆¹ (1.愛媛大・PROS・無細胞生命科学)

17:47 ~ 18:08

[1PW07-7] 有機小分子を利用した細胞内情報伝達の急速摂動系の開発と応用

○上野 匡¹ (1.東大院薬)

18:08 ~ 18:28

[1PW07-Conclusion] Conclusion

○鈴木 貴¹ (1.大阪大学)

18:28 ~ 18:30

第8会場

[1AW08] 量子センサー技術を用いた生命現象の理解と革新に向けて

オーガナイザー:横谷 明德(量子科学技術研究開発機構)、オーガナイザー:安達 基泰(量子科学技術研究開発機構)

09:00 ~ 11:30 第8会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 生田)

[1AW08-1] 生体応用のための NVセンター含有ダイヤモンド形成

○小野田 忍¹ (1.量研・高崎)

09:00 ~ 09:30

[1AW08-2] 蛍光性ナノダイヤモンドを用いた定量的細胞計測技術

○五十嵐 龍治^{1,2}、藤咲 貴大²、寺田 大紀²、原田 慶恵³、白川 昌宏² (1.JST、2.京大・院工・分子工、3.阪大・蛋白研)

09:30 ~ 10:00

[1AW08-3] 細胞内微小空間における温度の計測と操作から解明する温度シグナリング

○岡部 弘基¹、時 ベイニ¹、船津 高志¹ (1.東大・院薬)

10:00 ~ 10:30

[1AW08-4] 量子操作技術に基づく超高感度生体分子イメージング

○山東 信介¹ (1.東大・院工・化生)

10:30 ~ 11:00

[1AW08-5] DNA損傷過程を視るための軟 X線分光実験

○島田 紘行¹ (1.高エネ研・物構研)

11:00 ~ 11:30

[1PW08] ハイブリッドサイエンスの新時代 ~生命科学とデータ科学を繋ぐ~

オーガナイザー:島村 徹平(名古屋大学)、オーガナイザー:大澤

毅(東京大学)

16:00 ~ 18:30 第8会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 生田)

[1PW08-Introduction] Introduction

○島村 徹平¹ (1.名古屋大学)

16:00 ~ 16:05

[1PW08-1] 生命科学におけるビッグデータ駆動型科学の実践と将来

○島村 徹平¹ (1.名大・医・システム生物)

16:05 ~ 16:25

[1PW08-2] クライオ電子顕微鏡による単粒子解析

○神吉 康晴^{1,2}、Sagar Chittori¹、Doreen Matthies¹、Prashant Rao¹、Alan Merk¹、Sriram Subramaniam¹ (1.米国国立衛生研究所、2.東大・アイソトープ)

16:25 ~ 16:45

[1PW08-3] ヒストン脱メチル化酵素 LSD1の白血病代謝における役割

○興梠 健作¹、日野 信次朗¹、阿南 浩太郎¹、高瀬 隆太¹、中尾 光善¹ (1.熊大・発生研・細胞医学)

16:45 ~ 17:05

[1PW08-4] 大規模がんオミックス解析により明らかになったスプライシング変異の全体像

○白石 友一¹、片岡 圭亮²、千葉 健一¹、岡田 愛¹、木暮 泰寛²、田中 洋子¹、小川 誠司²、宮野 悟¹ (1.東大医科学研・ヒトゲノム解析センター、2.京都大・医・腫瘍生物学)

17:05 ~ 17:25

[1PW08-5] 上皮成長因子受容体 (EGFR)遺伝子における VUS (variants of unknown significance)のハイスループット機能解析

○長野 匡晃¹、高阪 真路²、間野 博行¹ (1.東大・院医・細胞情報学、2.東大・院医・ゲノム医学)

17:25 ~ 17:45

[1PW08-6] ゲノムワイド CRISPRスクリーニングによる EGFR-TKI+ 転写阻害剤相乗作用の分子機構の理解

○寺井 秀樹^{1,7}、Danielle Potter¹、北嶋 俊輔¹、松井 佑介⁵、Tae-jung Kim¹、Maria Rusan¹、Tran Thai¹、Federica Piccioni⁴、Katherine Donovan^{2,3}、Nicholas Kwiatkowski³、日野原 邦彦¹、Guo Wei⁶、Nathanael Gray^{2,3}、Eric Fischer^{2,3}、島村 徹平⁵、Anthony Letai¹、Peter Hammerman¹、David Barbie¹ (1.ダナファーマー癌研究所腫瘍内科学、2.ダナファーマー癌研究所癌生物学、3.ハーバード大学医学大学院生物化学分子薬

学、4.ブロード研究所GPPプラットフォーム、5.名古屋大学大学院医学系研究科システム生物学分野、6.ブロード研究所がんサージプログラム、7.北里研究所病院呼吸器内科)

17:45 ~ 18:05

[1PW08-7] ニュートリオミクスから迫るがんの病態解明と治療戦略

○大澤 毅¹、島村 徹平²、近藤 彩乃³、油谷 浩幸³、宮野 悟⁴、曾我 朋義⁵、児玉 龍彦¹ (1.東大・先端研・システム生物医、2.名大・医・システム生物、3.東大・先端研・ゲノムサイエンス、4.東大・医科研・ヒトゲノム、5.慶応大・先端研)

18:05 ~ 18:25

[1PW08-Conclusion] Conclusion

○大澤 毅¹ (1.東京大学)

18:25 ~ 18:30

第9会場

[1AW09] 虫の会 (まじめ版) 4: 分子から形態・生命現象まで分野横断

オーガナイザー: 仲里 猛留(ライフサイエンス統合データベースセンター)、オーガナイザー: 武藤 愛(奈良先端科学技術大学院大学)
09:00 ~ 11:30 第9会場 (神戸ポートピアホテル 南館 地下1階 トパーズ)

[1AW09-Introduction] Introduction

○仲里 猛留¹ (1.ライフサイエンス統合データベースセンター)

09:00 ~ 09:15

[1AW09-1] 次世代シーケンサーやゲノム情報を利用した利用した昆虫研究

○横井 翔¹ (1.農研機構・生物機能)

09:15 ~ 09:40

[1AW09-2] コクヌストモドキ Superoxide dismutase 2の機能低下は代替生体防御システムを誘導する

○天竺桂 弘子¹ (1.農工大・院農・生物生産)

09:40 ~ 10:05

[1AW09-3] アゲハチョウの産卵行動から本能のプログラムを読み解こう

○尾崎 克久¹、小寺 正明²、武藤 愛³、吉川 寛¹

(1.JT生命誌研究館、2.東京工業大学、3.奈良先端科学技術大学院大学)

10:05 ~ 10:30

[1AW09-4] クワガタムシの発達した大顎の分子発生機構

○後藤 寛貴¹ (1.名大・院生命農)

10:30 ~ 10:55

[1AW09-5] DNA研究の研究材料としての博物館収蔵標本

○長太 伸章¹、神保 宇嗣¹ (1.科博)

10:55 ~ 11:20

[1AW09-Discussion] Discussion

11:20 ~ 11:30

[1PW09] またまたやってきたオモロイ生き物の分子生物学

オーガナイザー: 黒岩 麻里(北海道大学)

16:00 ~ 18:30 第9会場 (神戸ポートピアホテル 南館 地下1階 トパーズ)

[1PW09-Introduction] Introduction

○黒岩 麻里¹ (1.北海道大学)

16:00 ~ 16:03

[1PW09-1] メスの細胞から精子 | 性染色体 XO型の絶滅危機種アマミトゲネズミ細胞の性的柔軟性

○本多 新¹ (1.京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設)

16:03 ~ 16:26

[1PW09-2] トンボの紫外線反射の分子機構

○二橋 亮¹ (1.産総研)

16:26 ~ 16:49

[1PW09-3] ベールを脱ぎ始めたクマムシの極限環境耐性メカニズム

○國枝 武和¹、橋本 拓磨¹、堀川 大樹²、近藤 小雪¹、田中 冨¹、柴原 礼良¹、桑原 宏和^{1,3}、秦 裕子⁴、尾山 大明⁴、榎本 敦⁵、宮川 清⁵、原 雄一郎⁶、横堀 伸一⁷、小原 雄治⁸、藤山 秋佐夫⁹、久保 健雄¹、荒川 和晴²、片山 俊明¹⁰、豊田 敦¹¹ (1.東大・院理・生物科学、2.慶應・先端生命、3.東工大・生命理工、4.東大・医科研・疾患プロテオミクス、5.東大・院医・放射線分子医学、6.理研・CLST、7.東葉大・生命科学、8.遺伝研・生物遺伝資源、9.遺伝研・先端ゲノミクス、10.ライフサイエンス統合データベース、11.遺伝研・比較ゲノム)

16:49 ~ 17:12

[1PW09-4] 植物に寄生する植物: 寄生植物の宿主の見つけ方

Songkui Cui¹、○吉田 聡子¹ (1.奈良先端大・バイオ)

17:12 ~ 17:35

[1PW09-5] オキシトシンによる個体間関係性の構築

○菊水 健史¹、永澤 美保¹、茂木 一孝¹ (1.麻布大学)

17:35 ~ 17:58

[1PW09-6] 吸血節足動物の分子生物学

○嘉糠 洋陸^{1,2} (1.慈恵医大・熱帯医学、2.慈恵医大・衛生動物セ)

17:58 ~ 18:21

[1PW09-Discussion] Discussion

18:21 ~ 18:27

[1PW09-Conclusion] Conclusion

○黒岩 麻里¹ (1.北海道大学)

18:27 ~ 18:30

第10会場

[1AW10] 巨大ウイルス研究の朝 (あした)

オーガナイザー:武村 政春(東京理科大学)

09:00 ~ 11:30 第10会場 (神戸ポートピアホテル 南館 地下1階 ルビー)

[1AW10-Introduction] Introduction

○武村 政春¹ (1.東京理科大学)

09:00 ~ 09:05

[1AW10-1] Diversity and ecological role of giant

viruses in the sunlit ocean.

○Romain Blanc-Mathieu¹, Hiroto Kaneko¹, Genki Yoshikawa¹, Hiroyuki Ogata¹ (1.Bioinformatics Center, Institute for Chemical Research, Kyoto University)

09:05 ~ 09:30

[1AW10-2] 温泉の底質泥から分離した新規巨大ウイルスA

*canthamoeba castellanii medusavirus*の形態学的・ゲノム科学的研究

○武村 政春¹、吉川 元貴²、Chihong Song³、望月 智弘⁴、Romain Blanc-Mathieu²、村田 和義³、緒方 博之² (1.東京理科大・理、2.京大・化研、3.生理研、4.東工大・ELSI)

09:30 ~ 09:55

[1AW10-3] 巨大な正二十面体マルセイユウイルスの三次構造

○岡本 健太¹、宮崎 直幸²、Reddy Hemanth¹、Max Hantke¹、Jean-Michel Claverie³、Chantal Aberger³、Janos Hajdu¹、村田 和義²、Martin Svenda¹ (1.ウプサラ大・BMC、2.自然科学研究機構・生理研、3.エクスマルセイユ大学)

09:55 ~ 10:20

[1AW10-4] 巨大ウイルスの持つ DNAミスマッチ修復タンパク質

○福井 健二¹、若松 泰介²、大下 紘貴²、森澤 高至²、白米 優一²、諸野 祐樹³、武村 政春⁴、芦内

誠²、矢野 貴人¹ (1.大阪医大・生化学、2.高知大・農、3.JAMSTEC・高知コア、4.東京理大・理)

10:20 ~ 10:45

[1AW10-5] ピソウイルスのクライオ電子顕微鏡による構造解析

○村田 和義¹、宮崎 直幸²、ソン チホン¹、岡本 健太³ (1.生理学研究所、2.阪大・蛋白研、3.ウプサラ大学)

10:45 ~ 11:10

[1AW10-Discussion] Discussion

11:10 ~ 11:25

[1AW10-Conclusion] Conclusion

○武村 政春¹ (1.東京理科大学)

11:25 ~ 11:30

[1PW10] 農と食の未来を切り拓け！ホルモン研究

オーガナイザー:矢澤 隆志(旭川医科大学)、オーガナイザー:佐藤 貴弘(久留米大学)

16:00 ~ 18:30 第10会場 (神戸ポートピアホテル 南館 地下1階 ルビー)

[1PW10-1] はじめに ~ホルモンが農と食に及ぼした光と影

○矢澤 隆志¹、佐藤 貴弘² (1.旭川医大・医・生化学、2.久留米大・分子生命)

16:00 ~ 16:10

[1PW10-2] まだ見ぬ生理活性ペプチドを求めて

○井田 隆徳¹ (1.宮大・CADIC)

16:10 ~ 16:36

[1PW10-3] 植物感染性線虫の植物感染に関わるホルモンの役割

大田 守浩¹、島岡 知恵¹、鈴木 れいら¹、井田 隆徳²、○澤 進一郎¹ (1.熊大・院・先端科学、2.宮崎大・フロンティア科学実験総合センター)

16:36 ~ 17:02

[1PW10-4] ペプチド研究を水産養殖業に活かす

○河野 智哉¹ (1.宮崎大・農・応用生物科学)

17:02 ~ 17:28

[1PW10-5] 内分泌・代謝学的アプローチから畜産の生産性アップへ、それに貢献する繁殖技術開発

○島田 昌之¹ (1.広大・院生物圏)

17:28 ~ 17:54

[1PW10-6] 食物の性状が糖代謝や脂質代謝に及ぼす影響

○秋枝 さやか¹、伊達 紫¹ (1.宮崎大学)

17:54 ~ 18:20

[1PW10-7] 総括 ~未来の農と食に向けたホルモン研究からのメッセージ

○佐藤 貴弘¹、矢澤 隆志² (1.久留米大・分子生

命、2.旭川医大・医・生化)

18:20 ~ 18:30

第15会場

[1AW15] 細胞骨格により制御される転写と細胞機能: 細胞形質転換と疾患

オーガナイザー:林 謙一郎(大阪大学)、オーガナイザー:木岡 紀幸(京都大学)

09:00 ~ 11:30 第15会場 (神戸国際会議場 3階 レセプションホール)

[1AW15-Introduction] Introduction

○林 謙一郎¹ (1.大阪大学)

09:00 ~ 09:06

[1AW15-1] 神経細胞における SRFコファクター

MKL(MRTF)による遺伝子発現制御と形態制御

○田淵 明子¹、福地 守²、菊池 啓悦¹、久保 友喜美¹、庄司 しずく¹、袴田 知之¹、田中 拓郎¹、佐藤 夏美¹、石橋 悠太¹、金田 真理彩¹、阪上 洋行³、尾藤 晴彦⁴、奥野 浩行⁵、大塚 稔久⁶、津田 正明¹ (1.富山大・院医薬・分子神経生物学、2.高健大・薬・分子神経科学、3.北里大・医・解剖学、4.東大・院医・神経生化学、5.京都大・院医・メディカルイノベーションセンター、6.山梨大・院医・生化学第一)

09:06 ~ 09:30

[1AW15-2] カルシウム応答に関与する Rho-GEF, Soloの同定とアクチン骨格再構築における機能解析

○大橋 一正¹、磯崎 友亮¹、西村 亮祐^{1,2}、酒井 高輝¹、藤原 佐知子^{1,3}、水野 健作¹ (1.東北大・院・生命、2.徳島大・院・医、3.阪大・院・基礎工)

09:30 ~ 09:54

[1AW15-3] Actin-Related Protein 5による筋分化制御機構

○森田 強¹ (1.阪大・院医・神経遺伝子学)

09:54 ~ 10:18

[1AW15-4] 細胞外マトリックスの硬さによる細胞分化制御へのピンキュリン YAP/TAZ系の関与

黒田 美都¹、市川 尚文¹、長里 彩花¹、大町 朋弘¹、木村 泰久¹、植田 和光^{1,2}、○木岡 紀幸^{1,2} (1.京大・院農・応用生命、2.京大・iCeMS)

10:18 ~ 10:42

[1AW15-5] 細胞骨格制御因子 Girdinおよび Dapleの機能と疾患

○高橋 雅英¹、高岸 麻紀¹、榎本 篤¹、浅井 直也¹ (1.名大・院医・分子病理)

10:42 ~ 11:06

[1AW15-6] 筋線維芽細胞 (myofibroblast) 機能発現の新たな制御機構

○林 謙一郎¹ (1.大阪大学大学院医学系研究科)

11:06 ~ 11:30

[1PW15] 細胞機能を調和させるオルガネラシグナリング

オーガナイザー:佐藤 健(群馬大学)、オーガナイザー:花房 洋(名古屋大学)

16:00 ~ 18:30 第15会場 (神戸国際会議場 3階 レセプションホール)

[1PW15-Introduction] Introduction

○佐藤 健¹ (1.群馬大学)

16:00 ~ 16:03

[1PW15-1] Redox-mediated regulation of ER homeostasis

○永田 和宏¹ (1.京産大・タンパク質動態研/総合生命)

16:03 ~ 16:27

[1PW15-2] ゴルジ体ストレス応答—細胞の需要に応じてゴルジ体機能を制御する機構

○吉田 秀郎¹ (1.兵庫県大・院生命)

16:27 ~ 16:51

[1PW15-3] LRRK1による細胞内トラフィックを介した EGFRシグナル制御

○花房 洋¹ (1.名古屋大学)

16:51 ~ 17:15

[1PW15-4] Srcシグナルによるエクソソーム形成制御とがん形質発現

○小根山 千歳¹、疋田 智也¹、桑原 敦¹ (1.愛知がん・感腫)

17:15 ~ 17:39

[1PW15-5] 線虫 *C. elegans* におけるリポタンパク質輸送の分子メカニズム○佐藤 健¹ (1.群馬大・生調研・細胞構造分野)

17:39 ~ 18:03

[1PW15-6] 損傷ミトコンドリアシグナリングとパーキンソン病

○松田 憲之¹ (1.都医学総合研究所・コビキチンプロジェクト)

18:03 ~ 18:27

[1PW15-Conclusion] Conclusion

○花房 洋¹ (1.名古屋大学)

18:27 ~ 18:30

第16会場

[1AW16] ペルオキシソーム・バイオロジー

オーガナイザー:藤木 幸夫(九州大学)、オーガナイザー:阪井 康能(京都大学)

09:00 ~ 11:30 第16会場 (神戸国際会議場 4階 401+402)

[1AW16-Introduction] Introduction

○藤木 幸夫¹ (1.九州大学)

09:00 ~ 09:05

[1AW16-1] メタノールセンシング・シグナル伝達の分子機構と植物葉上における C1酵母のペルオキシソームダイナミクス

○阪井 康能¹、大澤 晋¹、白石 晃将¹、川口 甲介¹、由里本 博也¹ (1.京大・院農・応用生命科学)

09:05 ~ 09:25

[1AW16-2] Woronin body~糸状菌の多細胞システムを制御するペルオキシソーム由来のオルガネラ

○丸山 潤一¹ (1.東大・院農・応生工)

09:25 ~ 09:45

[1AW16-3] 植物の高次機能を支えるペルオキシソーム機能発現と形成機構

○真野 昌二^{1,2}、及川 和聡³、後藤 (山田) 志野⁴、Cui Songkui⁵、林 誠⁶、西村 幹夫⁷ (1.基生研・多様性生物学、2.総研大・生命科学、3.理研・環境資源科学研究センター、4.Malopolska Cent. Biotechnol., Jagiellonian Univ.、5.奈良先端大・バイオサイエンス、6.長浜バイオ大・バイオサイエンス、7.基生研・細胞生物)

09:45 ~ 10:05

[1AW16-4] ペルオキシソームタンパク質輸送シグナルPTS2の認識メカニズム

○加藤 博章¹ (1.京大・院薬)

10:05 ~ 10:25

[1AW16-5] ABCタンパク質サブファミリー Dのオルガネラ局在化と基質輸送メカニズム

○川口 甲介¹ (1.富大・院薬)

10:25 ~ 10:45

[1AW16-6] ペルオキシソームの機能と細胞内配置・運動性の新たな制御機構

○奥本 寛治^{1,2}、小野 立晃²、外山 隆介¹、細井 謙一郎^{1,2}、宮田 暖²、向井 悟²、Emily Cheng³、藤木 幸夫⁴ (1.九大院・理・生物科学、2.九大院・システム生命、3.ニューヨーク市スローンケタリングがんセンター、4.九大・生医研)

10:45 ~ 11:08

[1AW16-7] エーテル型リン脂質プラスマローゲンの恒常性維持機構とその生理的意義

○本庄 雅則¹、藤木 幸夫¹ (1.九大・生医研)

11:08 ~ 11:25

[1AW16-Conclusion] Conclusion

○藤木 幸夫¹ (1.九州大学)

11:25 ~ 11:30

[1PW16] 細胞競合の分子機構と生理的意義：どこまでわかって何がわからないのか

オーガナイザー:井垣 達吏(京都大学)、オーガナイザー:藤田 恭之(北海道大学)

16:00 ~ 18:30 第16会場 (神戸国際会議場 4階 401+402)

[1PW16-1] 細胞競合の共通メカニズムの遺伝学的探索

○永田 理奈¹、中村 麻衣¹、井垣 達吏¹ (1.京大・生命・システム機能学)

16:00 ~ 16:25

[1PW16-2] 細胞競合における細胞死誘導因子の探索

○田守 洋一郎¹ (1.国立遺伝学研究所)

16:25 ~ 16:50

[1PW16-3] 上皮恒常性維持におけるカルシウムウェーブの役割

○鳴海 利香^{1,2}、竹内 康人²、藤田 恭之^{1,2}

(1.北大・総合化学院、2.北大・遺伝研・分子腫瘍)

16:50 ~ 17:15

[1PW16-4] YAP活性化によって誘導される肝細胞排除現象の発見

○宮村 憲央¹、仁科 博史¹ (1.東京医歯大・難治研・発生再生)

17:15 ~ 17:40

[1PW16-5] Tead活性の違いによる細胞競合がマウスの初期胚発生にはたす役割

○佐々木 洋¹ (1.阪大・生命機能)

17:40 ~ 18:05

[1PW16-6] Src活性化による細胞競合現象

○岡田 雅人¹、梶原 健太郎¹、大倉 寛也¹、河瀬 直之¹、Ping-Kuan Chen¹ (1.阪大・微研・発癌)

18:05 ~ 18:30

第17会場

[1AW17] 筋生物学の統合的理解にむけた新たな潮流

オーガナイザー:櫻井 英俊(京都大学)、オーガナイザー:金川 基(神戸大学)

09:00 ~ 11:30 第17会場 (神戸国際会議場 5階 501)

[1AW17-1] 筋ジストロフィー発症に関わる糖鎖構造の解明と修飾酵素の同定

○金川 基¹ (1.神大・院医・分子脳)

09:00 ~ 09:25

[1AW17-2] Positioning nuclei at the periphery of skeletal muscle cells

○William Roman^{1,2} (1.Instituto de Medicina Molecular, Lisbon, Portugal, 2.Institut de Myologie, Paris, France)

09:25 ~ 09:50

[1AW17-3] 悪液質における過剰な脂肪酸酸化の筋萎縮への影響

○布川 朋也¹ (1.徳大・医歯薬学・泌尿器科)

09:50 ~ 10:15

[1AW17-4] iPS細胞からの骨格筋幹細胞誘導と、筋ジストロフィーに対する再生医療への応用

○櫻井 英俊¹、高山 了^{1,2}、田積 充年^{1,2}、竹中一穂川 菜々¹、趙 明明¹、池谷 真³、堀田 秋津³、佐藤 貴彦⁴、伊東 佑太⁵ (1.京大・CiRA・臨床応用、2.旭化成株式会社、3.京大・CiRA・未来生命、4.京都府立医大・視機能再生、5.名古屋学院大・リハ・理療)

10:15 ~ 10:40

[1AW17-5] ラミニンによる筋サテライト細胞の微小環境は、筋組織再生のための幹細胞性を維持する

○石井 佳菜¹、櫻井 英俊²、鈴木 喜晴¹、馬淵 洋¹、関 矢一郎³、関口 清俊⁴、赤澤 智宏¹ (1.東京医科歯科大・院保健衛生・分子生命情報解析学、2.京大・CiRA、3.東京医科歯科大・再生医療研究センター、4.阪大・蛋白研)

10:40 ~ 11:05

[1AW17-6] 組織透明化法技術を用いた血管ニッチによる骨格筋幹細胞の維持の解析

○朝倉 淳¹ (1.ミネソタ大学医学部・幹細胞研究所)

11:05 ~ 11:30

[1PW17] アクチンが担うメカノシグナリング

オーガナイザー:川内 敬子(甲南大学)、オーガナイザー:平田 宏聡(名古屋大学)

16:00 ~ 18:30 第17会場 (神戸国際会議場 5階 501)

[1PW17-Introduction] Introduction

○川内 敬子¹ (1.甲南大学)

16:00 ~ 16:03

[1PW17-1] カはアクチン線維-コフィリン相互作用を抑制してアクチン動態を制御する

○早川 公英¹、曾我部 正博¹、辰巳 仁史² (1.名大・医学系研究科・メカノバイオ、2.金工大・バイオ・化学・応用バイオ)

16:03 ~ 16:27

[1PW17-2] 細胞膜張力の恒常性制御機構

○辻田 和也^{1,2}、伊藤 俊樹¹ (1.神戸大・バイオシグ

ナル、2.国立研究開発法人日本医療研究開発機構・AMED-PRIME)

16:27 ~ 16:51

[1PW17-3] メカノシグナリングのプラットフォームとしてのアクチンストレス線維

○平田 宏聡^{1,2} (1.名大・院医・メカノバイオロジー、2.R-Pharm Japan)

16:51 ~ 17:15

[1PW17-4] 代謝を調節する力学場としてのアクチン骨格

宮坂 恒太^{1,2}、久保 純¹、松本 健¹、○小椋 利彦¹ (1.東北大・加齢研・神経機能情報、2.遺伝子発現部門・ソーク研究所)

17:15 ~ 17:39

[1PW17-5] 外力駆動型細胞配置換えを担うアクチン骨格制御

○杉村 薫¹、井川 敬介¹ (1.京大・iCeMS)

17:39 ~ 18:03

[1PW17-6] p53のがん抑制作用におけるアクチン細胞骨格の役割

○川内 敬子¹、平田 宏聡² (1.甲南大・フロンティア、2.名大・院医)

18:03 ~ 18:27

[1PW17-Conclusion] Conclusion

○平田 宏聡¹ (1.名古屋大学)

18:27 ~ 18:30

第18会場

[1AW18] 細胞機能を司るオルガネラ・ゾーンの解説
オーガナイザー:清水 重臣(東京医科歯科大学)、オーガナイザー:西頭 英起(宮崎大学)

09:00 ~ 11:30 第18会場 (神戸国際会議場 5階 502)

[1AW18-Introduction] Introduction

○清水 重臣¹ (1.東京医科歯科大学)

09:00 ~ 09:06

[1AW18-1] 出芽酵母におけるミトコンドリア・小胞体連携ゾーンの役割

○田村 康¹ (1.山形大・理)

09:06 ~ 09:30

[1AW18-2] 生体防御応答を制御するオルガネラ・ゾーンの理解

○齊藤 達哉¹ (1.徳島大・酵素研・炎症生物)

09:30 ~ 09:54

[1AW18-3] DNA品質管理を担う核-小胞体連携ゾーン

○今泉 和則¹、浅田 梨絵¹、金子 雅幸¹ (1.広島大・医歯薬保(医)・分子細胞情報学)

09:54 ~ 10:18

[1AW18-4] ゴルジ体を介したタンパク質分解システムの発見

○荒川 聡子¹、山口 啓史¹、清水 重臣¹ (1.東京医歯大・難治研)

10:18 ~ 10:42

[1AW18-5] タンパク質選別輸送におけるオルガネラゾーンイメージング

○黒川 量雄¹ (1.理研・光子子)

10:42 ~ 11:06

[1AW18-6] 上皮細胞の極性輸送の分子機構とその過程に関する細胞小器官内選別輸送ゾーンの重要性

○原田 彰宏¹ (1.阪大・院医・細胞生物学)

11:06 ~ 11:30

[1PW18] 生命のエネルギー代謝を模倣して発電するバイオ燃料電池 – 生命科学の産業応用に向けて –

オーガナイザー:美川 務(理化学研究所)

16:00 ~ 18:30 第18会場 (神戸国際会議場 5階 502)

[1PW18-Introduction] Introduction

○美川 務¹ (1.理化学研究所)

16:00 ~ 16:10

[1PW18-1] バイオ燃料電池の高出力・高容量化に向けて

○美川 務¹ (1.理研・QBiC)

16:10 ~ 16:35

[1PW18-2] ギ酸酸化酵素の脱水素酵素化

○榎原 真二¹、重森 康司¹ (1.(株)アイシン・コスモス研)

16:35 ~ 17:00

[1PW18-3] 印刷技術を利用した酵素バイオ燃料電池の開発と自己駆動型ウェアラブルヘルスケアデバイスへの応用

○四反田 功¹ (1.東理大・理工・先端化学)

17:00 ~ 17:25

[1PW18-4] 低消費電力化した活動量計の開発、及び活動量と汗中乳酸の関係性について

○小出 哲¹、久米川 功壮¹、西林 賢二¹ (1.株式会社タニタ)

17:25 ~ 17:50

[1PW18-5] 酵素型バイオ燃料電池にむけた材料開発

○辻村 清也¹ (1.筑波大)

17:50 ~ 18:15

[1PW18-Discussion] Discussion

18:15 ~ 18:30

第19会場

[1AW19] 亜鉛シグナリング：細胞の増殖・分化・死を司る新しい制御機構

オーガナイザー:深田 俊幸(徳島文理大学)、オーガナイザー:神戸大朋(京都大学)

09:00 ~ 11:30 第19会場 (神戸国際会議場 5階 504+505)

[1AW19-1].

○深田 俊幸^{1,2}、Bin Bum-Ho² (1.徳島文理大・薬、2.昭和薬大・歯)

09:00 ~ 09:25

[1AW19-2] Iron and manganese homeostasis by Zn transporters

○Mitchell Knutson¹ (1.Food Science and Human Nutrition Dept., University of Florida)

09:25 ~ 09:50

[1AW19-3] Zinc transporter ZIP10 is a crucial partner of p63 for stratified epithelium morphogenesis

○Bin-Ho Bin¹、Toshiyuki Fukada² (1.Showa Univ., 2.Tokushima Bunri Univ.)

09:50 ~ 10:15

[1AW19-4] ストレスによる認知機能障害の一因は細胞外Zn²⁺流入である○鈴木 美希¹ (1.静岡県大・薬・統合生理)

10:15 ~ 10:40

[1AW19-5] 脳内亜鉛によるミクログリアの活性化制御と亜鉛シグナリング

○東 洋一郎¹、清水 孝洋¹、清水 翔吾¹、齊藤 源顕¹ (1.高知大・医・薬理学)

10:40 ~ 11:05

[1AW19-6] 亜鉛トランスポーターを標的とした亜鉛栄養状態の改善に向けて

○橋本 彩子¹、神戸 大朋² (1.静岡県立大学食品栄養科学部、2.京都大学大学院生命科学研究科)

11:05 ~ 11:30

[1PW19] ヒト染色体：維持と進化と疾患の新知見

オーガナイザー:黒木 陽子(国立成育医療研究センター)、オーガナイザー:深見 真紀(国立成育医療研究センター)

16:00 ~ 18:30 第19会場 (神戸国際会議場 5階 504+505)

[1PW19-Introduction] Introduction

○黒木 陽子¹ (1.国立成育医療研究センター)

16:00 ~ 16:01

[1PW19-1] メイトペアシーケンスによる染色体構造異常の発生メカニズムの解析

○加藤 武馬¹、稲垣 秀人¹、新海 保子¹、堤 真紀子¹、藤田 尚子¹、山本 俊至²、倉橋 浩樹¹ (1.藤田保健衛生大・総医研・分子遺伝、2.東京女子医科大学大学院 先端生命医科学専攻 遺伝子医学分野)

16:01 ~ 16:26

[1PW19-2] 転写制御異常による先天異常症：CHOPS症候群とコルネリアデランゲ症候群

○泉 幸佑¹ (1.フィラデルフィア小児病院遺伝科)

16:26 ~ 16:51

[1PW19-3] 片親性ダイソミー：両親の年齢と生殖補助医療

○鏡 雅代¹ (1.国立成育医療研究センター)

16:51 ~ 17:16

[1PW19-4 (2LBA-099)] 染色体医工学技術を用いた疾患の原因究明、治療法の開発

○久郷 裕之^{1,2,3}、宇野 愛海^{1,2}、大平 崇人¹、平塚 正治³、香月 康宏^{1,2,3}、押村 光雄² (1.鳥大・院医・遺伝子機能工学、2.鳥大・染色体工学セ、3.鳥大・医・細胞工学)

17:16 ~ 17:41

[1PW19-5] 染色体テリトリー・クロマチン・DNA構造の細胞核内における空間配置の特性について

○田辺 秀之¹ (1.総研大・先導研・生命共生体進化学)

17:41 ~ 18:06

[1PW19-6] ヒトサブテロメア領域のゲノム構造、その機能と進化

○黒木 陽子¹、豊田 敦²、野口 英樹³、谷口 丈晃⁴、矢田 哲士⁵、小野 千紘¹、要 匡¹、藤山 秋佐夫³ (1.成育医療センター・ゲノム医療、2.遺伝研・先端ゲノミクス推進セ、3.情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設、4.三菱総研、5.九工大・情報工学)

18:06 ~ 18:29

[1PW19-Conclusion] Conclusion

○深見 真紀¹ (1.国立成育医療研究センター)

18:29 ~ 18:30

第20会場

[1AW20] 難治性疾患克服バイオロジー：生殖・発生・小児疾患を中心に

オーガナイザー:宮戸 健二(国立成育医療研究センター研究所)、オーガナイザー:中林 一彦(国立成育医療研究センター研究所)
09:00 ~ 11:30 第20会場 (神戸国際展示場 2号館 2階 2A会議室)

[1AW20-Introduction] Introduction

○中林 一彦¹ (1.国立成育医療研究センター研究所)

09:00 ~ 09:03

[1AW20-1] 難治性遺伝性疾患に対する遺伝子治療の現状と展望

○小野寺 雅史¹ (1.国立成育医療研究センター)

09:03 ~ 09:21

[1AW20-2] ゲノム解析から解き明かす小児血液・腫瘍疾患のバイオロジー

○加藤 元博¹ (1.国立成育医療研究セ・小児がんセ)

09:21 ~ 09:39

[1AW20-3] ヒト生殖細胞系列におけるミトコンドリアゲノムの遺伝とミトコンドリア病遺伝予防を目指した次世代へのミトコンドリア病の遺伝を予防する卵子間核移植の臨床応用に向けた安全性検討 卵子核移植の課題

○山田 満穂^{1,2}、田中 守¹、Dieter Egli² (1.慶應義塾大学、2.ニューヨーク幹細胞財団)

09:39 ~ 09:57

[1AW20-4] 旅する造血幹細胞を支える代謝学的基盤

○田久保 圭誉¹ (1.国立国際医療研究セ・研究所・生体恒常性PJ)

09:57 ~ 10:15

[1AW20-5] 母性の自然免疫が妊孕性に及ぼす影響

○河野 菜摘子¹、吉田 薫²、岩本 晃明³、吉田 学⁴、宮戸 健二⁵ (1.明大・農・生命、2.桐蔭横浜大・先端医用工学センター、3.国際医療福祉大・リプロダクションセンター、4.東大・院理・臨海、5.国立成育医療研究セ・細胞医療)

10:15 ~ 10:33

[1AW20-6] 真骨魚類をモデルとしたアンドロゲンによる雄性形質発現・生理作用の分子機構解析

○荻野 由紀子¹、坂本 浩隆²、井口 泰泉³

(1.九大・院農・国際農業教育・研究推進セン

ター、2.岡大・理・牛窓臨海、3.横浜市大・生命ナノシステム)

10:33 ~ 10:51

[1AW20-7] 異種間キメラ動物を用いた疾患モデル研究

○磯谷 綾子¹ (1.奈良先端大・バイオ)

10:51 ~ 11:09

[1AW20-8] マウス SmcHD1によるクロマチンの機能制御

○佐渡 敬¹ (1.近大・農・バイオサイエンス)

11:09 ~ 11:27

[1AW20-Conclusion] Conclusion

○宮戸 健二¹ (1.国立成育医療研究セン

ター研究所)

11:27 ~ 11:30

[1PW20] 肝がん再発予防薬非環式レチノイドのサイエンス

オーガナイザー:小嶋 聡一(理化学研究所)、オーガナイザー:清水 雅仁(岐阜大学)

16:00 ~ 18:30 第20会場 (神戸国際展示場 2号館 2階 2A会議室)

[1PW20-1] 非環式レチノイドによる肝発癌化学予防

○清水 雅仁¹ (1.岐阜大・院医・消化器病態学)

16:00 ~ 16:25

[1PW20-2] 非環式レチノイド (ペレチノイン) のレチノイド核内レセプター非依存的肝発癌抑制機序

○本多 政夫^{1,2}、山下 太郎¹、岡田 光¹、金子 周一¹

(1.金沢大学消化器内科、2.金沢大学病態検査学)

16:25 ~ 16:50

[1PW20-3] 慢性肝障害より肝発癌プロセスにおけるレチノイドの意義

○汐田 剛史¹ (1.鳥取大学大学院医学系研究科遺伝子医療学)

16:50 ~ 17:15

[1PW20-4] ゲラニルゲラノイン酸の生物学

○四童子 好廣¹ (1.長崎県大・院人間健康・細胞生物学)

17:15 ~ 17:40

[1PW20-5] 前癌細胞をターゲットとした肝発癌抑制療法の開発

○鄭 允文^{1,2}、土田 倫範²、石橋 直人³、谷口 英樹²

(1.筑波大・医、2.横浜市大・医、3.興和(株)・東京創薬所)

17:40 ~ 18:05

[1PW20-6] 非環式レチノイドによる MYCN陽性肝癌幹細胞死誘導の分子機構

○小嶋 聡一¹ (1.理研CLST)

18:05 ~ 18:30

第21会場

[1AW21] 病態モデル動物からアプローチする発達障害の分子病態理解

オーガナイザー:内野 茂夫(帝京大学)、オーガナイザー:内匠 透(理化学研究所)

09:00 ~ 11:30 第21会場 (神戸国際展示場 2号館 2階 2B会議室)

[1AW21-Introduction] Introduction

○内野 茂夫¹ (1.帝京大学)

09:00 ~ 09:05

[1AW21-1] SHANK3から見た自閉スペクトラム症の神経病態の解明と克服にむけて

○内野 茂夫¹、和賀 央子¹ (1.帝京大・理工・バイオ)

09:05 ~ 09:25

[1AW21-2] クロマチンリモデリングの異常によって発症する ASDの分子病態

○片山 雄太¹、西山 正章¹、昌子 浩孝²、大川 恭行³、川村 淳生¹、佐藤 哲也⁴、須山 幹太⁴、内匠 透⁵、宮川 剛²、中山 敬一¹ (1.九大・生医研・分子医科学、2.藤田保健衛生大・総合医科研・システム医科学、3.九大・生医研・トランスクリプトミクス、4.九大・生医研・情報生物学、5.理研・精神生物学研究チーム)

09:25 ~ 09:50

[1AW21-3] ヒストンリジンメチル化酵素調節異常に起因する自閉症モデルマウスの後天的治療法の可能性

○平澤 孝枝^{1,3}、山田 亜夕美^{2,3}、加藤 まどか^{1,3}、西村 佳代子²、眞貝 洋一^{2,3} (1.帝京大・理工・バイオ、2.理研・眞貝細胞記憶、3.AMED-CREST)

09:50 ~ 10:15

[1AW21-4] 自閉症責任領域15q11-q13モデルマウスにおける原因遺伝子の探索

○玉田 紘太¹、福本 景太^{1,2}、戸谷 豪志^{1,3}、Sandra Ruf⁴、Francois Spitz⁴、内匠 透^{1,2} (1.理研・BSI、2.広島大院・医歯薬保、3.慶應大・薬・薬科、4.Dev. Biol. of EMBL)

10:15 ~ 10:40

[1AW21-5] 齧歯類および霊長類モデルを用いたレット症候群の病態解析

○岸 憲幸^{1,2}、佐藤 賢哉³、奥野 弥佐子¹、伊東 多恵子¹、岡野 洋尚^{1,4}、佐々木 えりか^{2,3}、岡野 栄之^{1,2}

(1.理研BSI・マーモセット神経構造研究

チーム、2.慶大・医・生理学、3.実験動物中央研究所、4.慈恵大・医学部)

10:40 ~ 11:05

[1AW21-6] コミュニティサンプルにおける5歳児の

ASDの有病率と社会性の評価としての注視パターンの解析

○斉藤 まなぶ^{1,3}、大里 絢子^{2,3}、坂本 由唯^{1,2}、宮崎 健祐¹、三上 珠希³、足立 匡基³、高橋 芳雄³、安田 小響³、栗林 理人³、中村 和彦^{2,3} (1.弘前大学・附属病院・神経科精神科、2.弘前大学・院医・神経精神医学講座、3.弘前大学・院医・子どもの発達研究センター)

11:05 ~ 11:30

[1PW21] 血管性認知症の再定義

オーガナイザー:小野寺 理(新潟大学)、オーガナイザー:猪原 匡史
(国立循環器病研究センター)

16:00 ~ 18:30 第21会場 (神戸国際展示場 2号館 2階 2B会議室)

[1PW21-Introduction] Introduction

○猪原 匡史¹ (1.国立循環器病研究センター)

16:00 ~ 16:02

[1PW21-1] Intramural Periarterial Drainage and the pathology of Alzheimer's disease

○Roxana Carare¹ (1.University of Southampton)

16:02 ~ 16:32

[1PW21-2] 血管性認知症における血管周皮細胞とオリゴデンドロサイト前駆細胞の役割

○真木 崇樹¹ (1.京大・院医・臨床神経学)

16:32 ~ 16:55

[1PW21-3] 遺伝性脳小血管病 CADASILの in vitroモデル: iPS細胞由来壁細胞を用いた病態メカニズムの解明

○山本 由美¹、小嶋 勝利²、田浦 大輔²、曾根 正勝²、鷺田 和夫³、江川 斉宏⁴、近藤 孝之⁴、皆川 栄子⁵、月田 香代子⁴、江浪 貴子⁴、富本 秀和⁶、水野 敏樹⁷、高橋 良輔⁸、猪原 匡史⁹、井上 治久⁴ (1.国立循環器病研究センター、2.京大・院医・糖尿病・内分泌・栄養内科学、3.神大・院医・神経内科学分野、4.京大・iPS細胞研究所、5.国立精神・神経医療研究センター・神経研究所、6.三重大・院医・神経病態内科学、7.京都府立医科大・院医・神経内科、8.京大・院医・臨床神経学、9.国立循環器病研究センター病院・脳神経内科)

16:55 ~ 17:18

[1PW21-4] Pericyte in health and cerebrovascular diseases

○吾郷 哲朗¹ (1.九大・院医・病態機能内科学)

17:18 ~ 17:41

[1PW21-5] Serine protease HTRA1 deficiency induces arteriopathy in cerebral small vessels.

○加藤 泰介¹、関根 有美²、藤田 菜摘¹、野崎 洋明³、廣川 祥子²、佐藤 俊哉⁴、辻 省次⁵、小野寺 理^{1,2} (1.新潟大学脳研究所分子神経疾患資源解析学分野、2.新潟大学脳研究所神経内科学分野、3.新潟大学保健学科検査技術科学専攻、4.北里大学実験動物学、5.東京大学医学部神経内科)

17:41 ~ 18:04

[1PW21-6] 血管性認知症とレニン・アンジオテンシン系:**認知症の危険因子としての生活習慣病**

○茂木 正樹¹ (1.愛大・院医・分心生薬)

18:04 ~ 18:27

[1PW21-Conclusion] Conclusion

○小野寺 理¹ (1.新潟大学)

18:27 ~ 18:30

第23会場**[1AW23] End malaria マラリアの eliminationをめざして**

オーガナイザー:北 潔(長崎大学)、オーガナイザー:坪井 敬文(愛媛大学)

09:00 ~ 11:30 第23会場 (神戸国際展示場 2号館 3階 3B会議室)

[1AW23-Introduction] Introduction

○坪井 敬文¹ (1.愛媛大学)

09:00 ~ 09:04

[1AW23-1 (1P-1304)] 多項目自動血球分析装置 (XN-

30) によるマラリア原虫の検出と抗マラリア薬研究への応用

○東岸 任弘¹、板垣 佐和子¹、鈴木 裕義²、岡崎 智紀²、内橋 欣也²、堀井 俊宏¹ (1.阪大・微研・分子原虫学、2.シスメックス株式会社)

09:04 ~ 09:26

[1AW23-2] アルテミシニン耐性の評価・検出ツールは出そろったか? : 流行地でのフィールド調査から見てきた問題点

○美田 敏宏¹ (1.順天堂・医・熱帯医学寄生虫病学)

09:26 ~ 09:48

[1AW23-3] Mitochondria is a good antimalaria drug target

○Josephine Siregar¹、Din Syafruddin¹、Hiroyuki Matsuoka²、Kiyoshi Kita³、Sangkot Marzuki¹ (1.Eijkman Institute for Molecular Biology, Jakarta, Indonesia、2.Division of Medical Zoology, Jichi Medical University、3.School of Tropical Medicine and Global Health, Nagasaki University)

09:48 ~ 10:10

[1AW23-4] 赤内期マラリア原虫の malate:quinone oxidoreductaseの役割

○新倉 保¹、井上 信一¹、松田 理紗¹、Daniel Inaoka²、北 潔²、小林 富美恵¹ (1.杏林大・医・感染症学、2.長崎大・院・熱帯医学・グローバルヘルス)

10:10 ~ 10:32

[1AW23-5] コムギ無細胞系を用いたマラリアワクチン候補分子探索の戦略的アプローチ

○高島 英造¹ (1.愛媛大・PROS・マラリア)

10:32 ~ 10:54

[1AW23-6] Malaria vaccine development ~ what is still missing ~

○三浦 憲豊¹、Ababacar Diouf¹、Bingbing Deng¹、Carole Long¹ (1.Lab. Malaria Vector Research, NIAID, NIH)

10:54 ~ 11:16

[1AW23-Discussion] Discussion

11:16 ~ 11:26

[1AW23-Conclusion] Conclusion

○北 潔¹ (1.長崎大学)

11:26 ~ 11:30

[1PW23] 新規分子骨格・ナノ材料で挑む細胞ターゲティングのためのネオ・レクチン分子創出戦略

オーガナイザー: 舘野 浩章(産業技術総合研究所)、オーガナイザー: 山本 一夫(東京大学)

16:00 ~ 18:30 第23会場 (神戸国際展示場 2号館 3階 3B会議室)

[1PW23-Introduction] Introduction

○舘野 浩章¹ (1.産業技術総合研究所)

16:00 ~ 16:06

[1PW23-1] 糖鎖パターン認識 DDSを基盤とする生体内合成化学治療

○田中 克典^{1,2,3} (1.理化学研究所、2.ロシアカザン大学、3.JST さきがけ)

16:06 ~ 16:29

[1PW23-2] GAGを認識する改変レクチンの創出

○山本 一夫¹ (1.東大・院新領域・先端生命)

16:29 ~ 16:52

[1PW23-3] タンパク質ナノブロック戦略によるネオ・レクチン超分子複合体の創出を目指して

○新井 亮^{1,2} (1.信州大・繊維・応用生物、2.信州大・菌類微生物セ)

16:52 ~ 17:15

[1PW23-4] 非タンパク質性合成レクチンを用いた糖認識バイオマテリアルの創製

中川 泰宏^{1,2}、舘野 浩章³、○荻原 充宏^{1,2,4} (1.物質・材料研究機構 WPI-MANA、2.筑波大学大学院 数理物質研究科、3.産業技術総合研究所 生命工学領域、4.東京理科大学大学院 基礎工学研究科)

17:15 ~ 17:38

[1PW23-5] エクソソーム表層糖鎖と細胞ターゲティング

○秋吉 一成¹ (1.京大・院工・高分子化学)

17:38 ~ 18:01

[1PW23-6] レクチンを用いた幹細胞ターゲティング技術の開発と応用

○舘野 浩章¹ (1.産総研)

18:01 ~ 18:24

[1PW23-Conclusion] Conclusion

○山本 一夫¹ (1.東京大学)

18:24 ~ 18:30

第24会場

[1AW24] 脳疾患におけるグリア病態の新展開

オーガナイザー: 富田 泰輔(東京大学)、オーガナイザー: 斉藤 貴志(理化学研究所)

09:00 ~ 11:30 第24会場 (神戸商工会議所 3階 神商ホールA)

[1AW24-1] グリア細胞活動の光操作を通じた脳病態制御

○松井 広¹ (1.東北大・院生命・超回路脳機能)

09:00 ~ 09:24

[1AW24-2] グルタミン酸量減少がアルツハイマー病病理に及ぼす影響の解析

○橋本 翔子¹、釜野 直子¹、石井 綾乃¹、斉藤 貴志¹、西道 隆臣¹ (1.理研・脳センター)

09:24 ~ 09:48

[1AW24-3] アストロサイト由来アミロイドβ分解酵素

KLK7の発現制御機構の解明

○建部 卓也^{1,2}、木棚 究²、堀 由起子²、斉藤 貴志³、西道 隆臣³、富田 泰輔² (1.帝平大・薬、2.東大・院薬・機能病態学、3.理化学研究所)

09:48 ~ 10:12

[1AW24-4] てんかんにおけるマイクログリア病態

○小山 隆太¹、池谷 裕二¹ (1.東大・院薬・薬品作用)

10:12 ~ 10:36

[1AW24-5] 脳梗塞後の炎症とミクログリアノマクロファージ

○七田 崇¹、吉村 昭彦² (1.東京都医学研・脳卒中ルネサンス、2.慶応大・微生物免疫)

10:36 ~ 11:00

[1AW24-6] 運動神経変性におけるグリア細胞・神経炎症の役割

○山中 宏二¹ (1.名大・環医研・病態神経)

11:00 ~ 11:24

[1AW24-Conclusion] Conclusion

○富田 泰輔¹、○斉藤 貴志² (1.東京大
学、2.理化学研究所)

11:24 ~ 11:30

[1PW24] 生殖における脂質生物学

オーガナイザー:杉本 幸彦(熊本大学)、オーガナイザー:村上 誠(東京大学)

16:00 ~ 18:30 第24会場 (神戸商工会議所 3階 神商ホールA)

[1PW24-Introduction] Introduction

○村上 誠¹、○杉本 幸彦² (1.東京大
学、2.熊本大学)

16:00 ~ 16:03

[1PW24-1] ホスホリパーゼ A2分子群と生殖

○村上 誠^{1,2,3}、佐藤 弘泰^{1,2}、武富 芳隆^{1,2}
(1.東大・院医・健康環境医工学、2.都医学
研、3.日本医療研究開発機構)

16:03 ~ 16:27

[1PW24-2] 精子形成における DHA含有リン脂質の役割

○菱川(飯塚) 佳子¹、菱川 大介¹、佐々木 純子²、田
久保 圭誉^{3,11}、後藤 元人⁴、長田 克之¹、中西 広樹⁵、
進藤 英雄^{1,10,11}、岡村 匡史⁶、伊藤 千鶴⁷、年森
清隆^{7,8}、佐々木 雄彦^{2,5,11}、清水 孝雄^{1,9} (1.国医
セ・脂質シ、2.秋田大院・医・微生物学、3.国医
セ・生体恒常、4.実中研・動資セ・資源開、5.秋田大
院・医・生体情報センター、6.国医セ・ヒト型動
開、7.千葉大院・医・生殖生物医学、8.千葉大・F
MRC、9.東大・院・リポミクス、10.東大・院・脂
質医、11.AMED)

16:27 ~ 16:51

[1PW24-3] 精巣器官培養法を用いた精子形成

○小川 毅彦¹、三條 博之² (1.横浜市立大学・生命医
科学・創薬再生科学、2.横浜市立大学・医学部・泌尿
器科)

16:51 ~ 17:15

[1PW24-4] ATX-LPA3シグナルは受精卵と子宮内膜上皮の 境界で脱落膜化を制御する

○青木 淳賢¹、藍川 志津¹、可野 邦行¹ (1.東北大学
大学院薬学研究科)

17:15 ~ 17:39

[1PW24-5] COX2が制御する子宮の機能と胚着床プロセス

○廣田 泰^{1,2} (1.東大・院医・産婦人科
学、2.PRIME・AMED)

17:39 ~ 18:03

[1PW24-6] 雌性生殖生理におけるプロスタグランジンの役 割

○杉本 幸彦¹ (1.熊本大・院薬・生化)

18:03 ~ 18:27

[1PW24-Conclusion] Conclusion

○村上 誠¹、○杉本 幸彦² (1.東京大
学、2.熊本大学)

18:27 ~ 18:30

第25会場

[1AW25] 遺伝暗号 Magic20の起源と進化

オーガナイザー:横堀 伸一(東京薬科大学)、オーガナイザー:別所
義隆(中央研究院)

09:00 ~ 11:30 第25会場 (神戸商工会議所 3階 神商ホールB)

[1AW25-Introduction] Introduction

○別所 義隆¹ (1.中央研究院)

09:00 ~ 09:05

[1AW25-1] Magic20: 生体原材料の呪縛

○大島 泰郎¹ (1.共和化工・環境微生物)

09:05 ~ 09:25

[1AW25-2] 遺伝暗号の初期進化と tRNA修飾酵素の役割

○別所 義隆^{1,2} (1.中研院・生物化学、2.理研・S
Pring-8)

09:25 ~ 09:45

[1AW25-3] 枯草菌におけるコドン認識様式の解析

○相馬 亜希子¹、高地 司¹、関根 靖彦² (1.千葉
大・園芸院、2.立教大・理・生命科学)

09:45 ~ 10:05

[1AW25-4] 真核生物における tRNAの多様性と遺伝暗号と の関連

○浜島 聖文¹、金井 昭夫^{2,3} (1.Inst. Bioeng.
Nanotech., A*STAR、2.慶大・先端生命
研、3.慶大・政策メディア)

10:05 ~ 10:25

[1AW25-5] 遺伝コードの対称性とアンチコドンの識別

○高井 和幸¹ (1.愛媛大・院理工・物質生命)

10:25 ~ 10:45

[1AW25-6] 同義コドン使用のバイオフィーマティクス解 析

○鈴木 治夫¹ (1.慶大先端研)

10:45 ~ 11:05

[1AW25-7] アミノアシル化 tRNA合成酵素の分子系統解析 と祖先酵素復元にに基づく標準遺伝暗号表の成立 過程の推定

○横堀 伸一¹、古川 龍太郎¹、横川 隆志²、笹本 峻弘¹、
佐藤 陸¹、宮下 奈津実¹、遠藤 有紀¹、松田 直樹¹、
丸山 真歩¹、木賀 大介³、赤沼 哲史⁴、山岸 明彦¹
(1.東薬大・生命・応用生命、2.岐阜大・工・化学生

命、3.早稲田大・理工・電気情報生命、4.早稲田大・人間科学)

11:05 ~ 11:25

[1AW25-Conclusion] Conclusion

○横堀 伸一¹ (1.東京薬科大学)

11:25 ~ 11:30

[1PW25] 精神疾患の神経生物学

オーガナイザー:若月 修二(国立精神・神経医療研究センター神経研究所)、オーガナイザー:福田 敏史(東京薬科大学)

16:00 ~ 18:30 第25会場 (神戸商工会議所 3階 神商ホールB)

[1PW25-Introduction] Introduction

○若月 修二¹ (1.国立精神・神経医療研究センター神経研究所)

16:00 ~ 16:02

[1PW25-1] イオン恒常性の破綻による精神疾患発病機構の解明

○若月 修二¹、荒木 敏之¹ (1.国立精神神経セ・神経研・疾病五部)

16:02 ~ 16:25

[1PW25-2] 脳機能改善を目指した、巨大分泌タンパク質リーリンの活性制御

○河野 孝夫¹、服部 光治¹ (1.名古屋市立大学)

16:25 ~ 16:48

[1PW25-3] 生後発達期大脳における自閉症感受性遺伝子AUTS2の生理機能の解析

○堀 啓¹、永井 拓²、Wei Shan²、山田 光代¹、白石 玲花¹、菅野 康太³、坂本 亜沙美¹、阿部 学⁴、崎村 健司⁴、山田 清文²、星野 幹雄¹ (1.国立精神・神経医療研究センター神経研・病態生化学、2.名大・医・医療薬学、3.鹿児島大・法文・人文、4.新潟大・脳研・細胞神経生物学)

16:48 ~ 17:11

[1PW25-4] CAMDI欠損マウスのHDAC6特異的阻害剤による大脳皮質神経細胞の移動異常と自閉症様行動の回復

○福田 敏史¹ (1.東薬大・生命・分子生化学)

17:11 ~ 17:34

[1PW25-5] 脳内の中間表現型：遺伝子と行動の関係性を理解するためのキーコンセプト

○萩原 英雄¹、宮川 剛¹ (1.藤田保健大・総医研・システム医科)

17:34 ~ 17:57

[1PW25-6] 遺伝子改変マウスの行動解析を起点とした精神疾患研究

○高雄 啓三^{1,2} (1.富山大・生命科学先端研)

ニット、2.富山大・院医・行動生理学)

17:57 ~ 18:20

[1PW25-Discussion] Discussion

18:20 ~ 18:27

[1PW25-Conclusion] Conclusion

○高雄 啓三¹ (1.富山大学)

18:27 ~ 18:30

第27会場

[1AW27] 糖鎖修飾と、末梢組織から見た神経系疾患

オーガナイザー:加藤 啓子(京都産業大学)、オーガナイザー:北川 裕之(神戸薬科大学)

09:00 ~ 11:30 第27会場 (神戸商工会議所 3階 第3会議室)

[1AW27-Introduction] Introduction

○加藤 啓子¹ (1.京都産業大学)

09:00 ~ 09:03

[1AW27-1] 硫酸化糖鎖の合成制御異常が脳の発生に与える影響

○灘中 里美¹、栗津 朋代¹、尾ノ井 孝一¹、石野 敦重¹、灘井 めぐみ¹、小川 侑佳¹、北川 裕之¹ (1.神戸薬大・薬・生化)

09:03 ~ 09:28

[1AW27-2] アルツハイマー病態をコントロールする糖鎖修飾

○北爪 (川口) しのぶ¹、木塚 康彦¹、立田 由里子¹、今牧 理恵¹、斉藤 貴志²、西道 隆臣²、谷口 直之¹ (1.理化学研究所・疾患糖鎖研究チーム、2.理化学研究所・脳科学研究所・神経蛋白質制御研究チーム)

09:28 ~ 09:53

[1AW27-3] ジストログリカン異常症の原因となるリビトールリン酸タンデム構造とその生合成経路

○小林 千浩¹、戸田 達史^{1,2} (1.神戸大・院医・神経内科/分子脳、2.東大・院医・神経内科)

09:53 ~ 10:18

[1AW27-4] シアル酸修飾と代謝負荷に起因する精神神経疾患の発症

○加藤 啓子¹、藤田 明子¹、太田 知沙¹、古川 潤一² (1.京産大・生命科学、2.北大・医学部研究院)

10:18 ~ 10:42

[1AW27-5] 精神疾患リスク因子 VIPL/LMAN2Lレクチンのゼブラフィッシュ変異体が示す体性感覚反射の異常

○浅川 和秀^{1,2}、川上 浩一^{1,2} (1.国立遺伝研・初期発生、2.総研大・遺伝学)

10:42 ~ 11:06

[1AW27-6] 中枢へのクレアチン供給機構と中枢クレアチン
欠乏症

○大槻 純男¹、伊藤 慎悟¹ (1.熊本大・院生命科学)

11:06 ~ 11:30

[1PW27] 非典型糖鎖の糖鎖生物学

オーガナイザー:岡島 徹也(名古屋大学)、オーガナイザー:萬谷
博(東京都健康長寿医療センター)

16:00 ~ 18:30 第27会場 (神戸商工会議所 3階 第3会議室)

[1PW27-Introduction] Introduction

○岡島 徹也¹ (1.名古屋大学)

16:00 ~ 16:06

[1PW27-1] O-グルコース糖鎖修飾による EGFドメインのタ
ンパク質安定性と Notch受容体機能の制御機構
に関する研究

○竹内 英之¹、ユウ ホンジュン²、リー フィリン²、ハ
ルティワンガー ロバート³ (1.名大・院医・分子細胞
化学、2.ヴァンアンデル研究所、3.ジョージア大学)

16:06 ~ 16:30

[1PW27-2] 新しい細胞外 O-GlcNAc修飾の分子機能

○小川 光貴¹、古川 鋼一²、岡島 徹也¹ (1.名大・院
医・生化II、2.中部大・生命健康科学・スポーツ保健
医療)

16:30 ~ 16:54

[1PW27-3] 非典型糖修飾C-mannosylationの役割と責任酵
素の解析

○清水 史郎¹ (1.慶大・理工・応化)

16:54 ~ 17:18

[1PW27-4] C-マンノシル化糖修飾と細胞生理機能への関与

○井原 義人¹、井内 陽子¹、池崎 みどり¹、南方 志帆
¹、眞鍋 史乃²、伊藤 幸成² (1.和歌山県医大・医・生
化学、2.理研)

17:18 ~ 17:42

[1PW27-5] N-GlcNAcタンパク質はNGLY1欠損症の病態の
原因たり得るか？

○鈴木 匡¹ (1.理研・糖鎖代謝学研究T)

17:42 ~ 18:06

[1PW27-6] 新規O-マンノース型糖鎖の発見とその異常によ
る先天性筋ジストロフィー症

○萬谷 博¹ (1.都健康長寿医療セ・分子機構)

18:06 ~ 18:30

2017年12月7日(木)

第1会場

[2PW01] デザイナー RNA : 人工 RNA/RNPによる
生命回路のコントロール

オーガナイザー:星野 真一(名古屋市立大学)、オーガナイザー:秋光
信佳(東京大学)

16:00 ~ 18:30 第1会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 階
乗1)

[2PW01-1] 長鎖ノンコーディング RNAから学ぶ人工
RNAデザイン

○秋光 信佳¹ (1.東大・ISC)

16:00 ~ 16:21

[2PW01-2] microRNAによるタンパク質合成の抑制と活性
化

○脇山 素明¹ (1.理研・ライフサイエンス技術基盤研
究センター)

16:21 ~ 16:42

[2PW01-3] デザイナー RNAを用いた RNA編集誘導を原理
とする一過的遺伝子改変技術の開発

○福田 将虎¹、野瀬 可那子¹、野口 龍磨¹、星野 莉奈¹、
増田 修樹¹ (1.福岡大・理・化学)

16:42 ~ 17:03

[2PW01-4] RNA/RNPによる医療応用へ向けた
DNAフリーな遺伝子回路

○藤田 祥彦¹、齊藤 博英¹ (1.京都大学iPS細胞研究
所)

17:03 ~ 17:24

[2PW01-5] 生体機能を制御する人工 mRNA安定化技術の開
発

○星野 真一¹ (1.名市大・院薬・遺伝情報学)

17:24 ~ 17:45

[2PW01-6] RNAi医薬の安定化と活性化に向けた新分子技術
の開発

○和田 猛¹ (1.東理大・薬・生命創薬)

17:45 ~ 18:06

[2PW01-7] 遺伝子発現制御のための RNA分子の形状デザイ
ン

○阿部 洋^{1,2}、阿部 奈保子¹、木村 康明¹、友池 史明¹
(1.名大・院理・化学、2.理化学研究所)

18:06 ~ 18:27

[2PW01-Conclusion] Conclusion

○星野 真一¹ (1.名古屋市立大学)

18:27 ~ 18:30

第2会場

[2AW02] 古くて新しいポリコーム: そのエピジェネ
ティック制御機構をマウスと一緒に考える
オーガナイザー:大森 義裕(大阪大学)、オーガナイザー:磯野 協一
(和歌山県立医科大学)

09:00 ~ 11:30 第2会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 階
乗2)

[2AW02-Introduction] Introduction

○大森 義裕¹ (1.大阪大学)

09:00 ~ 09:06

[2AW02-1] SAMドメイン蛋白質 Samd7は網膜桿体視細胞
の最終分化をエピジェネティックに制御する組
織特異的なポリコーム複合体1の構成要素であ
る

○大森 義裕¹、久保 竣¹、今 鉄男¹、古橋 真佑¹、成田
宏隆²、上野 明希子¹、堤 峻太郎¹、茶屋 太郎¹、上野
真治³、古関 明彦⁴、中川 敦史²、古川 貴久¹ (1.大阪
大・蛋白研・分子発生、2.大阪大・蛋白研・超分子構
造、3.名古屋大・院医・眼科、4.理研・統合生命医科学)

09:06 ~ 09:29

[2AW02-2] 成体心臓の機能維持に対するポリコーム遺伝子
Pcgf5 (*Polycomb ring finger 5*) の機能解析

○白井 学¹、錦織 充広¹、若林 真樹¹、高橋 篤^{1,2}、金
美花³、大谷 健太郎⁴、土持 裕胤³、瀧原 義宏^{5,6}、森
崎 隆幸⁷、南野 直人¹ (1.国循セ・創薬オミックス、2.研・病態ゲノム、3.心臓生理、4.再生医
療、5.広大・原研・幹細胞、6.大阪血液セ、7.東京工
科大・医療保健)

09:29 ~ 09:52

[2AW02-3] ゲノム情報の修復: 転写抑制因子ポリコーム群
のエピジェネティックでない役割

○磯野 協一¹、木村 弥生²、公文 麻美³、遠藤 高帆³、
古関 明彦³ (1.和医大・動物実験施設、2.横浜市
大・医、3.理研・IMC-RCAI)

09:52 ~ 10:15

[2AW02-4] ポリコームタンパクは Pax5を抑制することによ
り T細胞の運命を維持する

○伊川 友活¹、古関 明彦¹、河本 宏² (1.理化学研究
所・統合生命・免疫器官形成、2.京大・ウイルス再
生・再生免疫)

10:15 ~ 10:38

[2AW02-5] 生殖細胞特異的なポリコーム因子 SCML2による
bivalent domain形成機構

○前澤 創^{1,3}、長谷川 和輝^{1,3}、湯川 将之^{2,3}、久保
直樹⁴、坂下 陽彦^{1,3}、Kris Alavattam^{1,3}、Ho-Su
Sin^{1,3}、Andrey Kartashov^{2,3}、佐々木 裕之⁴、Artem

Barski^{2,3}、行川 賢^{1,3} (1.シンシナティ小児病院医療セ・生殖科学、2.シンシナティ小児病院医療セ・アレルギー&免疫、3.シンシナティ大・医・小児、4.九大・生体防御医研・エピゲノム制御学分野)
10:38 ~ 11:01

[2AW02-6] Polycomb複合体による神経幹細胞の運命制御機構

○岸 雄介¹、壺井 将史¹、平林 祐介²、衛藤 光¹、桑山 尚大¹、古関 明彦³、後藤 由季子¹ (1.東大・院薬、2.コロンビア大学、3.理研・IMS)
11:01 ~ 11:24

[2AW02-Conclusion] Conclusion

○磯野 協一¹ (1.和歌山県立医科大学)
11:24 ~ 11:30

第3会場

[2AW03] 核内受容体が制御する多彩な生命現象

オーガナイザー:今井 祐記(愛媛大学)、オーガナイザー:清水 宣明(東京大学)
09:00 ~ 11:30 第3会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 階乗3)

[2AW03-1] 表皮特異的ビタミン D受容体ノックアウトマウスから理解する正常な表皮・毛包維持機構の解明

○沢津橋 俊¹、上甲 裕大¹、山本 陽子²、福本 誠二¹、松本 俊夫¹ (1.徳大・先端酵素研・分子内分分泌学、2.東大・病院・消化器外科)
09:00 ~ 09:25

[2AW03-2] miRNA, lncRNAおよび RNA結合タンパク質を介するアンドロゲン受容体シグナルの新規制御メカニズム

○高山 賢一¹、井上 聡¹ (1.東京都健康長寿医療センター研究所老化制御)
09:25 ~ 09:50

[2AW03-3] 筋線維アンドロゲン受容体は筋質を制御する

○今井 祐記¹ (1.愛媛大・PROS)
09:50 ~ 10:15

[2AW03-4] LXRαの新規調節機構: TTC39B阻害は

LXRαのユビキチン化によるプロテアソーム分解を減弱させアテローム性動脈硬化症および非アルコール性脂肪性肝炎の両方を改善する

○小関 正博^{1,2} (1.大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学、2.大阪大学キャンパスライフ健康支援センター)
10:15 ~ 10:40

[2AW03-5] SIRT7による多様な代謝制御

○吉澤 達也¹、山縣 和也¹ (1.熊大・院生命科学・病態生化学)
10:40 ~ 11:05

[2AW03-6] 腎臓におけるミネラルコルチコイド受容体シグナルの修飾機構と体液調節における役割

○柴田 茂^{1,2} (1.帝京大学医学部内科学講座腎臓内科、2.東京大学先端科学技術研究センター)
11:05 ~ 11:30

[2PW03] 遺伝的組換えの分子メカニズムとその生理的機能と技術応用

オーガナイザー:篠原 美紀(近畿大学)、オーガナイザー:笹沼 博之(京都大学)
16:00 ~ 18:30 第3会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 階乗3)

[2PW03-Introduction] Introduction

○笹沼 博之¹ (1.京都大学)
16:00 ~ 16:02

[2PW03-1] ヒト分裂期細胞におけるゲノム安定化維持と不正確な修復の誘導メカニズム

○篠原 美紀^{1,2} (1.近畿大・農・バイオサイエンス、2.大阪大・蛋白研)
16:02 ~ 16:22

[2PW03-2] 短い相同配列を介した遺伝子ノックインにおいて選択されるDSB修復経路の解析

○中出 翔太¹、中前 和恭¹、佐久間 哲史¹、山本 卓¹ (1.広島大・院理学)
16:22 ~ 16:43

[2PW03-3] 核内構造体に局在する因子による相同組換え修復制御

松井 美咲¹、木村 祐輔¹、安倍 昌子²、石合 正道²、堀利行¹、高田 穰²、Stephen Jackson^{3,4}、○西 良太郎¹ (1.立命館大・院生命科学・生医、2.京都大・放射線生物研究センター、3.The Wellcome Trust/Cancer Res. UK Gurdon Inst. and Dept. of Biol., Univ. of Cambridge、4.The Wellcome Trust Sanger Inst.)
16:43 ~ 17:04

[2PW03-4] DNA二本鎖切断修復機構で働く

Mre11/Ra50/Nbs1複合体の解析
○古郡 麻子¹ (1.奈良先端大・バイオ)
17:04 ~ 17:25

[2PW03-5] Mre11蛋白質は、DNAに共有結合した

TopIIを除去するのに必須である。
Nguyen Hoa¹、Zhao-Qi Wang²、Tanya Pauli³、筒井 研⁴、武田 俊一¹、○笹沼 博之¹ (1.京大・医学研

究科・放射線遺伝、2.ライプニッツ研究所、3.テキサス大学オースチン校、4.岡大医歯薬学総合研究科
脳神経機構学)

17:25 ~ 17:46

[2PW03-6] 染色体弛緩による相同組換え活性化を利用した新規抗体作製技術 ADLibシステム

○瀬尾 秀宗¹、橋本 講司¹、村山 晃歩¹、黒澤 恒平¹、太田 邦史¹ (1.東大・総合文化・生命環境)

17:46 ~ 18:07

[2PW03-7] 生殖系列細胞の発生サイクルにおける減数分裂プログラムの獲得メカニズム

細川 美穂子¹、刀谷 在美¹、林 瑛理¹、望月 綾子¹、沼田 興治²、阿部 訓也²、末盛 博文¹、中辻 憲夫¹、○中馬 新一郎¹ (1.京都大学ウィルス・再生医科学研究所、2.理化学研究所バイオリソースセンター)

18:07 ~ 18:28

[2PW03-Conclusion] Conclusion

○篠原 美紀¹ (1.近畿大学)

18:28 ~ 18:30

第5会場

[2AW05] (量子物理学 + 生化学) x 生物学 = ? ~ “量子生物学”とは何か~

オーガナイザー:野尻 正樹(大阪大学)

09:00 ~ 11:30 第5会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 菊水)

[2AW05-Introduction] Introduction

○野尻 正樹¹ (1.大阪大学)

09:00 ~ 09:03

[2AW05-1] 量子散逸系として見る光合成光捕集系

○石崎 章仁¹ (1.分子研)

09:03 ~ 09:31

[2AW05-2] 渡り鳥のための光化学磁気コンパスと電子スピンダイナミクス

○前田 公憲¹ (1.埼玉大・院理工)

09:31 ~ 09:59

[2AW05-3] 酵素が使う量子力学的な仕組み~金属酵素における電子とプロトンの協奏~

○野尻 正樹¹ (1.阪大・院理・化学)

09:59 ~ 10:27

[2AW05-4] NVセンターの生命科学計測への適用

○原田 慶恵¹ (1.阪大・蛋白研)

10:27 ~ 10:55

[2AW05-5] シンクロトロン放射をツールとする放射線によるDNA損傷と細胞学的応答の研究

○横谷 明德^{1,2,3}、藤井 健太郎^{1,2}、島田 紘行⁴、鵜飼 正敏⁵、神長 輝一^{1,3}、大和田 謙二⁶、町田 晃彦⁶、西村 由希子⁷、今岡 達彦⁷ (1.量研機構・東海量子ビーム、2.量研機構未来ラボ・量子細胞システムGr、3.茨城大・院・理工学、4.高エネ機構・物構研、5.東京農工大・工・物理システム、6.量研機構・放射光センター、7.量研機構・放医研)

10:55 ~ 11:23

[2AW05-Discussion] Discussion

11:23 ~ 11:30

[2PW05] シン・メタボリズム~代謝に関わる多彩な生命現象~

オーガナイザー:増本 博司(長崎大学)、オーガナイザー:齋藤 成昭(久留米大学)

16:00 ~ 18:30 第5会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 菊水)

[2PW05-Introduction] Introduction

○増本 博司¹ (1.長崎大学)

16:00 ~ 16:05

[2PW05-1] グルコース濃度低下に対する細胞周期応答メカニズム

○齋藤 成昭¹、増田 史恵¹、副島 朗子¹、森 礼郁²、上原理沙²、柳田 充弘² (1.久留米大・分子生命・細胞工学、2.沖縄科学技術大学院大学・GOユニット)

16:05 ~ 16:22

[2PW05-2] グルコース飢餓への細胞応答とクロマチン構造

○太田 邦史¹ (1.東京大学大学院総合文化研究科)

16:22 ~ 16:39

[2PW05-3] 糖尿病におけるグルカゴンの新認識~真の病態因子としての位置づけ

○河盛 段¹ (1.阪大医・内分泌・代謝内科学)

16:39 ~ 16:56

[2PW05-4] 老化・がん化耐性齧歯類ハダカデバネズミのエネルギー代謝を制御する分子機構の解析

○岡 香織¹、大岩 祐基¹、河村 佳見¹、杉浦 悠毅²、南嶋 洋司³、末松 誠²、和氣 正樹⁴、武田 憲彦⁴、城戸 康年⁵、稲岡 健ダニエル⁶、北 潔⁶、三浦 恭子¹

(1.北大・遺制研・動物機能、2.慶大・医・医化学、3.九大・生医研・分子医科学、4.東大・院医・循環器、5.大分大・医・環境予防、6.長崎大・院熱帯医学)

16:56 ~ 17:13

[2PW05-5] NAD代謝の疾患生物学

○中川 崇¹ (1.富山大・医・病態代謝解析)

17:13 ~ 17:30

[2PW05-6] 出芽酵母の長寿変異株におけるS-アデノシルメチオニン(SAM)が関わる寿命延長機構の解析
○小川 貴史¹、水沼 正樹¹ (1.広島大・院先端研・分子生命)

17:30 ~ 17:47

[2PW05-7] 古くて新しいアミノ酸シグナルによるインスリン様活性の調節機構
○高橋 伸一郎¹、伯野 史彦¹、竹中 麻子²、豊島 由香³、増田 正人⁴、加藤 久典¹、潮 秀樹¹
(1.東大・院・農生科、2.明大・農、3.日医大・先端医学研究所、4.東洋大・計算力学センター)

17:47 ~ 18:04

[2PW05-8] CRISPR/Transposon gene integration(CRITGI):代謝システムの移植のための染色体への大規模遺伝子導入法
○増本 博司¹、鼻崎 美紀¹ (1.長崎大・医・共同利用)

18:04 ~ 18:21

[2PW05-Discussion] Discussion

18:21 ~ 18:26

[2PW05-Conclusion] Conclusion

○齋藤 成昭¹ (1.久留米大学)

18:26 ~ 18:30

第6会場

[2AW06] 液性診断の求める次世代分子計測テクノロジーとは

オーガナイザー:松阪 諭(がん研究会)、オーガナイザー:新宅 博文(京都大学)
09:00 ~ 11:30 第6会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 北野)

[2AW06-Introduction] Introduction

○松阪 諭¹ (1.がん研究会)

09:00 ~ 09:02

[2AW06-1] ナノテクノロジーと液性診断

○芝 清隆¹ (1.がん研究会・がん研・蛋白創製)

09:02 ~ 09:22

[2AW06-2] 次世代細菌叢解析:高いダイナミックレンジをもつDNAバーコード法を用いて

○城口 克之¹ (1.理研・生命システム)

09:22 ~ 09:42

[2AW06-3] 一細胞核内核酸と細胞質核酸の並列シーケンズ解析

○新宅 博文¹ (1.京大・院工・機械)

09:42 ~ 10:02

[2AW06-4] 1細胞分泌実時間イメージングの液性診断への応用

○白崎 善隆^{1,2}、山岸 舞^{1,2}、鈴木 信勇¹、宮田 楓¹、田中 優実子¹、小原 収²、上村 想太郎¹

(1.東大・院理・生物科学、2.理研・IMS)

10:02 ~ 10:22

[2AW06-5] C型慢性肝炎治療後の肝がん予測するための診断マーカー開発

○村上 善基¹ (1.大阪市大・院医・肝胆脾内科)

10:22 ~ 10:47

[2AW06-6] 血漿遊離 DNAの臨床展望

○荒金 尚子¹ (1.佐賀大・医)

10:47 ~ 11:12

[2AW06-Discussion] Discussion

11:12 ~ 11:27

[2AW06-Conclusion] Conclusion

○新宅 博文¹ (1.京都大学)

11:27 ~ 11:30

[2PW06] 多様な微生物に見出したユニークな細胞・酵素機能とその応用

オーガナイザー:高木 博史(奈良先端科学技術大学院大学)、オーガナイザー:小林 達彦(筑波大学)
16:00 ~ 18:30 第6会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 北野)

[2PW06-Introduction] Introduction

○小林 達彦¹ (1.筑波大学)

16:00 ~ 16:02

[2PW06-1] ユニークな酵素機能の探索

○小林 達彦¹ (1.筑波大・生命環境)

16:02 ~ 16:25

[2PW06-2] キノヘムプロテイン・アミン脱水素酵素補酵素含有サブユニットの多段階翻訳後修飾の分子機構

○岡島 俊英¹、大関 俊範¹、小酒井 一輝¹、中井 忠志²、谷澤 克行¹ (1.阪大・産研、2.広島工大・生命)

16:25 ~ 16:50

[2PW06-3] 細菌におけるリボソームレスキュー機構

栗田 大輔¹、武藤 あきら¹、○姫野 俵太¹ (1.弘前大・農学生命・分子生命)

16:50 ~ 17:15

[2PW06-4] 新たなメタン生成古細菌の発見がもたらす生化学的・地球化学的意義

○鎌形 洋一¹ (1.産業技術総合研究所)

17:15 ~ 17:40

[2PW06-5] 糸状菌に見出されたエルゴステロール合成経路

を制御する新規転写因子 ~ Fungal
infectionの制御に向けて~

○萩原 大祐¹ (1.千葉大・真菌センター)
17:40 ~ 18:05

[2PW06-6] 酵母に見出した「両刃の剣」一酸化窒素の合成
機構と生理的役割

○高木 博史¹ (1.奈良先端大・バイオ)
18:05 ~ 18:28

[2PW06-Conclusion] Conclusion

○高木 博史¹ (1.奈良先端科学技術大学院
大学)
18:28 ~ 18:30

第7会場

[2AW07] 多角的アプローチと革新的技術で迫るカル
シウムシグナルの分子基盤と疾患治療戦略

オーガナイザー: 杉浦 麗子(近畿大学)、オーガナイザー: 御子柴 克彦
(理化学研究所)
09:00 ~ 11:30 第7会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 布
引)

[2AW07-Introduction] Introduction

○杉浦 麗子¹ (1.近畿大学)
09:00 ~ 09:03

[2AW07-1] IP₃受容体の結晶構造からひもとくアロステ
リック機構と疾病メカニズム

○濱田 耕造¹、宮武 秀行²、寺内 明子¹、御子柴 克彦¹
(1.理研・脳・発生神経、2.理研・伊藤ナノ)
09:03 ~ 09:28

[2AW07-2] 生理機能イメージングのための蛍光・発光タン
パク質を用いた Ca²⁺プローブと光操作

○松田 知己¹、永井 健治¹ (1.阪大・産研)
09:28 ~ 09:52

[2AW07-3] 小胞体内腔 Ca²⁺イメージングによる神経・グ
リア細胞機能の解析

○大久保 洋平¹ (1.東大・院医・細胞分子薬理)
09:52 ~ 10:16

[2AW07-4] カルシウム依存性蛋白質リン酸化経路を介した
神経回路形成機構の探索

○竹本 さやか^{1,2,3}、堀金 慎一郎^{1,2}、鈴木 敢三²、上條
諭志²、藤井 哉²、尾藤 晴彦² (1.名大・環境医学研究
所・神経Ⅰ、2.東大・院医・神経生化学、3.PRESTO,
JST)
10:16 ~ 10:40

[2AW07-5] T型カルシウムチャネルを標的とする難治性疼
痛の治療

○川畑 篤史¹ (1.近畿大・薬・病態薬理)
10:40 ~ 11:04

[2AW07-6] 新規 ERKシグナル調節薬の発見とがん治療戦略
のパラダイムシフト

○杉浦 麗子¹ (1.近大・薬・創薬科学・分子医療・ゲ
ノム創薬学)
11:04 ~ 11:28

[2AW07-Conclusion] Conclusion

○御子柴 克彦¹ (1.理化学研究所)
11:28 ~ 11:30

[2PW07] 細胞機能を理解する上での構造生物学的ア
プローチ

オーガナイザー: 玉田 太郎(量子科学技術研究開発機構)、オーガナイ
ザー: 小柴 琢己(九州大学)
16:00 ~ 18:30 第7会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 布
引)

[2PW07-1] ミトコンドリアタンパク質による膜構造への影
響

○小柴 琢己¹ (1.九大・院理・生物科学)
16:00 ~ 16:25

[2PW07-2] ApoER2-リーリン複合体の構造から理解する
LDLRファミリー受容体におけるリガンド結合と
解離

○禾 晃和¹ (1.横浜市大・院生命医)
16:25 ~ 16:50

[2PW07-3] 味覚受容細胞で起こる味覚の初反応への構造生
物学的アプローチ: 味覚受容体細胞外領域の構
造解析

○山下 敦子¹ (1.岡山大学・医歯薬)
16:50 ~ 17:15

[2PW07-4] インフルエンザウイルスの宿主域に関与する転
写型ウイルスポリメラーゼの機能構造

○川口 敦史¹、松本 淳²、岩崎 憲治³ (1.筑波大・医
学医療系、2.量研機構、3.大阪大・蛋白研)
17:15 ~ 17:40

[2PW07-5] EBウイルスによる B細胞がん化プログラム

○安居 輝人¹ (1.医薬基盤・健康研・感染症制御)
17:40 ~ 18:05

[2PW07-6] モノクローナル完全ヒトアゴニスト抗体
KMTR2により惹起される TRAIL-R2の超重合状
態

○玉田 太郎¹ (1.量研・量子ビーム)
18:05 ~ 18:30

第8会場

[2AW08] エキスポゾームから見た酸化・環境ストレス応答とその制御

オーガナイザー:内田 浩二(東京大学)、オーガナイザー:澤 智裕(熊本大学)

09:00 ~ 11:30 第8会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 生田)

[2AW08-1] 活性イオウ代謝を基軸とするエキスポゾーム研究の新展開

○澤 智裕¹ (1.熊本大・院生命科学・微生物学)

09:00 ~ 09:30

[2AW08-2] 活性イオウ・パースルフィド解析システムの開発と応用

○井田 智章¹、赤池 孝章¹ (1.東北大・院医・環境保健)

09:30 ~ 10:00

[2AW08-3] in vivo脳における神経伝達物質代謝の時空間的解析

○杉浦 悠毅¹ (1.慶應大・医)

10:00 ~ 10:30

[2AW08-4] THAラットを用いた高学習能の母子間伝達シグナルの分子学的解明

○立道 昌幸¹、遠藤 整¹、大和田 賢¹、志田 侑華里¹
(1.東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学)

10:30 ~ 11:00

[2AW08-5] 内因性エキスポゾームにおけるピロール化タンパク質の生成と制御

○内田 浩二¹ (1.東大・院農・応生科)

11:00 ~ 11:30

[2PW08] ゲノムは設計して合成する時代に

オーガナイザー:板谷 光泰(慶應義塾大学)、オーガナイザー:相澤 康則(東京工業大学)

16:00 ~ 18:30 第8会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 生田)

[2PW08-Introduction] Introduction

○板谷 光泰¹ (1.慶應義塾大学)

16:00 ~ 16:04

[2PW08-1] ノンコードゲノム領域の機能理解への Genome Architectureの試み

北野 翔平¹、金子 真也¹、高雄 啓三²、○相澤 康則¹
(1.東工大・生命理工、2.富山大・医)

16:04 ~ 16:26

[2PW08-2] Designing and building synthetic eukaryotic chromosomes

○Leslie Mitchell¹、Sc2.0 International Consortium、Henri Berger¹、Laura McCulloch¹、J. Andrew Martin¹、Sergei German¹、Joel S.

Bader²、Jef D. Boeke¹ (1.Institute for Systems Genetics, New York University Medical School, USA、2.Department of Biomedical Engineering, Johns Hopkins University, USA)

16:26 ~ 16:54

[2PW08-3] Assemble, characterize and apply the yeast synthetic chromosome XII

○Junbiao Dai^{1,2} (1.Center for Synthetic Biology Engineering Research, Shenzhen Institute of Advanced Technology, Chinese Academy of Sciences、2.Center for Synthetic and Systems Biology, School of Life Sciences, Tsinghua University)

16:54 ~ 17:22

[2PW08-4] Design, Construction, and Analysis of a Minimal Bacterial Cell

○Clyde Hutchison¹ (1.J. Craig Venter Institute, La Jolla, CA, USA)

17:22 ~ 17:50

[2PW08-5] 巨大ゲノム DNA合成のシナリオ：枯草菌の利用

○板谷 光泰¹ (1.慶應大・先端生命研)

17:50 ~ 18:18

[2PW08-Discussion] Discussion

18:18 ~ 18:28

[2PW08-Conclusion] Conclusion

○相澤 康則¹ (1.東京工業大学)

18:28 ~ 18:30

第9会場

[2PW09] アストロバイオロジー：地球と宇宙での生命探査

オーガナイザー:山岸 明彦(東京薬科大学)、オーガナイザー:長沼 毅(広島大学)

16:00 ~ 18:30 第9会場 (神戸ポートピアホテル 南館 地下1階 トパーズ)

[2PW09-Introduction] Introduction

○山岸 明彦¹ (1.東京薬科大学)

16:00 ~ 16:03

[2PW09-1] 太陽系外惑星において起こり得る光合成反応の分子科学的考察

○正岡 重行¹ (1.分子研)

16:03 ~ 16:27

[2PW09-2] 深海底熱水域周辺の冷たい海底下環境に存在する「もう一つの化学合成生態系」

○加藤 真悟¹ (1.海洋研究開発機構)

16:27 ~ 16:51

[2PW09-3] 地球生命圏の上端の決定を目指して：成層圏微生物採取実験 Biopauseプロジェクト

○大野 宗祐¹、石橋 高¹、三宅 範宗¹、奥平 修¹、河口 優子²、梯 友哉³、山田 学¹、前田 恵介¹、山岸 明彦²、山田 和彦³、福家 英之³、吉田 哲也³、高橋 裕介⁴、野中 聡³、瀬川 高弘⁵、石川 裕子⁶、所 源亮⁷、山内 一也⁸、松井 孝典¹ (1.千葉工大・惑星探査研、2.東葉大、3.JAXA、4.北大、5.山梨大、6.リンカーン大、7.ISPA、8.東大)

16:51 ~ 17:15

[2PW09-4] 微生物の惑星間移動の検証：たんぽぽ計画

○河口 優子¹ (1.東京薬科大)

17:15 ~ 17:39

[2PW09-5] 火星での生命探査計画

○吉村 義隆¹ (1.玉川大・農)

17:39 ~ 18:03

[2PW09-6] ペイルブルードットを超えて

○須藤 靖¹ (1.東大・院理・物理学)

18:03 ~ 18:27

[2PW09-Conclusion] Conclusion

○長沼 毅¹ (1.広島大学)

18:27 ~ 18:30

第10会場

[2AW10] 心筋再生の礎を築く新しい心臓発生学

オーガナイザー:八代 健太(大阪大学)、オーガナイザー:小久保 博樹(広島大学)

09:00 ~ 11:30 第10会場 (神戸ポートピアホテル 南館 地下1階 ルビー)

[2AW10-Introduction] Introduction

○八代 健太¹ (1.大阪大学)

09:00 ~ 09:03

[2AW10-1] 単一細胞遺伝子発現プロファイルより見えてきた心臓前駆細胞の新知見

○八代 健太^{1,2}、佐波 理恵^{1,2}、石田 秀和^{2,3}、K okkinopoulos Ioannis²、宮川 繁⁴、大藁 恵一³、鈴木 憲²、澤 芳樹⁴ (1.阪大・院医・心臓再生医療学、2.ロンドン大・医・トランスレーション治療医学、3.阪大・院医・小児科学、4.阪大・院医・心臓血管外科)

09:03 ~ 09:27

[2AW10-2] 酸素代謝と心筋再生

○木村 航¹ (1.理研・CDB)

09:27 ~ 09:51

[2AW10-3] Modeling impaired embryonic myocardium development using left ventricular non-compaction cardiomyopathy iPS cells

○古道 一樹¹ (1.慶應義塾大・医・小児科学)

09:51 ~ 10:15

[2AW10-4] 一細胞分析によるヒト多能性幹細胞由来心筋細胞の成熟化メカニズムの解析

○吉田 善紀¹ (1.京大・iPS研・未来生命)

10:15 ~ 10:39

[2AW10-5] The amniogenic somatopleure is a novel origin of multiple cell lineages contributing to the cardiovascular system

○浅井 理恵子^{1,2,3}、羽田 優花^{1,4}、富田-宮川 幸子^{1,2,5}、栗原 裕基¹ (1.東大・院医・代謝生理化学、2.東京女子医大、3.CVRI, UCSF、4.東大・院理・生物科学、5.ヤマザキ学園大・動物看護)

10:39 ~ 11:03

[2AW10-6] Identification of cardiac progenitors for the outflow tract, the left ventricle, the atria, and the sinus venosus

○小久保 博樹¹、藤井 雅行¹、坂口 あかね²、吉栖 正生¹、相賀 裕美子² (1.広大・院・医歯薬保・心血管生理医、2.遺伝研・発生工学)

11:03 ~ 11:27

[2AW10-Conclusion] Conclusion

○小久保 博樹¹ (1.広島大学)

11:27 ~ 11:30

[2PW10] モルフォゲン再考察 ～その多階層システムの実態と組織パターン形成における役割～

オーガナイザー:石谷 太(群馬大学)、オーガナイザー:川出 健介(岡崎統合バイオサイエンスセンター)

16:00 ~ 18:30 第10会場 (神戸ポートピアホテル 南館 地下1階 ルビー)

[2PW10-Introduction] Introduction

○石谷 太¹ (1.群馬大学)

16:00 ~ 16:03

[2PW10-1] 多量体形成による Wntの拡散制御

○高田 慎治^{1,2,3} (1.自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター、2.基礎生物学研究所、3.総合研究大学院大学)

16:03 ~ 16:26

[2PW10-2] PLETHORA-mediated root meristem

maintenance by plant peptide hormone root meristem growth factor

○篠原 秀文¹、林 陽子¹、田中 大輝¹、松林 嘉克¹

(1.名古屋大・院理)

16:26 ~ 16:49

[2PW10-4 (3P-0753)] ヘテロモザイシズム: de novo BMPタイプ I受容体変異が及ぼす ショウジョウバエ BMPモルフォゲン勾配形成への影響

○秋山 琢也¹、Matthew Gibson¹

(1.ストワーズ医学研究所)

16:49 ~ 17:17

[2PW10-5] ノイズキャンセリングシステム: 動物組織の正確なパターン形成を支えるモルフォゲンシグナル補正機構

磯枝 佑紀¹、古家 博信^{2,3}、石谷 閑¹、○石谷 太^{1,3}

(1.群大・生調研・個体統御、2.九大・大学院・医学系学府、3.九大・生医研)

17:17 ~ 17:40

[2PW10-6] Gdf11の発現開始タイミングの違いは四肢動物における後肢の位置の多様性を生み出す

○鈴木 孝幸¹、松原 由幸¹、平沢 達矢²、江川 史朗

³、服部 亜由美⁴、菅沼 貴也¹、小原 裕平¹、永井 達也

¹、田村 宏治³、倉谷 滋²、黒岩 厚¹ (1.名大・院

理・生命理学、2.理研、3.東北大・院理・生命科学、4.東北大学加齢研)

17:40 ~ 18:03

[2PW10-7] 発生と代謝をつなぐ植物モルフォゲン

○川出 健介^{1,2,3,4} (1.岡崎統合バイオ、2.基生

研、3.総研大、4.理研・環境資源科学)

18:03 ~ 18:26

[2PW10-Discussion] Discussion

18:26 ~ 18:29

[2PW10-Conclusion] Conclusion

○川出 健介¹ (1.岡崎統合バイオサイエンス

センター)

18:29 ~ 18:30

第11会場

[2PW11] 核内アクチンとラミンから細胞核アーキテクチャーを解く

オーガナイザー:宮本 圭(近畿大学)、オーガナイザー:原田 昌彦(東北大学)

16:00 ~ 18:30 第11会場 (神戸ポートピアホテル 南館 地下1階 ダイヤモンド)

[2PW11-Introduction] Introduction

○宮本 圭¹ (1.近畿大学)

16:00 ~ 16:02

[2PW11-2] 核ラミナのインテグリティの喪失はセネッセンス関連ヘテロクロマチンを誘導する

○伊藤 洋子¹、成田 匡史¹ (1.ケンブリッジ大学)

16:27 ~ 16:48

[2PW11-3] アクチン-S R F 経路が細胞同一性を不安定化させる

○升井 伸治¹、池田 隆¹、堀田 秋津¹ (1.京大・i

PS研・未来生命)

16:48 ~ 17:09

[2PW11-4] 細胞核内の機能構造形成におけるアクチンファミリーの役割

○原田 昌彦¹ (1.東北大・院農・分子生物)

17:09 ~ 17:25

[2PW11-5] The mechanisms for constructing the nuclear structures unique to the *Xenopus* blastula

○岩淵 万里¹、小野田 衣里¹、味村 知明¹、河合 大樹

¹、白井 菜月¹、尾久 敦哉¹、大隅 圭太¹ (1.名大・院

理・生命理学)

17:25 ~ 17:46

[2PW11-6] 核アクチンのマウス初期胚発生における役割

守田 昂太郎¹、鷹巣 篤志¹、波多野 裕¹、簾 新智¹、プ

レッシナー マティアス²、松本 和也¹、山縣 一夫¹、グ

ロッセ ロバート²、○宮本 圭¹ (1.近大生物理

工、2.マーバーク大学薬学部)

17:46 ~ 18:02

[2PW11-7] Nuclear F-actin assembly promotes nuclear expansion and chromatin decondensation after mitosis.

○Robert Grosse¹、Christian Baarlink¹、Matthias

Plessner¹、Alice Sherrard²、David Virant³、Ulrike

Endesfelder³、Abderrahmane Kaidi²、Kohtaro

Morita⁴、Kei Miyamoto⁴ (1.Institute of

Pharmacology, BPC Marburg, University of

Marburg, Germany、2.School of Cellular and

Molecular Medicine, Biomedical Sciences,

University of Bristol, United

Kingdom、3.SynMicro, Marburg,

Germany、4.Kindai University)

18:02 ~ 18:27

[2PW11-Conclusion] Conclusion

○原田 昌彦¹ (1.東北大学)

18:27 ~ 18:30

第12会場

18:25 ~ 18:30

[2PW12] クロマチン動態のイメージング・定量解析 による核機能理解

オーガナイザー: 落合 博(科学技術振興機構さきがけ)、オーガナイザー: 上野 勝(広島大学)

16:00 ~ 18:30 第12会場 (神戸ポートピアホテル 南館 地下1階 エメラルド)

[2PW12-Introduction] Introduction

○上野 勝¹ (1.広島大学)

16:00 ~ 16:05

[2PW12-1] ライブイメージングと定量解析によるセントロメアやサブテロメアの動態に影響を及ぼす因子の探索

○上野 勝^{1,3}、伊藤 寛朗¹、Satoshi Mizukawa¹、鈴木 沙弥香²、菅原 武志³、難波 利典³、楯 真一^{2,3}

(1.広大・院先端物質・分子生命、2.広大・院理・数理分子生命、3.広大・クロマチン拠点)

16:05 ~ 16:25

[2PW12-2] 植物クロマチン動態解析への挑戦

○松永 幸大^{1,3}、栗田 和貴¹、坂本 勇貴³、山下 朋恵¹、藤本 聡¹、八木 慎宜¹、平川 健¹、木村 宏²、坂本 卓也¹ (1.東京理科大学・理工・応用生物科学、2.東工大・科学技術創成研究院、3.東京理科大学・総合研究院)

16:25 ~ 16:45

[2PW12-3] クロマチン修飾ダイナミクスと転写制御

○木村 宏¹ (1.東工大・科学技術創成研究院・細胞制御工学セ)

16:45 ~ 17:05

[2PW12-4] 単一ヌクレオソームイメージングが明かす転写によるクロマチンの安定化

○日比野 佳代^{1,2}、永島 峻甫^{1,2}、前島 一博^{1,2}

(1.遺伝研、2.総研大)

17:05 ~ 17:25

[2PW12-5] 高次ゲノム構造の核内動態と転写活性との関係

○落合 博^{1,2} (1.JSTさきがけ、2.広大・院理・数理)

17:25 ~ 17:45

[2PW12-6] イメージングにより見えてきたクロマチン動態

○宮成 悠介¹ (1.岡崎統合バイオ)

17:45 ~ 18:05

[2PW12-7] 細胞核高次構造によるゲノム修復機構の制御

○田代 聡¹ (1.広大・原医研・細胞修復制御)

18:05 ~ 18:25

[2PW12-Conclusion] Conclusion

○落合 博¹ (1.科学技術振興機構さきがけ)

第15会場

[2AW15] 細胞外小胞顆粒は我々に何を語るか? ~細胞間コミュニケーションが織りなす生命現象の解明へ~

オーガナイザー: 吉岡 祐亮(国立がん研究センター研究所)、オーガナイザー: 小坂 展慶(東京医科大学)

09:00 ~ 11:30 第15会場 (神戸国際会議場 3階 レセプションホール)

[2AW15-Introduction] Introduction

○吉岡 祐亮¹ (1.国立がん研究センター研究所)

09:00 ~ 09:06

[2AW15-1] 新規エクソソーム分泌制御因子の同定と治療応用

○吉岡 祐亮¹、小坂 展慶²、落谷 孝広¹ (1.国立がん研セ・研・分子細胞治療、2.東京医大・産学連携・細胞外小胞創薬研究)

09:06 ~ 09:29

[2AW15-2] 新規翻訳後修飾因子 UBL3によるエクソソームへのタンパク質輸送機構

○上田 洋司¹、瀬藤 光利²、土田 邦博¹ (1.藤田保健衛生大・総医研、2.浜医・細胞分子解剖)

09:29 ~ 09:52

[2AW15-3] レクチンアレイによるエクソソーム表面糖鎖解析と細胞応答

○下田 麻子^{1,2}、秋吉 一成^{1,2} (1.京大・院工、2.JST-ERATO)

09:52 ~ 10:15

[2AW15-4] 脳神経疾患とエクソソーム

○湯山 耕平¹ (1.北大・院先端生命)

10:15 ~ 10:38

[2AW15-5] 高転移性腫瘍 miRによる血管内皮における薬剤耐性誘導

○間石 奈湖¹、樋田 京子¹ (1.北大・遺制研・血管生物)

10:38 ~ 11:01

[2AW15-6] EBV感染腫瘍由来エクソソームはマクロファージを制御し腫瘍形成を促す

○幸谷 愛¹ (1.東海大・総医研・造血腫瘍)

11:01 ~ 11:24

[2AW15-Conclusion] Conclusion

○小坂 展慶¹ (1.東京医科大学)

11:24 ~ 11:30

[2PW15] プロテインキナーゼ：生理機能へのアプローチとリン酸化解析の統合

オーガナイザー:吉川 潮(神戸大学)、オーガナイザー:本間 美和子(福島県立医科大学)

16:00 ~ 18:30 第15会場 (神戸国際会議場 3階 レセプションホール)

[2PW15-Introduction] Introduction

○吉川 潮¹ (1.神戸大学)

16:00 ~ 16:07

[2PW15-1] PP6-ASK3モジュールは浸透圧ストレス応答の重要な変換器である

○渡邊 謙吾¹、名黒 功¹、一條 秀憲¹ (1.東大・院薬・細胞情報)

16:07 ~ 16:30

[2PW15-2 (3P-1202)] ストレスシグナルを概日時計に力するストレス応答性キナーゼ ASK

○今村 聖路¹、吉種 光¹、服部 一輝²、名黒 功²、一條 秀憲²、深田 吉孝¹

(1.東大・院理・生物科

学、2.東大・院薬)

16:30 ~ 16:53

[2PW15-3] 減数分裂における分裂酵母 TORC1の制御

○中嶋 昭雄¹、山下 朗²、大坪 瑤子²、松田 真弥¹、鎌田 真司¹、瓜谷 眞裕³、山本 正幸²、吉川 潮¹ (1.神戸大・バイオシグナル、2.基生研・細胞応答、3.静大・院理・化学)

16:53 ~ 17:16

[2PW15-4] ミトコンドリア分解を制御するリン酸化

○神吉 智丈¹ (1.新大・院医・機能制御)

17:16 ~ 17:39

[2PW15-5] 細胞内局在を制御するリン酸化サイトの網羅的同定法

○増田 豪¹ (1.熊大・院生命)

17:39 ~ 18:02

[2PW15-6] KANPHOS (Kinase-Associated Neural PHOspo-Signaling), a comprehensive database for specific substrates of kinases.

○貝淵 弘三¹ (1.名古屋大学)

18:02 ~ 18:25

[2PW15-Conclusion] Conclusion

○本間 美和子¹ (1.福島県立医科大学)

18:25 ~ 18:30

[2AW16] 必然から偶然に向かう生物学の新潮流

オーガナイザー:井倉 毅(京都大学)、オーガナイザー:白木 琢磨(近畿大学)

09:00 ~ 11:30 第16会場 (神戸国際会議場 4階 401+402)

[2AW16-Introduction] Introduction

○白木 琢磨¹ (1.近畿大学)

09:00 ~ 09:03

[2AW16-1] ゲノムストレス応答における機能的蛋白質複合体フラクチュエーション

○井倉 毅¹、白木 琢磨²、古谷 寛治¹、井倉 正枝¹

(1.京大・放生研、2.近大・生物理工)

09:03 ~ 09:27

[2AW16-2] RNA-seqと数理モデルによる遺伝子発現揺らぎ・発現制御・遺伝子機能間関係の考察

○栗津 暁紀¹、永野 惇² (1.広大・院理・数理分子、2.龍谷大・農)

09:27 ~ 09:51

[2AW16-3 (2P-0770)] エピゲノム情報の系統解析による細胞分化過程の推定 -哺乳類の血球系細胞分化をモデルとして

○小柳 香奈子¹ (1.北大・情報)

09:51 ~ 10:15

[2AW16-4] 核内受容体構造ダイナミクスの確率論的解析

○白木 琢磨¹ (1.近大・生物理工)

10:15 ~ 10:39

[2AW16-5] 確率過程が駆動する上皮組織の形態形成

○柴田 達夫¹ (1.理研QBiC)

10:39 ~ 11:03

[2AW16-6] ATP制御による包括的な疾患の予防・治療戦略

○垣塚 彰¹ (1.京都大学大学院生命科学研究科)

11:03 ~ 11:27

[2AW16-Conclusion] Conclusion

○井倉 毅¹ (1.京都大学)

11:27 ~ 11:30

[2PW16] クロマチンとノンコーディング RNAが織りなすヌクレオーム制御

オーガナイザー:木村 宏(東京工業大学)、オーガナイザー:斉藤 典子(がん研究会がん研究所)

16:00 ~ 18:30 第16会場 (神戸国際会議場 4階 401+402)

[2PW16-Introduction] Introduction

○木村 宏¹ (1.東京工業大学)

16:00 ~ 16:05

[2PW16-1] 染色体上の非コード RNAが減数分裂期の相同染色体対合を促進する

丁 大橋¹、原口 徳子^{1,2}、○平岡 泰^{1,2} (1.情報通信

研、2.阪大・生命機能)

16:05 ~ 16:25

[2PW16-2] 学際的視点からみた染色体構築学の現状とこれから

○平野 達也¹ (1.理研・染色体ダイナミクス)

16:25 ~ 16:45

[2PW16-3] Dalmatian依存的なヘテロクロマチン領域接着確立ネットワーク

○西山 朋子¹ (1.名大・院理・生命理学)

16:45 ~ 17:05

[2PW16-4] Smchd1-Hbix1依存的な不活性化 X染色体の区画化

○長尾 恒治^{1,2}、榊原 祐樹³、柴田 幸子²、野澤 竜介²、元田 裕佳里¹、坂口 武久³、木村 宏⁴、佐渡 敬^{3,5}、小布施 力史^{1,2} (1.阪大・理、2.北大・先端生命、3.九大・生医研、4.東工大・科技創研、5.近大・農)

17:05 ~ 17:25

[2PW16-5] クロマチン動態数理モデリングから Hi-Cデータに基づいた染色体動態シミュレーションへの展開

○新海 創也¹、大浪 修一¹ (1.理研QBiC)

17:25 ~ 17:45

[2PW16-6] 細胞老化における非細胞自律的クロマチン調節

○成田 匡志¹ (1.Univ. of Cambridge)

17:45 ~ 18:05

[2PW16-7] 活性染色体ドメインに関する核内長鎖ノンコーディング RNA

○斉藤 典子^{1,2}、山本 達郎²、Mohamed Abdalla²、藤原 沙織²、富田 さおり²、前原 一満³、大川 恭行³、立和名 博昭¹、中尾 光善² (1.がん研究会・がん研究所、2.熊大・発生医研、3.九大・生医研)

18:05 ~ 18:25

[2PW16-Discussion] Discussion

18:25 ~ 18:27

[2PW16-Conclusion] Conclusion

○斉藤 典子¹ (1.がん研究会)

18:27 ~ 18:30

第17会場

[2AW17] ザ・メカノバイオロジー：分子から個体のメカノセンシング

オーガナイザー:澤田 泰宏(国立障害者リハビリテーションセンター)
09:00 ~ 11:30 第17会場 (神戸国際会議場 5階 501)

[2AW17-Introduction] Introduction

○澤田 泰宏¹ (1.国立障害者リハビリテーションセンター)

09:00 ~ 09:03

[2AW17-1] 原核細胞と真核細胞における機械受容チャネル活性化機構の違い

○曾我部 正博¹、澤田 康之¹、小林 剛² (1.名大・院医・メカノバイオロジー、2.名大・院医・統合生理)

09:03 ~ 09:27

[2AW17-2] 血行力学刺激による血管新生促進機構の解明：血行力学メカノセラピー創成に向けた一検討

○吉野 大輔¹ (1.東北大・学際研)

09:27 ~ 09:51

[2AW17-3] 非一様弾性場における細胞接着牽引力のダイナミクスとメカノトランスデューサーの局在応答

○木戸秋 悟¹ (1.九大・先端研・医用生物物理化学)

09:51 ~ 10:15

[2AW17-4] メカニカルなストレスによって促進されるがん細胞の悪性化

○芳賀 永¹ (1.北大・院・先端生命)

10:15 ~ 10:39

[2AW17-5] 形態形成の顕微鏡ライブイメージングデータからの細胞の力学状態・環境の推定

○小山 宏史^{1,2}、藤森 俊彦^{1,2} (1.基生研・初期発生、2.総研大)

10:39 ~ 11:03

[2AW17-6] 生体へのメカニカルストレスとしての身体運動・スポーツ・理学療法

○澤田 泰宏¹、柳 泳在^{1,2}、前川 貴彰¹、村瀬 修平^{1,2}、市原 克則^{1,3}、長尾 元史¹、緒方 徹¹、原田 伊知郎⁴、徳永 正邦¹、斎藤 久美子¹、土肥 透^{1,2}、濱本 和子¹ (1.国立障害者リハビリテーションセンター、2.東京大学、3.鳥取大学、4.名戸ヶ谷病院)

11:03 ~ 11:27

[2AW17-Conclusion] Conclusion

○澤田 泰宏¹ (1.国立障害者リハビリテーションセンター)

11:27 ~ 11:30

第18会場

[2AW18] どこまできてる？ in vitro再構成研究の最前線

オーガナイザー:高橋 達郎(九州大学)、オーガナイザー:持田 悟(熊本大学)
09:00 ~ 11:30 第18会場 (神戸国際会議場 5階 502)

[2AW18-Introduction] Introduction

○高橋 達郎¹ (1.九州大学)

09:00 ~ 09:05

[2AW18-1] 試験管内反応から見てきた分裂期染色体構築メカニズム

○新富 圭史¹、平野 達也¹ (1.理研・染色体ダイナミクス)

09:05 ~ 09:23

[2AW18-2] 姉妹染色体接着はどのように形成されるか?

○村山 泰斗¹、Catarina Samora²、黒川 裕美子³、岩崎 博史³、Frank Uhlmann² (1.国立遺伝学研究所、2.フランススクリック研究所、3.東京工業大学)

09:23 ~ 09:41

[2AW18-3] エピヌクレオソームを用いたクロマチンの再構成研究

○梅原 崇史^{1,2} (1.理研・CLST、2.JST・さきがけ)

09:41 ~ 09:59

[2AW18-4] DNAチェックポイントによる分裂期スイッチ制御の定量解析

○持田 悟¹ (1.熊本大・大学院先導機構)

09:59 ~ 10:17

[2AW18-5] リン酸化による APC/Cユビキチンリガーゼの活性化の再構成と分子メカニズムの解析

○藤光 和之¹、Margaret Grimaldi¹、山野 博之¹ (1.Cell Cycle Control, UCL Cancer Institute, University College London)

10:17 ~ 10:35

[2AW18-6] ミスマッチ修復経路に依存した抗組換え反応の試験管内再現による解析

織田 里美²、河添 好孝¹、坂詰 彩³、中川 拓郎²、升方 久夫²、○高橋 達郎¹ (1.九大・院理、2.阪大・院理、3.九大・理)

10:35 ~ 10:53

[2AW18-7] ゲノム複製サイクル再構成系を利用した新規DNA増幅技術

○末次 正幸¹、加納 巧希¹、倉田 竜明¹、篠原 昶¹、高田 啓¹ (1.立教大・理・生命理)

10:53 ~ 11:11

[2AW18-8] 微細加工技術で作製されたマイクロデバイスと大腸菌を融合させた、ハイブリッド型人工細胞の創生

○森泉 芳樹^{1,2}、田端 和仁^{1,2,3}、渡邊 力也^{1,3,4}、堂浦 智裕⁵、神谷 真子^{3,5}、浦野 泰照^{5,6,7}、野地 博行^{1,2}

(1.東大・院工・応用化学、2.JST・I mPACT、3.JST・さきがけ、4.AMED・P RIME、5.東大・院医、6.東大・院薬、7.AMED・C

REST)

11:11 ~ 11:29

[2AW18-Conclusion] Conclusion

○持田 悟¹ (1.熊本大学)

11:29 ~ 11:30

[2PW18] 膜輸送体創薬～基礎研究によるメカニズムの理解から臨床まで～

オーガナイザー:阿部 一啓(名古屋大学)、オーガナイザー:栗山 千亜紀(田辺三菱製薬株式会社)

16:00 ~ 18:30 第18会場 (神戸国際会議場 5階 502)

[2PW18-1] 胃プロトンポンプと胃酸抑制剤の構造機能解析

○阿部 一啓^{1,2} (1.名大・細胞生理、2.名大・院創薬)

16:00 ~ 16:20

[2PW18-2] 創薬へ向けた P型 ATPaseの構造解析

○小川 治夫¹、Bente Vilsen²、Flemming Cornelius²、豊島 近¹ (1.東大・分生研、2.オース大学・バイオメディシン)

16:20 ~ 16:45

[2PW18-3] Structure and Dynamics of AMPA-subtype Glutamate receptors studied by X-ray crystallography, Cryo-EM and DEER spectroscopy

○Deurr Katharina¹、Lei Chen¹、Richard A Stein²、Rita Zorzi^{3,4}、Mihaela Folea^{3,4,6}、Thomas Walz^{3,4}、Hassane Mchaourab²、Eric Gouaux^{1,5} (1.Vollum Institute, Oregon Health and Science University, USA、2.Department of Molecular Physiology and Biophysics, Vanderbilt University, USA、3.3Department of Cell Biology, Harvard Medical School, USA、4.Howard Hughes Medical Institute, Harvard Medical School, USA、5.Howard Hughes Medical Institute, Oregon Health and Science University, USA、6.Present address: Delft University of Technology, the Netherlands)

16:45 ~ 17:15

[2PW18-4] 難治性小児肝疾患の克服に向けた胆汁酸輸送担体 Bile salt export pump(BSEP/ABCB11)を標的とした創薬研究

○林 久允¹ (1.東大・院薬・分子薬物動態学教室)

17:15 ~ 17:40

[2PW18-5] NTCPを利用した HBV創薬研究および NTCPを介した HBV侵入機構の解析

○九十田 千子^{1,2}、渡士 幸一²、小嶋 聡一¹、脇田 隆宇

² (1.理研・CLST・微量シグナル、2.感染研・ウイルス2)

17:40 ~ 18:05

[2PW18-6] 2型糖尿病治療剤カナグリフロジンの創製

○栗山 千亜紀¹ (1.田辺三菱製薬株式会社創薬本部インキュベーションユニット)

18:05 ~ 18:30

第19会場

[2AW19] プロテオスタシス制御の新展開と疾患

オーガナイザー:養王田 正文(東京農工大学)、オーガナイザー:中井 彰(山口大学)

09:00 ~ 11:30 第19会場 (神戸国際会議場 5階 504+505)

[2AW19-Introduction] Introduction

○養王田 正文¹ (1.東京農工大学)

09:00 ~ 09:05

[2AW19-1] 染色体関連因子による熱ショック応答の制御

○瀧井 良祐¹、中井 彰¹ (1.山口大学・院医・医化学)

09:05 ~ 09:25

[2AW19-2] 熱ストレス時と正常時における分子シャペロン

Hsp70核内輸送運搬体 Hikeshiの機能

○今本 尚子¹、Rahman Khondoker¹、儘田 博志¹、小瀬 真吾¹ (1.理化学研究所今本細胞核機能研究室)

09:25 ~ 09:45

[2AW19-3] プロテアソーム発現制御転写因子 Nrf1の活性化機構

○小泉 峻¹、濱崎 純¹、村田 茂穂¹ (1.東大・院薬)

09:45 ~ 10:05

[2AW19-4] プロテアソームの誘導的発現と疾患

○小林 聡¹ (1.同志社大・院生命医・医生命)

10:05 ~ 10:25

[2AW19-5] ミトコンドリア-小胞体間のオルガネラ連携による細胞機能制御

○西頭 英起¹ (1.宮崎大・医・機能生化)

10:25 ~ 10:45

[2AW19-6] 細胞外小胞の分泌・伝播を介した生体内プロテオスタシス制御

○武内 敏秀¹、永井 義隆¹ (1.大阪大学)

10:45 ~ 11:05

[2AW19-7] 好熱性真菌由来の脱凝集因子 Hsp104の機能構造解析

○篠原 恭介¹、井上 耀介¹、花園 祐矢²、野井 健太郎³、川本 晃大⁴、竹田 一旗²、岩政 菜津紀¹、野口 恵一¹、難波 啓一⁴、小椋 光³、三木 邦夫²、養王田 正文¹

(1.農工大・院工・生命機能、2.京大・院理・化学、3.熊本大・発生医学研・分子細胞制御、4.阪大・院生命機能)

11:05 ~ 11:25

[2AW19-Conclusion] Conclusion

○中井 彰¹ (1.山口大学)

11:25 ~ 11:30

[2PW19] 限定的な翻訳後修飾の制御と機能

オーガナイザー:矢木 宏和(名古屋市立大学)、オーガナイザー:後藤 聡(立教大学)

16:00 ~ 18:30 第19会場 (神戸国際会議場 5階 504+505)

[2PW19-Introduction] Introduction

○矢木 宏和¹ (1.名古屋市立大学)

16:00 ~ 16:05

[2PW19-1] フコース転移酵素のキャリアタンパク質に対する特異的な LewisX修飾機構

○矢木 宏和¹、齋藤 泰輝¹、姫田 美咲¹、柘植 信吾¹、加藤 晃一^{1,2} (1.名古屋市立大学薬学部、2.自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター)

16:05 ~ 16:25

[2PW19-2] イオンチャネル型グルタミン酸受容体に観察される糖鎖の厳密な発現制御

○岡 昌吾¹ (1.京大・院医・人間健康)

16:25 ~ 16:45

[2PW19-3] 限定的な硫酸化修飾を受けたコンドロイチン硫酸プロテオグリカンによる骨リモデリングの制御

○北川 裕之¹ (1.神戸薬大・生化)

16:45 ~ 17:05

[2PW19-4] 哺乳類リソソーム酵素特異的なマンノース6-リン酸含有 N型糖鎖付加修飾機構と人工付加技術

○伊藤 孝司¹ (1.徳島大・院薬・創薬生命工学)

17:05 ~ 17:25

[2PW19-5] ショウジョウバエ細胞のゴルジ体におけるリン酸化ゾーン

○石川 裕之¹ (1.千葉大・理・生物)

17:25 ~ 17:45

[2PW19-6] スフィンゴ脂質代謝酵素の同定と脂質修飾による調節

○木原 章雄¹ (1.北大・院薬)

17:45 ~ 18:05

[2PW19-7] 小胞体・ゴルジ体に存在する翻訳後修飾ゾーン

○後藤 聡¹、山本 (日野) 美紀¹ (1.立教大学・理・生命理)

18:05 ~ 18:25

[2PW19-Conclusion] Conclusion

○後藤 聡¹ (1.立教大学)

18:25 ~ 18:30

第20会場

[2AW20] 技術革新がもたらすがん治療難治性の克服
にむけた新しいアプローチ

オーガナイザー:岡本 康司(国立がん研究センター研究所)、オーガナイザー:井上 聡(東京都健康長寿医療センター研究所)

09:00 ~ 11:30 第20会場 (神戸国際展示場 2号館 2階 2A会議室)

[2AW20-1] ホルモン依存性がんにおけるミトコンドリア呼吸鎖超複合体と代謝の制御メカニズム

○池田 和博¹、堀江 公仁子¹、井上 聡^{1,2} (1.埼玉医科大学・ゲノム医学研究センター・遺伝子情報制御、2.都健康長寿医療センター・研・老化制御)

09:00 ~ 09:25

[2AW20-2] 一細胞解析とがん

○鹿島 幸恵¹、鈴木 稯¹ (1.東大・院新領域・メディカル情報生命)

09:25 ~ 09:50

[2AW20-3] 細胞間接着を維持してがん細胞を調製・培養するCTOS法の開発と応用

○井上 正宏¹ (1.大阪国際がんセンター・生化学部)

09:50 ~ 10:15

[2AW20-4] シングルセル発現解析による大腸がん組織多様性の理解

○岡本 康司¹ (1.国立がん研究センター・研究所)

10:15 ~ 10:40

[2AW20-5] がん幹細胞ニッチによる難治性がん幹細胞を維持するメカニズムの解析

○後藤 典子^{1,2} (1.金沢大・がん研・分子病態、2.東京大・医科研・分子療法)

10:40 ~ 11:05

[2AW20-6] Integrated Patient-Derived Models of Lethal Prostate Cancer

○Mitchell Lawrence^{1,2,6}、Obinata Daisuke^{1,6}、Shahneen Sandhu^{2,6}、Luke Selth^{3,6}、Stephen Wong^{2,6}、Laura Porter¹、Natalie Lister¹、Hong Wang¹、Birunthi Niranjan¹、Arun Azad¹、David Pook¹、Carmel Pezaro¹、David Goode²、Richard Rebello¹、Melissa Papargiris¹、Jenna van Gramburg¹、Heather Thorne^{2,4}、Catherine Mitchell²、John Pedersen¹、Wayne Tilley³、Richard Pearson²、Ross Hannan^{2,5}、MarkFrydenberg¹、Luc Furic^{1,2}、Renea Taylor^{1,2,6}、Gail Risbridger^{1,2,6} (1.Monash University、2.Peter MacCallum Cancer Centre、3.University of Adelaide、4.kConfab、5.Australian National University、6.Authors contributed equally)

11:05 ~ 11:30

[2PW20] 本気でがんを予防する

オーガナイザー:武藤 倫弘(国立がん研究センター)、オーガナイザー:石川 秀樹(京都府立医科大学)

16:00 ~ 18:30 第20会場 (神戸国際展示場 2号館 2階 2A会議室)

[2PW20-Introduction] Introduction

○武藤 倫弘¹ (1.国立がん研究センター)

16:00 ~ 16:08

[2PW20-1] 鉄と酸素からがん予防を考える

○豊國 伸哉¹ (1.名大・院医・生体反応病理学)

16:08 ~ 16:28

[2PW20-2] オルガノイド培養法を用いたマウス腸管発がんモデルの開発

○小沼 邦重¹ (1.鳥大・医・生命科学)

16:28 ~ 16:48

[2PW20-3] 乳がん易罹患性と相関するNBS1遺伝子の一塩基多型の発見

○太田 力¹ (1.常葉大・保健医療)

16:48 ~ 17:08

[2PW20-4] エピジェネティック異常を標的としたがん予防

○服部 奈緒子¹、丹羽 透¹、竹島 秀幸¹、牛島 俊和¹ (1.国立がん研究センター・研・エピゲノム)

17:08 ~ 17:28

[2PW20-5] 腸内細菌叢を起源とする遺伝毒性物質コリバクチンの分析手法の確立と日本人コホートにおける発がんとの関連性の解析

○渡辺 賢二¹ (1.静岡県立大学)

17:28 ~ 17:48

[2PW20-6] がんの分子標的予防戦略

○堀中 真野¹、飯泉 陽介¹、渡邊 元樹¹、増田 光治¹、曾和 義広¹、酒井 敏行¹ (1.京府医大・院医・分子標的癌予防医学)

17:48 ~ 18:08

[2PW20-7] 新たな大腸発がん予防薬の探索

○宮本 真吾¹、藤井 元²、武藤 倫弘¹ (1.国立がんセンター・予防研究部、2.国立がんセンター・研究所・RI実験施設)

18:08 ~ 18:28

[2PW20-Conclusion] Conclusion

○石川 秀樹¹ (1.京都府立医科大学)

18:28 ~ 18:30

第21会場**[2AW21] 血管周囲細胞群の分子生物学 – 基礎から臨床応用にかけて –**

オーガナイザー: 植村 明嘉(名古屋市立大学)、オーガナイザー: 山本 誠士(富山大学)

09:00 ~ 11:30 第21会場 (神戸国際展示場 2号館 2階 2B会議室)

[2AW21-Introduction] Introduction○植村 明嘉¹ (1.名古屋市立大学)

09:00 ~ 09:03

[2AW21-1] ペリサイト消失網膜における炎症と血管壁バリア破綻○植村 明嘉¹ (1.名古屋市大・院医・網膜血管生物学)

09:03 ~ 09:26

[2AW21-2] 血液脳関門に免疫細胞の侵入口を作る、新しい神経系と免疫系のクロストーク: ゲートウェイ反射とは?○村上 正晃¹ (1.北大・遺制研・分子神経免疫)

09:26 ~ 09:51

[2AW21-3] ヒト化骨髓技術を用いたヒト骨髓ニッチ恒常性の理解○滝澤 仁¹ (1.熊本大学 国際先端医学研究機構)

09:51 ~ 10:16

[2AW21-4] 血管新生におけるペリサイトの形態形成機能○西山 功一¹ (1.熊本大学 国際先端医学研究機構)

10:16 ~ 10:41

[2AW21-5] 創傷治癒過程の血管新生における内皮細胞・ペリサイト動態のライブイメージング○福原 茂朋¹、望月 直樹² (1.日本医科大学 先端医学研究所 病態解析学部門、2.国立循環器病研究センター研究所 細胞生物学部)

10:41 ~ 11:06

[2AW21-6] 中枢神経系ペリサイトの heterogeneity○山本 誠士¹ (1.富山大・院(医)・病態病理学)

11:06 ~ 11:29

[2AW21-Conclusion] Conclusion○山本 誠士¹ (1.富山大学)

11:29 ~ 11:30

[2PW21] 生老病死における血管・リンパ管の生命科学的意義

オーガナイザー: 高倉 伸幸(大阪大学)、オーガナイザー: 渡部 徹郎(東京医科歯科大学)

16:00 ~ 18:30 第21会場 (神戸国際展示場 2号館 2階 2B会議室)

[2PW21-1] フォークヘッド (Fox) 転写因子の血管・リンパ管の形成における機能○久米 努¹、リウ ティン¹、ジャクアウア タレク¹、ノーデン ピーター¹ (1.ノースウェスタン大学医学部)

16:00 ~ 16:30

[2PW21-2] リンパ管形成を制御するシグナル・転写因子○吉松 康裕¹ (1.医科歯科大・院医歯・分子細胞機能学)

16:30 ~ 17:00

[2PW21-3] 血管・リンパ管内皮細胞における TGF- β ファミリーシグナルの重要性○伊東 史子¹ (1.東葉大・生命・心血管)

17:00 ~ 17:30

[2PW21-4] 腫瘍血管内皮細胞の形質変化とがんの悪性化○樋田 京子¹ (1.北大・遺制研・血管生物学)

17:30 ~ 18:00

[2PW21-5] ダウン症因子 DSCR-1 による血管恒常性制御と加齢病態~両刃の剣~○南 敬¹ (1.熊大・生命研究セ・院薬・分子血管制御)

18:00 ~ 18:30

第23会場**[2AW23] ホルミシスネオバイオロジー**

オーガナイザー: 伊藤 英晃(秋田大学)、オーガナイザー: 鶴殿 平一郎(岡山大学)

09:00 ~ 11:30 第23会場 (神戸国際展示場 2号館 3階 3B会議室)

[2AW23-1] 腫瘍微小環境の代謝改変によるがん免疫リブート○鶴殿 平一郎¹ (1.岡山大・院医歯薬・免疫学)

09:00 ~ 09:30

[2AW23-2] 飢餓ストレスによるリンパ球の動態制御○長谷 耕二^{1,2} (1.慶應大・薬、2.東大・医科研・国際粘膜ワクチンセンター)

09:30 ~ 09:54

[2AW23-3] 統合的ストレス応答経路による癌微小環境への適応機構○親泊 政一^{1,2,3} (1.徳島大・酵素研・生体機

能、2.徳島大・藤井センター、3.徳島大・糖尿病センター)

09:54 ~ 10:18

[2AW23-4] ホルミシス獲得のための小胞体レドックス制御○潮田 亮^{1,2} (1.京都産業大学 総合生命科学部 分子

細胞学教室、2.京都産業大学 タンパク質動態研究
所)

10:18 ~ 10:42

[2AW23-5] がん細胞のホルミシスとメカニズムの解明

○鳥越 俊彦¹、廣橋 良彦¹ (1.札幌医大・医・病理
1)

10:42 ~ 11:06

[2AW23-6] 分子シャペロン複合体を基盤としたホルミシス
ネオバイオロジー

○伊藤 英晃¹、工藤 生¹ (1.秋田大学)

11:06 ~ 11:30

[2PW23] オミクス研究から実用的システム生物学の
構築へ

オーガナイザー:木下 聖子(創価大学)、オーガナイザー:吉沢 明康
(京都大学)、オーガナイザー:河野 信(情報・システム研究機構
データサイエンス共同利用基盤施設ライフサイエンス統合データ
ベースセンター)、オーガナイザー:山田 一作(野口研究所)

16:00 ~ 18:30 第23会場 (神戸国際展示場 2号館 3階 3B会議室)

[2PW23-Introduction] Introduction

○吉沢 明康¹ (1.京都大学)

16:00 ~ 16:05

[2PW23-1] メタボロミクス研究のための質量分析ケムイン
フォマティクス

○津川 裕司^{1,2}、有田 誠^{2,4}、有田 正規^{1,3} (1.理研C
SRS、2.理研IMS、3.国立遺伝学研
究所、4.慶應・薬・代謝生理化学)

16:05 ~ 16:25

[2PW23-2] NeurosporaのN型糖鎖生成シミュレーション
解析

○木全 侑輝¹、木下 聖子¹ (1.創価大学)

16:25 ~ 16:45

[2PW23-3] 肺がん細胞株の多層オミクス解析によるがんゲ
ノムシステムにおける脆弱性の解明

○鈴木 絢子¹、鈴木 穰²、土原 一哉¹ (1.国立がん研
究セ・EPOC・ゲノムTR、2.東大・新領域・メディカ
ル情報生命)

16:45 ~ 17:05

[2PW23-4] 遺伝子発現量の制御機構を明らかにするための
オミクスデータ解析

○岩崎 未央¹、田畑 剛¹、川原 優香¹、小野 美幸¹、成
田 恵¹、山中 伸弥^{1,2}、中川 誠人¹ (1.京大・C
iRA、2.Gladstone・UCSF)

17:05 ~ 17:25

[2PW23-5] 細胞モデリングと AI

○岡田 眞里子^{1,2} (1.阪大・蛋白研、2.理研・統合生
命医)

17:25 ~ 17:45

[2PW23-Discussion] Discussion

17:45 ~ 18:25

[2PW23-Conclusion] Conclusion

○木下 聖子¹ (1.創価大学)

18:25 ~ 18:30

第24会場

[2AW24] 記憶を作り出す分子と細胞のネットワーク
オーガナイザー:齊藤 実(東京都医学総合研究所)、オーガナイ
ザー:飯野 雄一(東京大学)

09:00 ~ 11:30 第24会場 (神戸商工会議所 3階 神商ホールA)

[2AW24-Introduction] Introduction

○齊藤 実¹ (1.東京都医学総合研究所)

09:00 ~ 09:02

[2AW24-1] ゼブラフィッシュの嗅覚記憶

○吉原 良浩¹、宮坂 信彦¹ (1.理研BSI)

09:02 ~ 09:22

[2AW24-2] 複数の神経回路メカニズムによって制御される
線虫 *C. elegans* の非連合匂い学習

○木村 幸太郎¹、山崎 修平¹ (1.阪大・院理・生物科
学)

09:22 ~ 09:42

[2AW24-3] ショウジョウバエ記憶中枢における匂い表現の
弁別とカテゴリ化

○風間 北斗¹ (1.理研・BSI)

09:42 ~ 10:02

[2AW24-4] 電気化学的手法を用いた匂い連合学習を担う単
一ドパミン神経機能の解明

○長野 慎太郎¹、齊藤 実¹ (1.都医学研・学習記憶ブ
ロジェクト)

10:02 ~ 10:22

[2AW24-5] ショウジョウバエ嗅覚連合記憶における価値情
報の維持機構

○山崎 大介¹、廣井 誠¹、阿部 崇¹、清水 一道¹、前山
有子¹、大坪一南 真紀¹、多羽田 哲也¹ (1.東大・分生
研・神経科学)

10:22 ~ 10:42

[2AW24-6] 多彩なインスリン様シグナル伝達により制御さ
れる *C. elegans* の学習記憶

○富岡 征大¹、永嶋 宇¹、後屋敷 舞¹、飯野 雄一¹

(1.東大・院理・生物科学)

10:42 ~ 11:02

[2AW24-7] コオロギ古典的条件付けにおける習慣形成、報
酬予測およびオクトパミン

○水波 誠¹ (1.北大・院理・生物科学)

11:02 ~ 11:22

[2AW24-Discussion] Discussion

11:22 ~ 11:28

[2AW24-Conclusion] Conclusion

○飯野 雄一¹ (1.東京大学)

11:28 ~ 11:30

[2PW24] シナプス、軸索の変調から神経変性疾患を理解する

オーガナイザー:今居 譲(順天堂大学)、オーガナイザー:山中 智行(同志社大学)

16:00 ~ 18:30 第24会場 (神戸商工会議所 3階 神商ホールA)

[2PW24-1] パーキンソン病類縁疾患ペリー症候群ショウジョウバエモデルのシナプスの異常は TDP-43の減少で軽減される

○今居 譲¹ (1.順大・院医・パーキンソン病)

16:00 ~ 16:20

[2PW24-2] FTLモデルにおける TDP-43と DISC1の共凝集による樹状突起での局所翻訳異常と精神障害の発現

○遠藤 良¹、高嶋 紀子¹、猫沖町田 陽子¹、小見 悠介¹、Kelvin Kai-Wan Hui¹、高尾 昌樹^{2,3}、赤津 裕康^{5,6}、村山 繁雄²、澤 明⁴、田中 元雅¹ (1.理研・B SI、2.東京都健康長寿医療センター・東京都老人総合研究所、3.埼玉医科大・神経内科、4.ジョンズホプキンス大・精神科、5.長寿医学研・福祉村病院、6.名古屋市立大・院・医学研究科)

16:20 ~ 16:42

[2PW24-3] ユビキチンリガーゼ ZNRF1が制御する神経変性の分子メカニズム

○荒木 敏之¹、若月 修二¹ (1.国立精神神経センター・神経研・疾病5)

16:42 ~ 17:04

[2PW24-4] タウタンパク質の生理機能と認知症における役割

○高島 明彦¹、小林 俊亮² (1.学習院大・理・生命科学、2.日大・薬・生化)

17:04 ~ 17:26

[2PW24-5] ALF/FTLDにおける FUSの機能の重要性

○石垣 診祐¹、祖父江 元² (1.名大・院医・神経内科、2.名大・院医・神経変性認知症)

17:26 ~ 17:48

[2PW24-6] α シヌクレイン伝播の動物モデル○下沢 明希¹、長谷川 成人¹ (1.都医学研・認知症・高次脳機能)

17:48 ~ 18:10

[2PW24-7] ヒト・マウス α シヌクレインを用いたアミロイド線維多様性の解析○山中 智行¹、田中 剛貴¹、吉永 早希¹、古川 良明²、眞名 信行¹ (1.同志社大・脳科学、2.慶應大・理工)

18:10 ~ 18:30

第25会場

[2AW25] 骨格筋の代謝・内分泌臓器としての新機能
オーガナイザー:小野 悠介(長崎大学)、オーガナイザー:河野 史倫(松本大学)

09:00 ~ 11:30 第25会場 (神戸商工会議所 3階 神商ホールB)

[2AW25-Introduction] Introduction

○小野 悠介¹ (1.長崎大学)

09:00 ~ 09:01

[2AW25-1] 筋ミトコンドリア品質管理の破綻と全身性代謝異常

○小野 悠介¹ (1.長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)

09:01 ~ 09:25

[2AW25-2] 無重カストレスに対する初期応答酵素(アコニターゼ)の筋萎縮における役割

○二川 健¹、内田 貴之¹、真板 綾子¹、中尾 玲子¹、小林 剛²、武田 伸一³、曾我部 正博² (1.徳島大学大学院医歯薬学研究部、2.名古屋大学大学院医学研究科、3.国立精神・神経医療研究センター)

09:25 ~ 09:50

[2AW25-3] 転写共役因子 PGC-1 α によって制御される骨格筋リボクオリティー○三浦 進司¹、妹尾 奈波¹、梅林 脩平¹、守田 昭仁¹、三好 規之²、亀井 康富³ (1.静岡県大・食・栄養化学、2.静岡県大・食・生化学、3.京都府大・院生命環境・分子栄養)

09:50 ~ 10:15

[2AW25-4] 骨格筋アミノ酸代謝における遺伝子発現制御

○亀井 康富¹、三浦 進司² (1.京都府立大・分子栄養、2.静岡県立大・栄養化学)

10:15 ~ 10:40

[2AW25-5] 内分泌器官としての骨格筋

○眞鍋 康子¹ (1.首都大・人間健康)

10:40 ~ 11:05

[2AW25-6] 筋タイプ特有のエピゲノムと遺伝子転写応答

○河野 史倫¹ (1.松本大学)

11:05 ~ 11:29

[2AW25-Conclusion] Conclusion

○河野 史倫¹ (1.松本大学)

11:29 ~ 11:30

[2PW25] 尿毒素から紐解く臓器連関と生体恒常性破綻のメカニズム

オーガナイザー:稲城 玲子(東京大学)、オーガナイザー:和田 隆志(金沢大学)

16:00 ~ 18:30 第25会場 (神戸商工会議所 3階 神商ホールB)

[2PW25-Introduction] Introduction

○稲城 玲子¹ (1.東京大学)

16:00 ~ 16:05

[2PW25-1] 尿毒素が引き起こす細胞小器官ストレス

○稲城 玲子¹ (1.東大・院医・CKD病態生理学)

16:05 ~ 16:20

[2PW25-2] 尿毒素が引き起こす臓器連関破綻～腸・腎連関～

○吉藤 歩^{1,2}、脇野 修²、伊藤 裕² (1.チューリッヒ大学腎生理学教室、2.慶應義塾大学医学部内科学)

16:20 ~ 16:45

[2PW25-3] 腎不全における臓器連関破綻～腸・腎連関～

○古市 賢吾¹、和田 隆志² (1.金沢大学附属病院 血液浄化療法部、2.金沢大学大学院 腎臓内科学)

16:45 ~ 17:10

[2PW25-4] 尿毒素が引き起こす臓器連関破綻～骨・腎連関～

○深川 雅史¹、岩崎 香子²、山本 卓³、風間 順一郎⁴ (1.東海大学、2.大分県立看護科学大学、3.新潟大学、4.福島県立医大)

17:10 ~ 17:35

[2PW25-5] 乳酸を介する代謝機能連関機構

○武田 憲彦¹ (1.東大・院医・循環器)

17:35 ~ 18:00

[2PW25-6] 尿毒症物質の産生メカニズムとその対策

○阿部 高明¹ (1.東北大学大学院医工学研究科 医学系研究科)

18:00 ~ 18:25

[2PW25-Conclusion] Conclusion

○和田 隆志¹ (1.金沢大学)

18:25 ~ 18:30

第27会場

[2AW27] 化学の視点で拓く糖鎖生物学

オーガナイザー:山口 芳樹(理化学研究所)、オーガナイザー:眞鍋史乃(理化学研究所)

09:00 ~ 11:30 第27会場 (神戸商工会議所 3階 第3会議室)

[2AW27-Introduction] Introduction

○山口 芳樹¹ (1.理化学研究所)

09:00 ~ 09:02

[2AW27-1] フコース誘導体を用いたグライコケミカルバイオロジー

○木塚 康彦¹、谷口 直之¹ (1.理研・疾患糖鎖)

09:02 ~ 09:26

[2AW27-2] 細胞表層での糖脂質抗原の分子認識と免疫調節

○藤本 ゆかり¹ (1.慶應義塾大学)

09:26 ~ 09:50

[2AW27-3] 植物のヒドロキシプロリンO-結合型糖鎖の化学と機能

小川-大西 真理¹、篠原 秀文¹、○松林 嘉克¹

(1.名大・院理・生命理学)

09:50 ~ 10:14

[2AW27-4] 受容体機能における糖鎖の役割を可視化する

的場 京子¹、三原 恵美子¹、平井 秀範¹、宮崎 直幸¹、岩崎 憲治¹、○高木 淳一¹ (1.阪大・蛋白研)

10:14 ~ 10:38

[2AW27-5] ビフィズス菌由来ヒト糖鎖分解酵素の基質認識と触媒機構

○伏信 進矢¹、山田 千早^{1,2}、佐藤 真与¹、後藤 愛那²、荒川 孝俊¹、芦田 久³、片山 高嶺^{2,4} (1.東大・院農・応生工、2.京大・院生命・統合生命、3.近大・生物理工、4.石川県大・生物資源環境)

10:38 ~ 11:02

[2AW27-6] 反転型糖転移酵素によるタンパク質アルギニン・ラムノシル化の構造基盤

仙石 徹¹、鈴木 健裕²、堂前 直²、渡邊 千鶴³、本間 光貴³、疋田 泰士¹、山口 芳樹⁴、高橋 英之⁵、柳沢 達男¹、○横山 茂之¹ (1.理研・構造生物、2.理研・環境資源、3.理研・CLST、4.理研・グローバル研究クラスター、5.国立感染研)

11:02 ~ 11:26

[2AW27-Conclusion] Conclusion

○眞鍋 史乃¹ (1.理化学研究所)

11:26 ~ 11:30

[2PW27] 幹細胞性を支える糖鎖の本質に迫る：幹細胞の顔と運命決定を担う糖鎖スイッチからの視点

オーガナイザー:板野 直樹(京都産業大学)、オーガナイザー:西原 祥子(創価大学)

16:00 ~ 18:30 第27会場 (神戸商工会議所 3階 第3会議室)

[2PW27-Introduction] Introduction

○板野 直樹¹ (1.京都産業大学)

16:00 ~ 16:03

[2PW27-1] 総合グライコミクスで幹細胞を記述する

○古川 潤一¹ (1.北大院・医学・先端的糖鎖臨床生物学分野)

16:03 ~ 16:28

[2PW27-2] マーカー抗体より見た未分化幹細胞糖鎖

○川崎 敏祐¹、中尾 広美¹、永井 裕子²、豊田 英尚²、川崎 伸子¹ (1.立命館大・糖鎖工学セ、2.立命館大・薬学部)

16:28 ~ 16:53

[2PW27-3] ヒト多能性幹細胞特異的プローブ

rBC2LCNを用いた品質管理技術の開発

○伊藤 弓弦¹、舘野 浩章¹、原本 悦和¹、平林 淳¹、小沼 泰子¹ (1.産総研・創薬基盤)

16:53 ~ 17:18

[2PW27-4] がん幹細胞に特徴的な糖鎖修飾とその標的タンパク質の同定

○三善 英知¹ (1.阪大院・医・機能診断科学)

17:18 ~ 17:43

[2PW27-5 (3P-0889)] ヒアルロン酸合成を起点とした代謝リプログラミングとがん幹細胞性の発現調節

○泉川 友美¹、板野 直樹¹ (1.京産大・総合生命)

17:43 ~ 18:05

[2PW27-6] 幹細胞における糖鎖の機能

○西原 祥子¹ (1.創価大・院工・生命情報)

18:05 ~ 18:30



2017年12月8日(金)

第2会場

[3AW02] 染色体ダイナミクスを統合的に制御する新たなゲノムシグナチャー

オーガナイザー:藤田 雅俊(九州大学)、オーガナイザー:正井 久雄(東京都医学総合研究所)

09:00 ~ 11:30 第2会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 階楽2)

[3AW02-Introduction] Introduction

○藤田 雅俊¹ (1.九州大学)

09:00 ~ 09:03

[3AW02-1] ヒト細胞における firing および dormant originの時空間的制御のゲノムワイド解析

○杉本 のぞみ¹、前原 一満²、吉田 和真¹、大川 恭行²、藤田 雅俊¹ (1.九大・院薬・医薬細胞生物学、2.九大・生医研・トランスクリプトミクス)

09:03 ~ 09:27

[3AW02-2] グアニン 4 重鎖構造: 諸刃の剣のゲノム情報

○正井 久雄¹、加納 豊¹、田中 卓¹、深津 理乃¹、森山 賢治¹、小林 駿介¹、覚正 直子¹、伊藤 さゆり¹、鷲 朋子¹、馬 悦²、長澤 和夫²、松本 清治¹、新本 美智枝¹、吉沢 直子¹ (1.東京都医学研・ゲノム医科学、2.東京農工大学・大学院工学研究院)

09:27 ~ 09:51

[3AW02-3] 減数分裂期組換えホットスポットのシグネチャーと軸-ループ染色体高次構造

○飯屋園 遼¹、小田 有沙⁴、伊藤 将⁴、作野 剛士²、渡邊 嘉典^{1,3}、太田 邦史^{1,4} (1.東大・院理・生物科学、2.阪大・院生命機能・細胞核ダイナミクス、3.東大・分生研、4.東大・院総文・広域科学)

09:51 ~ 10:15

[3AW02-4 (3LBA-038)] マウス受精卵における核サイズ決定メカニズム

○大杉 美穂¹、渡邊 大士¹

(1.東大・院総合文化・広域科学生命環境)

10:15 ~ 10:39

[3AW02-5] ヒストン H3バリエーションで制御される組織特異的構造

○大川 恭行¹ (1.九大・生医研・トランスクリプトミクス)

10:39 ~ 11:03

[3AW02-6] コヒーシオンローダーによる転写制御

○白髭 克彦¹、坂東 優篤¹ (1.東大・分生研)

11:03 ~ 11:29

[3AW02-Conclusion] Conclusion

○正井 久雄¹ (1.東京都医学総合研究所)

11:29 ~ 11:30

[3PW02] ゲノム恒常性維持機構の破綻と疾患発症の分子メカニズム

オーガナイザー:中田 慎一郎(大阪大学)、オーガナイザー:荻 朋男(名古屋大学)

16:00 ~ 18:30 第2会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 階楽2)

[3PW02-Introduction] Introduction

○中田 慎一郎¹ (1.大阪大学)

16:00 ~ 16:05

[3PW02-1] Molecular pathogenesis underlying Cockayne syndrome and UV-sensitive syndrome

○Nan Jia¹、Chaowan Guo¹、Yasuyoshi Oka¹、Yuka Nakazawa^{1,2}、Mayuko Shimada²、Hitomi Miyazaki²、Tomoo Ogi^{1,2} (1.Dept. of Genetics, RleM, Nagoya Univ., 2.Dept. of Gen. Repair, Atom.Bomb Dise. Inst., Nagasaki Univ.)

16:05 ~ 16:28

[3PW02-2] ICL修復因子 SLX4はRNF168依存的なユビキチン化経路を介して損傷部位に集積する

○勝木 陽子¹、安倍 昌子¹、Haico van Attikum²、中田 慎一郎³、鐘巻 将人⁴、Yonghwan Kim⁵、高田 穰¹ (1.京大・放生研・晩発効果、2.ライデン大・医研、3.阪大・院医・細胞応答制御、4.遺伝研・分子細胞工学、5.淑明女子大・ゲノム維持)

16:28 ~ 16:51

[3PW02-3] ALC1クロマチンリモデリング因子のゲノム維持における働き

○廣田 耕志¹、津田 雅貴²、大岡 正人¹、清水 直人²、安井 明³、武田 俊一² (1.首都大学東京理工学研究科分子物質化学専攻、2.京都大学医学部放射線遺伝学、3.東北大学加齢医学研究所)

16:51 ~ 17:14

[3PW02-4] ニックによる正確で効率のよいゲノム編集法では非古典的な HDRが利用されている

中嶋 一裕¹、周 越¹、富田 亜希子¹、平出 祥啓¹、○中田 慎一郎^{1,2} (1.大阪大・院医・細胞応答、2.大阪大・高等共創)

17:14 ~ 17:37

[3PW02-5] クロマチン制御関連遺伝子欠損がんにおける合成致死性に基づいた分子病態の解明と治療戦略

○荻原 秀明¹、佐々木 麻里子^{1,2}、河野 隆志^{1,2} (1.国立がん・研・ゲノム生物、2.慈恵医大・院医)

17:37 ~ 18:00

[3PW02-6] DNA二本鎖切断修復経路による免疫チェックポイント標的分子 PD-L1の発現制御機構

○柴田 淳史⁷、佐藤 浩央¹、新美 敦子²、安原 崇哲³、萩原 慶彦¹、Tiara Permata¹、磯野 真由⁴、E ndang Nuryadi¹、尾池 貴洋¹、吉本 由哉¹、鈴木 義行⁵、河野 浩二⁶、宮川 清³、中野 隆史¹ (1.群大・腫瘍放射線学、2.群大・未来先端研究機構、3.東京大・疾患生命工学セ、4.佐々木研・分子代謝制御研究部、5.福島医大・放射線治療科、6.福島医大・消化器外科、7.群大・院医・大学院教育支援センター)

18:00 ~ 18:23

[3PW02-Discussion] Discussion

18:23 ~ 18:25

[3PW02-Conclusion] Conclusion

○荻 朋男¹ (1.名古屋大学)

18:25 ~ 18:30

第3会場

[3AW03] 代謝セントラルドグマ

オーガナイザー:曾我 朋義(慶應義塾大学)、オーガナイザー:酒井 寿郎(東北大学)

09:00 ~ 11:30 第3会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 偕楽3)

[3AW03-1] S-アデノシルメチオニン(SAM)代謝による寿命制御

○水沼 正樹¹ (1.広島大・院先端研・分子生命)

09:00 ~ 09:25

[3AW03-2] ヒト多能性幹細胞の分化および未分化維持におけるメチオニン代謝の役割

○白木 伸明¹ (1.東工大・生命理工)

09:25 ~ 09:50

[3AW03-3] 脂肪細胞を特徴づける代謝によるエピゲノム制御

○松村 欣宏¹、Eko Fuji Ariyanto¹、曾我 朋義³、酒井 寿郎^{1,2} (1.東大・先端研・代謝医学、2.東北大・院医・分子生理学、3.慶應大学・先端生命研)

09:50 ~ 10:15

[3AW03-4] イソクエン酸デヒドロゲナーゼ IDHを介した代謝セントラルドグマとがん

○北林 一生¹ (1.国立がん研究センター)

10:15 ~ 10:40

[3AW03-5] 悪性脳腫瘍形成過程における代謝特性の変化とその意義

○Oltea Sampetean¹、佐谷 秀行¹ (1.慶應義塾大学)

医学部 先端医科学研究所 遺伝子制御研究部門)

10:40 ~ 11:05

[3AW03-6] 腸内細菌叢由来代謝物質がもたらす宿主恒常性

○福田 真嗣^{1,2,3,4} (1.慶大・先端生命研、2.JST・さがけ、3.神奈川県立産技総研、4.メタジェン)

11:05 ~ 11:30

[3PW03] 環境エピゲノム変化に基づく疾病の発症
～ DOHaDの生物学的基盤～

オーガナイザー:根本 崇宏(日本医科大学)、オーガナイザー:佐藤 恵子(東京医科歯科大学)

16:00 ~ 18:30 第3会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 偕楽3)

[3PW03-Introduction] Introduction

○根本 崇宏¹ (1.日本医科大学)

16:00 ~ 16:02

[3PW03-1] 環境誘導性エピゲノム変化～先制医療への展望～

○久保田 健夫¹ (1.聖徳大・児童学)

16:02 ~ 16:31

[3PW03-2] 母児エピゲノムに影響する環境要因の探索-
出生前コホート研究 BC-GENIST

○佐藤 恵子¹ (1.東京医科歯科大学・難治疾患研究所・環境エピゲノム)

16:31 ~ 17:00

[3PW03-3] 胎児期環境による高血圧体質の獲得

○有馬 勇一郎¹、西山 功一²、泉家 康宏¹、竹尾 透³、中瀬 直己³、辻田 賢一¹ (1.熊大・循環器内科、2.熊大・IRCMS、3.熊大・生命資源セ・資源開発)

17:00 ~ 17:29

[3PW03-4] 過剰栄養が2型糖尿病体質を獲得させるヒストン修飾メカニズム

○望月 和樹¹、針谷 夏代²、久保田 健夫³ (1.山梨大学 生命環境学部地域食物科学科、2.山梨学院大学 健康栄養学部管理栄養学科、3.聖徳大学 児童学部児童学科)

17:29 ~ 17:58

[3PW03-5] 胎生期低栄養低出生体重ラットとその次世代仔へのメチルドナー補充効果の検討

○根本 崇宏¹ (1.日本医科大学生理学 (生体統御学))

17:58 ~ 18:27

[3PW03-Conclusion] Conclusion

○佐藤 恵子¹ (1.東京医科歯科大学)

18:27 ~ 18:30

第5会場

[3AW05] 分子生物学的アプローチによる運動器研究の新展開

オーガナイザー:乾 雅史(明治大学)、オーガナイザー:早田 匡芳(筑波大学)

09:00 ~ 11:30 第5会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 菊水)

[3AW05-Introduction] Introduction

○早田 匡芳¹ (1.筑波大学)

09:00 ~ 09:05

[3AW05-1] 軟骨発生および変形性関節症における異なる血管内皮増殖因子の役割

○長尾 雅史^{1,2}、Chan Cheong¹、Olsen Bjorn¹、John Hamilton³、Hee-Jeong Im⁴ (1.ハーバード大・歯学部・発生生物、2.順天堂大・整形、3.ラッシュ大・生化学、4.イリノイ大・生体工学)

09:05 ~ 09:25

[3AW05-2] 軟骨の恒常性維持制御における microRNA の解析

○伊藤 義晃^{1,2}、松崎 時夫³、茂久田 翔³、綾部 文明³、山下 聡¹、浅原 弘嗣^{1,3} (1.東医歯大・シス医、2.東医歯大・リサーチコアセンター、3.スクリプス研)

09:25 ~ 09:45

[3AW05-3] コラーゲン群による運動器制御機構

○伊豆 弥生¹ (1.千葉科大・危機管理・動物危機)

09:45 ~ 10:05

[3AW05-4] 転写因子 Scleraxis は筋骨格系を連結する組織の成熟を制御する

○吉本 由紀¹、滝本 晶²、渡邊 仁美³、近藤 玄³、佐久間 哲史⁴、山本 卓⁴、開 祐司²、宿南 知佐¹ (1.広大・院医歯薬保健学・生体分子機能学、2.京大・ウイルス再生研・生体分子設計学、3.京大・ウイルス再生研・附属再生実験動物施設、4.広大・院理・分子遺伝学)

10:05 ~ 10:25

[3AW05-5] ゲノム編集による SOX9 点変異マウスの作成と解析

○乾 雅史¹ (1.明大・農・生命科学)

10:25 ~ 10:45

[3AW05-6] FRET 張力プローブによる細胞張力計測と初期胚の外胚葉パターンニング

○道上 達男¹ (1.東大・院総文・広域科学・生命)

10:45 ~ 11:05

[3AW05-7] 高出力1細胞トランスクリプトーム解析の展開と多細胞生物学

○團野 宏樹¹、笹川 洋平¹、二階堂 愛¹ (1.理研・情報基盤・バイオインフォマティクス)

11:05 ~ 11:25

[3AW05-Conclusion] Conclusion

○乾 雅史¹ (1.明治大学)

11:25 ~ 11:30

[3PW05] in situ 構造生物学による真核細胞内蛋白質の動態解明

オーガナイザー:伊藤 隆(首都大学東京)、オーガナイザー:木川 隆則(理化学研究所)

16:00 ~ 18:30 第5会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 菊水)

[3PW05-1] 細胞環境におけるタンパク質の構造動態

○木川 隆則^{1,2} (1.理研・生命システム、2.東工大・情報理工)

16:00 ~ 16:30

[3PW05-2] in-cell NMR法を用いた生細胞内の生命現象のリアルタイム観測

○西田 紀貴¹、嶋田 一夫¹ (1.東大院薬)

16:30 ~ 17:00

[3PW05-3] ダイヤモンド NV 中心を使った量子センシングの分子・細胞生物学への応用

○白川 昌宏¹ (1.京大・院工・分子工学)

17:00 ~ 17:30

[3PW05-4] 細胞環境で非特異的相互作用が生体分子構造とダイナミクスに与える影響

○杉田 有治¹ (1.理研)

17:30 ~ 18:00

[3PW05-5] In-cell NMR で真核細胞内蛋白質の立体構造、フォールディング安定性、ダイナミクスを解析する

○伊藤 隆^{1,2}、田中 孝^{1,2}、鴨志田 一^{1,2}、三島 正規^{1,2}、池谷 鉄兵^{1,2}、Peter Guentert^{1,2,3} (1.首都大・理工・分子物質化学、2.CREST・JST、3.生物物理化学研・フランクフルト大)

18:00 ~ 18:30

第6会場

[3AW06] DNA 配列認識副溝結合物質 (MGB) を応用した生体内のゲノム・エピゲノム構造介入

オーガナイザー:永瀬 浩喜(千葉県がんセンター研究所)、オーガナイザー:杉山 弘(京都大学)

09:00 ~ 11:30 第6会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 北

野)

所)

11:25 ~ 11:30

[3AW06-Introduction] Introduction

○杉山 弘¹ (1.京都大学)

09:00 ~ 09:05

[3AW06-1] ゲノム化学に基づくピロール・イミダゾール

(PI)ポリアミドによる TGF- β 1遺伝子の転写抑制薬の開発○福田 昇^{1,2}、上野 高浩²、井上 貴史³、大月 正理²、青山 隆彦⁴、松本 宜明⁴、坂東 俊一⁵、杉山 弘⁵(1.日本大学総合科学研究所、2.日本大学医学部腎臓
高血圧内分泌内科学、3.実験動物中央研究所、4.日本
大学薬学部臨床薬物動態学、5.京都大学大学院理学研
究科化学専攻)

09:05 ~ 09:28

[3AW06-2] 遺伝子スイッチ法を用いた RUNXクラスター制
御による多彩な抗腫瘍効果○上久保 靖彦¹ (1.京大・院医・人間健康科学)

09:28 ~ 09:51

[3AW06-3] ピロールイミダゾールポリアミドによるクロマ
チン構造とダイナミクスの機能解析○井手 聖^{1,2}、佐々木 飛鳥^{1,2}、河本 佑介³、板東 俊和³、杉山 弘³、岡田 康志⁴、前島 一博^{1,2} (1.遺伝研・構造センター、2.総研大・生命科学、3.京大
院・理・化学、4.理研・QBiC)

09:51 ~ 10:14

[3AW06-4] 消化管発癌において重要なエピゲノム異常とそ
れを領域特異的に阻害する小分子の開発○金田 篤志¹ (1.千葉大・院医・分子腫瘍学)

10:14 ~ 10:37

[3AW06-5] PIポリアミドによる病理性ミトコンドリア
DNA変異関連疾患の治療○越川 信子¹、渡部 隆義¹、篠崎 喜脩¹、高取 敦志¹、安井 七海¹、リン ジェイソン¹、山田 勇磨²、原島秀吉²、永瀬 浩喜¹ (1.千葉がんせ・研・がん遺伝創
薬、2.北大・院薬・薬剤分子設計学)

10:37 ~ 10:55

[3AW06-6] Data Analysis to Understand the Effects of
Genome Binding Molecules○Paul Horton^{1,2}、Fei-Man Hsu^{1,2}、Jason Lin³(1.AIST、2.University of Tokyo、3.Chiba Cancer
Center)

10:55 ~ 11:18

[3AW06-Discussion] Discussion

11:18 ~ 11:25

[3AW06-Conclusion] Conclusion

○永瀬 浩喜¹ (1.千葉県がんセンター研究

[3PW06] 網膜視覚科学の最前線

オーガナイザー:古川 貴久(大阪大学)、オーガナイザー:渡辺 すみ子
(東京大学)16:00 ~ 18:30 第6会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 北
野)

[3PW06-Introduction] Introduction

○渡辺 すみ子¹ (1.東京大学)

16:00 ~ 16:04

[3PW06-1] cGMP metabolismの異常を介した視細胞変性メ
カニズムMaria Iribarne¹、西脇 優子¹、○政井 一郎¹ (1.沖縄
科技大・神経発生ユニット)

16:04 ~ 16:29

[3PW06-2] ロイシンリッチリピート膜蛋白質による網膜視
細胞のシナプス形成機構○上野 明希子¹、大森 義裕¹、杉田 祐子¹、茶屋 太郎¹、小塚 孝司¹、渡邊 哲史¹、吉田 怜代¹、入江 彰一¹、桑原 隆介²、梶村 直子²、岡田 康志³、古川 貴久¹

(1.阪大・蛋白研、2.阪大・超高压電顕

せ、3.理研・QBiC / 東大・院理・物理)

16:29 ~ 16:52

[3PW06-3] 網膜視細胞における膜リン脂質組成の意義

○菱川 大介¹、進藤 英雄¹、高祖 秀登²、佐々木 順子³、中西 弘樹³、佐々木 雄彦³、渡辺 すみ子²、清水孝雄^{1,4} (1.国医セ・脂質、2.東大医科研・再生基礎医科、3.秋田大・院医・微生物、4.東大・院医・リビド
ミクス)

16:52 ~ 17:15

[3PW06-4] 網膜変性疾患における、マイクログリアと単球
由来マクロファージの解析○高祖 秀登¹、渡辺 すみ子¹ (1.Div. of Mol. & Dev.

Biol., Inst. of Med. Sci., Univ. of Tokyo)

17:15 ~ 17:40

[3PW06-5] 緑内障疾患モデルを用いた神経保護および軸索
再生研究○原田 高幸¹ (1.東京都医学総合研究所)

17:40 ~ 18:05

[3PW06-6] 網膜末期変性モデルへの iPS由来網膜組織移植
後の視機能評価○万代 道子¹、藤井 桃¹、Hung-Ya Tu¹、砂川 玄志郎¹、山崎 優^{1,2}、高橋 政代¹ (1.理化学研究所、2.大日

本住友)

18:05 ~ 18:30

第7会場

[3AW07] 最先端の表面科学手法による生体膜反応の実動作下計測

オーガナイザー: 深井 周也(東京大学)、オーガナイザー: 手老 龍吾(豊橋技術科学大学)

09:00 ~ 11:30 第7会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 布引)

[3AW07-1] 高速原子間力顕微鏡で可視化する生体膜反応ダイナミクス

○内橋 貴之¹ (1.名古屋大学大学院理学研究科)

09:00 ~ 09:30

[3AW07-2] X線を用いた1分子動態計測の進展

○佐々木 裕次^{1,2,3} (1.東京大学大学院新領域創成科学研究科、2.東大・産総研OIL、3.Spring-8/JASRI)

09:30 ~ 10:00

[3AW07-3] 高速原子間力顕微鏡を用いたカリウムチャネルとサソリ毒ペプチドの結合動態解析

○角野 歩^{1,2} (1.金沢大・新学術創成、2.金沢大・バイオAFM)

10:00 ~ 10:30

[3AW07-4] 生体膜チップを利用した膜タンパク質の1分子活性計測

○渡邊 力也^{1,2} (1.東大・院工・応用化学、2.AMED・PRIME)

10:30 ~ 11:00

[3AW07-5] パターン化人工膜を用いた膜シグナル伝達機構の再構成と定量的解析

○森垣 憲一¹、谷本 泰士²、小嶋 佐知子²、栗津 暁紀³、林 文夫⁴ (1.神戸大・バイオシグナル、2.神戸大・院農、3.広島大・院理、4.神戸大・院理)

11:00 ~ 11:30

[3PW07] Smadシグナルの canonical経路と non-canonical経路

オーガナイザー: 宮澤 恵二(山梨大学)、オーガナイザー: 北川 雅敏(浜松医科大学)

16:00 ~ 18:30 第7会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 布引)

[3PW07-1] Smadシグナルの canonical経路と Smad cofactorの機能

○宮澤 恵二¹ (1.山梨大・院・医)

16:00 ~ 16:22

[3PW07-2] 網羅的な転写因子結合部位の解析が明らかにする TGF- β シグナル下流の遺伝子発現制御機構

○鯉沼 代造¹、堤 修一²、磯谷 一暢¹、森川 真大^{1,3}、Eleftheria Vasilaki³、水谷 アンナ¹、荒瀬 麻友¹、桂

彰宏¹、川崎 夏実¹、田村 佑介¹、油谷 浩幸²、宮園 浩平¹ (1.東大・院医・分子病理、2.東大・先端研・ゲノムサイエンス、3.ウブサラ大・ルードヴィヒ癌研究所)

16:22 ~ 16:47

[3PW07-3] Canonical SMADシグナルと non-canonical SMADシグナルによる免疫細胞分化制御

○真村 瑞子^{1,2,3}、裴 恩真^{1,3}、尹 晶煥^{1,3} (1.東京医科大学分子病理学分野、2.東京医科大学医師・学生・研究者支援センター、3.韓国国立慶北大学病院生命医学研究院)

16:47 ~ 17:12

[3PW07-4] BMP (Bone Morphogenetic Protein)シグナルで誘導される軟骨細胞分化に関する新規 non-Smadシグナル経路

○伊東 進¹、中野 なおこ¹、嶋田 貴之¹ (1.昭葉大)

17:12 ~ 17:37

[3PW07-5] TGF- β によって誘導される上皮間葉転換のエピジェネティクス制御機構

○寺島 農^{1,2}、丹下 正一朗³、Wanna-udom

Sasithorn¹、石村 昭彦^{1,2}、鈴木 健之^{1,2} (1.金沢大・がん研・機能ゲノミクス、2.金沢大・新学術・がん分子標的、3.徳島大・院医歯薬学・人類遺伝学)

17:37 ~ 18:02

[3PW07-6] TGF β -Smad経路を介した上皮間葉転換を制御する新規長鎖 ncRNA

○酒井 聡¹、大畑 樹也¹、北川 雅敏¹ (1.浜松医科大学・医・分子生物)

18:02 ~ 18:27

[3PW07-Conclusion] Conclusion

○北川 雅敏¹ (1.浜松医科大学)

18:27 ~ 18:30

第8会場

[3AW08] 遺伝学・光遺伝学を用いた神経回路形成研究

オーガナイザー: 水本 公大(ブリティッシュコロンビア大学)、オーガナイザー: 丹羽 伸介(東北大学)

09:00 ~ 11:30 第8会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 生田)

[3AW08-Introduction] Introduction

○水本 公大¹ (1.ブリティッシュコロンビア大学)

09:00 ~ 09:03

[3AW08-1] 線虫を用いた感覚-介在神経細胞間の単一シナ

プスレベル機能解析

○塚田 祐基¹、森 郁恵¹ (1.名大・院理・生命理学)

09:03 ~ 09:27

[3AW08-2] 自発的な神経活動に依存した嗅覚神経回路の形成メカニズム

○竹内 春樹¹、中嶋 藍¹、伊原 尚樹¹、EerDunfu¹、池谷 裕二¹ (1.東大・院薬・薬品作用)

09:27 ~ 09:51

[3AW08-3] 線虫においてシナプス前終末に局在する陰イオンチャンネル LGC-46による活動依存的なフィードバック抑制

○木矢 星歌^{1,2}、Keming Zhou¹、Yishi Jin^{1,3}

(1.カリフォルニア大学サンディエゴ校・院生物科学、2.現所属：金沢大学・院理工・自然システム、3.HHMI, カリフォルニア大学サンディエゴ校・院生物科学)

09:51 ~ 10:15

[3AW08-4] 遺伝的にコード化された光活性化 CaMKIIの開発

○柴田 明裕¹、村越 秀治¹ (1.生理研)

10:15 ~ 10:39

[3AW08-5] メダカにおける配偶者防衛行動の分子神経基盤解析

○横井 佐織^{1,2}、安齋 賢³、亀井 保博²、木下 政人⁴、谷口 善仁⁵、Young Larry⁶、奥山 輝大⁷、久保健雄⁸、成瀬 清²、竹内 秀明⁹ (1.北大・院薬、2.基生研、3.遺伝研、4.京大・院農・応用生物科学、5.杏林大・医、6.エモリー大学、7.マサチューセッツ工科大学、8.東大・院理・生物科学、9.岡大・院理・自然科学)

10:39 ~ 11:03

[3AW08-6] BLOC-1関連複合体(BORC)はシナプス小胞前駆体の軸索輸送を制御し、シナプスの位置決定をする

○丹羽 伸介¹ (1.東北大・学際研)

11:03 ~ 11:27

[3AW08-Conclusion] Conclusion

○丹羽 伸介¹ (1.東北大)

11:27 ~ 11:30

[3PW08] 分子状酸素による遺伝子発現調節から紐解く疾患生物学

オーガナイザー: 合田 亘人(早稲田大学)、オーガナイザー: 上田 潤(旭川医科大学)

16:00 ~ 18:30 第8会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 生田)

[3PW08-Introduction] Introduction

○上田 潤¹、○合田 亘人² (1.旭川医科大学、2.早稲田大学)

16:00 ~ 16:03

[3PW08-1] ヒストン脱メチル化酵素 LSD1による酸素環境応答と代謝可塑性

○日野 信次朗¹、阿南 浩太郎¹、高瀬 隆太¹、興梠 健作¹、中尾 光善¹ (1.熊大・発生研・細胞医学)

16:03 ~ 16:27

[3PW08-2] 癌において ALKBHにより制御される RNA修飾の機能

○辻川 和丈¹、上田 裕子¹、長谷 拓明¹、大塩 郁幹¹、北恵 郁緒里¹、神宮司 健太郎¹、小垣 孝弘¹、島ノ江 知樹¹、趙 雨桐¹、木本 瑞基¹ (1.阪大・院薬・細胞生理)

16:27 ~ 16:51

[3PW08-3] 寒冷刺激による翻訳後修飾とエピゲノム変化による脂肪細胞のベージュ化機構

○酒井 寿郎^{1,2}、阿部 洋平¹、藤原 庸佑¹、高橋 由大¹、児玉 龍彦³、油谷 浩幸⁴、松村 欣宏¹、稲垣 毅⁵

(1.東大・先端研・代謝医学、2.東北大・院医・分子生理、3.東大・先端研・システム生物、4.東大・先端研・ゲノムサイエンス、5.群馬大・生体調節研・代謝エピゲノム)

16:51 ~ 17:15

[3PW08-4] 肥満に伴う腎障害における腎虚血と PHD2の役割

○脇野 修¹、二木 功治¹、徳山 博文¹、内藤 真紀子¹、南嶋 洋司²、伊藤 裕¹ (1.慶應義塾大学腎臓内分泌代謝内科、2.九州大学生体防御医学研究所)

17:15 ~ 17:39

[3PW08-5] 低酸素環境下で酵素活性が低下するプロリン水酸化酵素 PHDを標的とした、腎性貧血や乳酸アシドーシスなどの様々な疾患の治療法の開発

○南嶋 洋司¹ (1.九大・生医研・分子医科学)

17:39 ~ 18:03

[3PW08-6] 低酸素応答機構とがん抑制機構を繋ぐ新規遺伝子の作用機序と機能

○原田 浩^{1,2}、子安 翔^{1,3} (1.京大・放生研・がん細胞生物学、2.JSTさきがけ、3.東大・先端研)

18:03 ~ 18:27

[3PW08-Conclusion] Conclusion

○合田 亘人¹、○上田 潤² (1.早稲田大学、2.旭川医科大学)

18:27 ~ 18:30

第10会場

[3AW10] 多細胞動物における性決定システムの多様性と進化

オーガナイザー:伊藤 道彦(北里大学)、オーガナイザー:野澤 昌文(首都大学東京)

09:00 ~ 11:30 第10会場 (神戸ポートピアホテル 南館 地下1階 ルビー)

[3AW10-Introduction] Introduction

○野澤 昌文¹、○伊藤 道彦² (1.首都大学東京、2.北里大学)

09:00 ~ 09:05

[3AW10-1] 性染色体相同性の種間比較から推定される爬虫類における性決定様式の進化

○松原 和純¹ (1.関学大・理工・生命医化)

09:05 ~ 09:27

[3AW10-2] SRY遺伝子をもたない哺乳類種の新しい性決定メカニズム

○黒岩 麻里¹ (1.北大・院理・生物科学)

09:27 ~ 09:49

[3AW10-3] ショウジョウバエにおける Neo性染色体の進化: 性染色体化は有害か?

○野澤 昌文¹ (1.首都大・院理工・生命科学)

09:49 ~ 10:11

[3AW10-4] カイコの性は piRNA を介した性染色体間の相互作用によって決まる

○勝間 進¹、木内 隆史¹、川本 宗孝¹、庄司 佳祐¹ (1.東大・院農・生産環境生物学)

10:11 ~ 10:33

[3AW10-5] 雌雄のどちらかになることを保障する性のコアメカニズム - 生殖細胞がもたらす性決定機構 -

○田中 実¹、西村 俊哉¹ (1.名大・院理・生命理学)

10:33 ~ 10:55

[3AW10-6] 脊椎動物の性決定遺伝子の分子進化および性決定システム進化

○伊藤 道彦¹、回瀬 修治¹、中迫 啓¹、荻田 悠作¹、林 舜¹、藤谷 和子¹、田村 啓¹、高松 信彦¹ (1.北里大・院理・生物科学)

10:55 ~ 11:17

[3AW10-Discussion] Discussion

11:17 ~ 11:30

[3PW10] 「サイズ」で斬る分子細胞生物学

オーガナイザー:原 裕貴(山口大学)、オーガナイザー:山本 一男(長崎大学)

16:00 ~ 18:30 第10会場 (神戸ポートピアホテル 南館 地下1階 ルビー)

[3PW10-1] 細胞サイズを規定するエレメントを探して

○山本 一男¹ (1.長崎大・医・共同利用研究センター)

16:00 ~ 16:20

[3PW10-2] 葉の細胞・器官サイズを制御するメカニズム

○塚谷 裕一^{1,2} (1.東大・院理・生物科学、2.自然科学研究機構・統合バイオ)

16:20 ~ 16:40

[3PW10-3] 物理モデルから探るオルガネラの形とサイズ

○立川 正志¹ (1.理研)

16:40 ~ 17:00

[3PW10-4] 細胞サイズと力学特性

○水野 大介¹ (1.九州大学)

17:00 ~ 17:20

[3PW10-5] 細胞サイズの液滴界面での DNAゲルの自己組織化とミクロ相分離

○瀧ノ上 正浩¹ (1.東京工業大学)

17:20 ~ 17:40

[3PW10-6] 細胞骨格の in vitro再構成: システムサイズ依存性から見てきた自己組織化機構

○宮崎 牧人¹ (1.早大・物理)

17:40 ~ 18:00

[3PW10-7 (3P-0368)] 卵母細胞の大きな細胞質の意義

○京極 博久¹、北島 智也¹ (1.理研CDB)

18:00 ~ 18:20

[3PW10-Conclusion] Conclusion

○原 裕貴¹ (1.山口大学)

18:20 ~ 18:30

第15会場

[3AW15] 細胞死の多様性と死細胞からはじまる生体応答の解明

オーガナイザー:中野 裕康(東邦大学)、オーガナイザー:三浦 正幸(東京大学)

09:00 ~ 11:30 第15会場 (神戸国際会議場 3階 レセプションホール)

[3AW15-1] カスパーゼによる上皮形成安定化機構

○三浦 正幸¹ (1.東大・院薬・遺伝学)

09:00 ~ 09:25

[3AW15-2] ネクロプトーシスによる生体応答制御

○中野 裕康¹ (1.東邦大・医・生化学)

09:25 ~ 09:50

[3AW15-3] GPx4 欠損による脂質酸化依存的新規細胞死 (リボキシトーシス) とフェロトーシスの分子

メカニズム

○今井 浩孝¹ (1.北里大・院薬・衛生化学)

09:50 ~ 10:15

[3AW15-4] 酸化脂質による neutrophil extracellular trapの形成

○田中 正人¹、四元 聡志¹ (1.東京薬科大・生命)

10:15 ~ 10:40

[3AW15-5] JNKシグナルの細胞間伝播による創傷治癒制御

○井垣 達史¹ (1.京大・院生命・システム機能学)

10:40 ~ 11:05

[3AW15-6] ホスファチジルセリン受容体 Tim4による TAMレセプター依存的貪食の促進

○柳橋 祐一¹、瀬川 勝盛¹、長田 重一¹ (1.阪大・免フロ)

11:05 ~ 11:30

[3PW15] ゆらぎが担う器官発生のしくみ

オーガナイザー:高里 実(理化学研究所)、オーガナイザー:栗崎 晃(奈良先端科学技術大学院大学)

16:00 ~ 18:30 第15会場 (神戸国際会議場 3階 レセプションホール)

[3PW15-1] 1細胞トータル RNAシーケンス法は、発生生物学の「ゆらぎ」解析にパラダイムシフトをもたらすのか?

○林 哲太郎¹、尾崎 遼¹、笹川 洋平¹、團野 宏樹¹、梅田 茉奈¹、二階堂 愛¹ (1.理研・ACCC・パイオインフォマティクスU)

16:00 ~ 16:25

[3PW15-2] 多能性幹細胞培養時における染色体の「ゆらぎ」: iPS細胞における環状染色体の自己修復

○林 洋平¹ (1.筑波大学・医学医療系)

16:25 ~ 16:47

[3PW15-3] ダイナミックな不均一性制御を介したヒト多能性幹細胞の樹立・維持メカニズム

○中西 未央¹、Mickie Bhatia¹ (1.McMaster Univ.)

16:47 ~ 17:09

[3PW15-4] 均一な前駆細胞誘導に基づく不均一な3次元腎臓構造の形成

○西中村 隆一¹ (1.熊本大学 発生医学研究所)

17:09 ~ 17:37

[3PW15-5] 毛包幹細胞の起源と誘導機構

○藤原 裕展¹ (1.理研・CDB)

17:37 ~ 18:05

[3PW15-6] 胃組織の分化誘導と疾患モデルへの応用

○栗崎 晃¹ (1.奈良先端大・バイオ)

18:05 ~ 18:30

第16会場

[3AW16] DNA複製とエピゲノム複製

オーガナイザー:眞貝 洋一(理化学研究所)、オーガナイザー:小布施 力史(大阪大学)

09:00 ~ 11:30 第16会場 (神戸国際会議場 4階 401+402)

[3AW16-Introduction] Introduction

○眞貝 洋一¹ (1.理化学研究所)

09:00 ~ 09:03

[3AW16-1] DNA複製と PCNAダイナミクス

○釣本 敏樹^{1,2}、藤澤 遼²、大橋 英治^{1,2}、高橋 達郎^{1,2} (1.九大・理院・生物科学、2.九大・理府・システム生命)

09:03 ~ 09:24

[3AW16-2] マウス胚発生における de novo DNAメチル化酵素の機能と作用機序

○岡野 正樹¹、阪上 守人²、竹林 慎一郎³、大田 浩⁴、松岡 智沙⁵、山際 晶子⁵、亀井 康富⁶ (1.熊本大・発生研、2.株式会社ツーセル、3.三重大・院医、4.京都大・院医、5.理研・多細胞システム、6.京都府大・院生命環境科学)

09:24 ~ 09:45

[3AW16-3] ヒストンメチル化修飾による高次クロマチン形成の分子機構

○中山 潤一¹ (1.基生研)

09:45 ~ 10:06

[3AW16-4] 非ヒストンたんぱく質のリジンメチル化を介したエピゲノム複製の制御

○眞貝 洋一¹ (1.理化学研究所)

10:06 ~ 10:27

[3AW16-5] ヒストンメチル化酵素 G9aと複製開始複合体 ORCとの相互作用とその意義

大久保 義真¹、林 陽子¹、磯部 真也¹、長尾 恒治¹、木村 宏²、小布施 力史¹ (1.阪大・院理・生物科学、2.東工大・科技創研・細胞制御)

10:27 ~ 10:48

[3AW16-6] 多能性細胞における DNA複製とゲノム恒常性

○坪内 知美¹、上川 泰直¹ (1.基生研)

10:48 ~ 11:09

[3AW16-7] 単一細胞 DNA複製タイミング解析と三次元ゲノム構造動態について

○平谷 伊智朗¹ (1.理研・CDB)

11:09 ~ 11:30

[3PW16] 細胞核を造る – 染色体・細胞核の機能構造はどこまで分かったか？ –

オーガナイザー:原口 徳子(国立研究開発法人情報通信研究機構、未来ICT研究所)、オーガナイザー:胡桃坂 仁志(早稲田大学)
16:00 ~ 18:30 第16会場 (神戸国際会議場 4階 401+402)

[3PW16-Introduction] Introduction

○原口 徳子¹ (1.国立研究開発法人情報通信研究機構 未来ICT研究所)

16:00 ~ 16:08

[3PW16-1] 試験管内再構成ヌクレオソームを用いた転写因子 p53の機能解析

○有村 泰宏¹、西村 正宏¹、胡桃坂 仁志^{1,2} (1.早稲田大学・院・先進理工、2.早稲田大学・構造創薬研)

16:08 ~ 16:31

[3PW16-2] ヒストン翻訳後修飾はヌクレオソームの安定性を変える

○河野 秀俊¹ (1.量子科学技術研究開発機構・量子ビーム)

16:31 ~ 16:54

[3PW16-3] 新規ツメガエル卵抽出液で見いだされた胞胚特異的なクロマチン-核膜結合維持機構

○小田 春佳^{1,2}、加藤 さつき²、白井 菜月²、浦 菜緒子²、大隅 圭太²、岩渕 万里² (1.東工大・科学技術創成研究院、2.名大・院理・生命)

16:54 ~ 17:17

[3PW16-4] 人工ビーズを使ったヒト細胞内での人工核の構築

○原口 徳子^{1,2}、小林 昇平¹、Sukriye Bilir^{1,2}、荒神 尚子¹、小坂田 裕子¹、梶谷 知子^{1,3}、森 知栄¹、佐橋 律子¹、平岡 泰^{1,2} (1.情報通信研・未来ICT研、2.阪大・生命機能、3.日本女子大)

17:17 ~ 17:40

[3PW16-5] 計測再構成的アプローチによる哺乳動物受精卵核構築機序の理解

○山縣 一夫¹、鈴木 由華¹、Sukriye Bilir^{2,3}、小坂田 裕子³、小林 昇平³、平岡 泰^{2,3}、原口 徳子^{2,3} (1.近大・生物理工、2.阪大・生命機能、3.情報通信研究機構未来ICT研究所)

17:40 ~ 18:03

[3PW16-6] 核の細胞内配置を(数理モデルで)造る・(実験的に)操作する

○木村 暁^{1,2,3}、合田 真^{2,4} (1.遺伝研・細胞構築、2.Marine Biological Lab, USA、3.総研大・遺伝学、4.浜松医大)

18:03 ~ 18:26

[3PW16-Conclusion] Conclusion

○胡桃坂 仁志¹ (1.早稲田大学)

18:26 ~ 18:30

第17会場

[3AW17] 発生とがんのダイナミクスを明らかにするマルチオミックス

オーガナイザー:渡辺 亮(京都大学)、オーガナイザー:吉田 善紀(京都大学)
09:00 ~ 11:30 第17会場 (神戸国際会議場 5階 501)

[3AW17-1] ヒトナイーブ型多能性幹細胞と分化

○高島 康弘¹ (1.京大・CiRA)

09:00 ~ 09:30

[3AW17-2] 腎臓オルガノイド作成系を利用したヒト腎臓発生機構の1細胞トランスクリプトーム解析

Wei Zhao¹、○高里 実¹ (1.理研・多細胞システム)

09:30 ~ 10:00

[3AW17-3] オルガノイド技術を用いたヒト肝臓発生の理解と制御

○武部 貴則^{1,2} (1.横浜市立大学、2.シンシナティ小児病院)

10:00 ~ 10:30

[3AW17-4] ダウン症候群に合併する白血病の発症に関与するエピゲノム制御機構の破綻

○渡辺 亮¹ (1.京都大学・iPS細胞研究所)

10:30 ~ 11:00

[3AW17-5] 大腸がんの進化と腫瘍内不均一性

○新井田 厚司¹、三森 功士²、宮野 悟¹ (1.東京大学医科学研究所ヘルスインテリジェンスセンター、2.九州大学病院別府病院)

11:00 ~ 11:30

[3PW17] 小胞体からはじまる多彩なシグナルと包括的生命機能制御

オーガナイザー:齋藤 敦(広島大学)、オーガナイザー:村尾 直哉(宮崎大学)
16:00 ~ 18:30 第17会場 (神戸国際会議場 5階 501)

[3PW17-Introduction] Introduction

○齋藤 敦¹ (1.広島大学)

16:00 ~ 16:03

[3PW17-1] メダカ発生過程における小胞体ストレス応答生理的機能の解析

○石川 時郎¹、藤原-石川 智子²、亀井 保博³、藤堂 剛²、森 和俊¹ (1.京大・院理・生物物

理、2.阪大・院医・放射線基礎医学、3.基生研・光学解析室)

16:03 ~ 16:24

[3PW17-2] IRE1 α -XBP1経路を基軸とした骨代謝制御○東門田 誠一^{1,2} (1.尚絅学院大学人間科学、2.慶應義塾大学 抗加齢運動器学)

16:24 ~ 16:45

[3PW17-3] 小胞体ストレス応答因子 PERKによる代謝調節機構

○三宅 雅人¹、親泊 政一¹ (1.徳島大・酵素研・生体機能)

16:45 ~ 17:06

[3PW17-4] 記憶学習における小胞体品質管理機構の役割

○村尾 直哉¹、西頭 英起¹ (1.宮崎大・医・機能生化学)

17:06 ~ 17:27

[3PW17-5] 神経活動依存的な小胞体ストレス応答を介した樹状突起の伸長およびスパイン形成制御

○齋藤 敦¹、今泉 和則² (1.広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 ストレス分子動態学、2.広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 分子細胞情報学)

17:27 ~ 17:48

[3PW17-6] 網膜神経細胞死における小胞体ストレス応答の役割

○宝田 美佳¹、郡山 恵樹²、森 和俊³、堀 修¹ (1.金沢大・院医・神経解剖、2.鈴鹿医療科学大・院薬・神経薬理、3.京都大・院理・生物物理)

17:48 ~ 18:09

[3PW17-7] 小胞体・ミトコンドリア接触部位における syntaxin 17の多彩な生理機能

○新崎 恒平¹、多賀谷 光男¹ (1.東京薬大・生命)

18:09 ~ 18:30

第19会場

[3AW19] オートファジーの分子メカニズムと生理機能

オーガナイザー:山本 林(東京大学)、オーガナイザー:山野 晃史(京都医学総合研究所)

09:00 ~ 11:30 第19会場 (神戸国際会議場 5階 504+505)

[3AW19-1] オートファジー始動複合体の動的相互作用と分子集合形態の解析

○山本 林¹ (1.東大・院医・分子生物)

09:00 ~ 09:22

[3AW19-2] 長時間飢餓におけるオートファジー終結機構の解析

○吉良 新太郎¹、野口 雅史²、野田 健司^{1,2} (1.阪大・院歯・フロンティア、2.阪大・生命機能研

究科)

09:22 ~ 09:43

[3AW19-3] オートファゴソーム形成に伴うミトコンドリア分裂機構の解析

○山下 俊一¹、神吉 智丈¹ (1.新潟大・医・機能制御)

09:43 ~ 10:05

[3AW19-4] 選択的オートファジーを利用した強制脂肪滴分解システムの構築

○板倉 英祐¹、高山 かおり²、石井 俊介⁵、辰巳 嵩征^{3,4}、松浦 彰¹、塚本 智史⁴ (1.千葉大・院理・生物、2.千葉大・院融合・ナノバイオ、3.東医歯大・院医歯・生殖機能、4.放医研・実験動物、5.千葉大・理・生物)

10:05 ~ 10:26

[3AW19-5] 非小胞輸送型オートファジー

RNautophagy/DNautophagyの分子メカニズム

○株田 智弘¹ (1.精神神経セ・神経研・疾病四部)

10:26 ~ 10:48

[3AW19-6] 筋細胞の再構成時に見られるオートファジー依存的な管状リソソーム関連構造体

○藤田 尚信¹、村川 直柔¹、福田 光則¹ (1.東北大院・生命科学・膜輸送機構解析)

10:48 ~ 11:09

[3AW19-7] オートファジー関連遺伝子 *Atg2B* は初期発生に必要である坂井 俊介^{1,2}、○蔭山 俊¹、田村 直輝³、成田 一衛²、和栗 聡³、小松 雅明¹ (1.新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子生物学分野、2.新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎研究センター 腎・膠原病内科学分野、3.福島県立医科大学 医学部 解剖組織学講座)

11:09 ~ 11:30

第20会場

[3AW20] 知られざる p53の肖像画〜“ゲノムの守護神”にとどまらない p53の新機能〜

オーガナイザー:大木 理恵子(国立がん研究センター研究所)、オーガナイザー:Marco M Candeias(京都大学)

09:00 ~ 11:30 第20会場 (神戸国際展示場 2号館 2階 2A会議室)

[3AW20-Introduction] Introduction

○Marco Candeias¹ (1.京都大学)

09:00 ~ 09:03

[3AW20-1] Controlling p53 for therapy and prevention

○David Lane¹ (1.A*STAR Singapore)

09:03 ~ 09:43

- [3AW20-2 (3P-0890)] New functions of p53 mRNA and protein isoforms
 ○Marco Candeias^{1,2} (1.Molecular and RNA Cancer Unit, Graduate School of Medicine, Kyoto University, 2.Departamento de Genetica Humana, Instituto Nacional de Saude Dr. Ricardo Jorge, Portugal)
 09:43 ~ 10:09
- [3AW20-3] 変異型 p53発現による腫瘍腺管の異形成および浸潤性誘導を介した大腸がん悪性化
 ○大島 正伸¹、中山 瑞穂¹、坂井 絵梨¹ (1.金沢大・がん研・腫瘍遺伝学)
 10:09 ~ 10:35
- [3AW20-4] p53標的遺伝子 IER5は、新規 HSF1活性化因子であり、がんの進展に寄与する
 ○大木 理恵子¹ (1.国立がん研究センター研究所 基礎腫瘍学ユニット)
 10:35 ~ 11:01
- [3AW20-5] Therapeutic targeting of p53: all mutants are equal, but some mutants are more equal than others
 ○Kanaga Sabapathy^{1,2} (1.Division of Cellular & Molecular Research, Humphrey Oei Institute of Cancer Research, National Cancer Centre, Singapore, 2.Cancer and Stem Cell Biology Program, Duke-NUS Graduate Medical School, Singapore)
 11:01 ~ 11:27
- [3AW20-Conclusion] Conclusion
 ○大木 理恵子¹ (1.国立がん研究センター研究所)
 11:27 ~ 11:30

[3PW20] 「生老病死」の分子生物学

オーガナイザー:田中 知明(千葉大学)、オーガナイザー:須田 将吉(新潟大学)

16:00 ~ 18:30 第20会場 (神戸国際展示場 2号館 2階 2A会議室)

[3PW20-Introduction] Introduction

○須田 将吉¹ (1.新潟大学)

16:00 ~ 16:05

[3PW20-1] The potential of seno-therapy for age-associated disease

○須田 将吉¹、南野 徹¹ (1.新潟大学循環器内科)

16:05 ~ 16:25

[3PW20-2] エピゲノム変動による老化モデルとその分子機構

○早野 元詞^{1,2}、Elias Salfati¹、Abhirup Das⁴、John Apostolides³、Rajman Luis¹、Bonkowski Michael¹、Sachin Thakur¹、Neha Garg¹、Sarah Mitchell⁵、Andreas Pfenning³、Jae-Hyun Yang¹、Rafael deCabo⁵、Shelley Berger⁶、Philipp Oberdoerffer⁷、David Sinclair^{1,4} (1.ハーバード医科大学・遺伝学部門、2.慶應義塾大学・医・眼科学部門、3.カーネギーメロン大学、4.ニューサウスウェールズ大学、5.NIA・老科学、6.ペンシルベニア大学、7.NIH・がん研究センター)

16:25 ~ 16:45

[3PW20-3] 老化細胞分泌因子 (SASP) の分子生物学

○高橋 暁子¹ (1.(公財)がん研究会・がん研究所・細胞老化プロジェクト)

16:45 ~ 17:05

[3PW20-4] 細胞老化におけるエネルギー代謝制御機構の解明

○田中 宏¹、竹林 慎一郎^{1,2}、坂元 顕久¹、井形 朋香¹、斉藤 典子¹、日野 信次朗¹、中尾 光善¹ (1.熊本大学発生医学研究所細胞医学分野、2.三重大学大学院医学系研究科機能プロテオミクス講座)

17:05 ~ 17:25

[3PW20-5] ミトコンドリア呼吸鎖超複合体形成と筋肉、褐色脂肪ならびに糖代謝

○井上 聡^{1,2} (1.都健康長寿医療セ・研・老化制御、2.埼玉医大・ゲノム医学研究セ・遺伝子情報制御)

17:25 ~ 17:45

[3PW20-6] T細胞機能制御因子 GATA3の複合体解析から捉えた新たな多面的機能制御

○田中 知明¹ (1.千葉大・医・分子病態解析学)

17:45 ~ 18:05

[3PW20-7] 長鎖ノンコーディング RNAから翻訳される機能性ポリペプチド群の同定

○松本 有樹修¹、Pier Paolo Pandolfi²、中山 敬一¹ (1.九大・生医研・分医、2.ハーバード医科・BIDMC・遺伝)

18:05 ~ 18:25

[3PW20-Conclusion] Conclusion

○田中 知明¹ (1.千葉大学)

18:25 ~ 18:30

第21会場

[3AW21] 発生と再生を制御する組織・臓器の『血管化』

オーガナイザー:水谷 健一(神戸学院大学)、オーガナイザー:長谷川 潤(神戸薬科大学)

09:00 ~ 11:30 第21会場 (神戸国際展示場 2号館 2階 2B会議室)

[3AW21-Introduction] Introduction

○水谷 健一¹ (1.神戸学院大学)

09:00 ~ 09:05

[3AW21-1 (3LBA-127)] 発生期大脳皮質における規則的な血管網の構築は、神経幹細胞および前駆細胞の分化を調節する

○水谷 健一¹ (1.神戸学院大・院薬・幹細胞生物学)

09:05 ~ 09:28

[3AW21-2 (3LBA-128)] 哺乳類大脳皮質発生過程におけるアストロサイト前駆細胞の移動と血管化

○田畑 秀典¹ (1.愛知県心身障害者コロニー・発達障害研・神経制御)

09:28 ~ 09:51

[3AW21-3] iPS細胞からの血液脳関門の誘導

○山水 康平¹ (1.京大・iPS研)

09:51 ~ 10:14

[3AW21-4 (3LBA-082)] 組織の老化に伴う血管新生とその制御

○長谷川 潤¹ (1.神戸薬科大学)

10:14 ~ 10:37

[3AW21-5 (3LBA-081)] 血管に構造・機能的な多様性を生み出すアンジオクラインファクター

○木戸屋 浩康¹、林 弓美子¹、村松 史隆¹、高倉 伸幸¹ (1.阪大・微生物・情報伝達分野)

10:37 ~ 11:00

[3AW21-6] 中枢神経回路の修復における末梢臓器由来のホルモンの役割

○村松 里衣子¹、山下 俊英¹ (1.阪大・院医・分子神経科学)

11:00 ~ 11:23

[3AW21-Discussion] Discussion

11:23 ~ 11:28

[3AW21-Conclusion] Conclusion

○長谷川 潤¹ (1.神戸薬科大学)

11:28 ~ 11:30

[3PW21] 環境因子による生体影響 アレルギーなのか化学炎症なのか！？

オーガナイザー:三村 達哉(帝京大学)、オーガナイザー:市瀬 孝道(大分県立看護科学大学)

16:00 ~ 18:30 第21会場 (神戸国際展示場 2号館 2階 2B会議室)

[3PW21-Introduction] Introduction

○市瀬 孝道¹ (1.大分県立看護科学大学)

16:00 ~ 16:05

[3PW21-1] PM2.5による肺の炎症誘導とアレルギー炎症増悪作用

○市瀬 孝道¹ (1.大分看科大・看護学部・人間科学・生体反応学)

16:05 ~ 16:25

[3PW21-2] 最近の北九州地域の大气汚染物質濃度の特徴

○嵐谷 奎一¹ (1.産業医科大学産業保健学)

16:25 ~ 16:40

[3PW21-3] 浮遊粒子状物質の呼吸器疾患悪化作用

○本田 晶子¹、高野 裕久¹ (1.京大・院工・都市環境工学)

16:40 ~ 16:55

[3PW21-4] 環境汚染とアレルギー

○高野 裕久¹ (1.京大・院工・環境衛生学)

16:55 ~ 17:15

[3PW21-5] 大気粉塵が示す細胞レベルでの毒性影響と構成成分の関与

○伊藤 智彦¹、市瀬 孝道² (1.国環研、2.大分看護大)

17:15 ~ 17:30

[3PW21-6] 好中球によるエンドサイトーシスとサイトカイン産生は TLR4とダイナミンを介して行われる

○吉田 安宏¹、三宅 伸完¹、Wang Duo¹、森田 健太郎¹ (1.産業医科大学・免疫学・寄生虫学)

17:30 ~ 17:45

[3PW21-7] 粒子状物質による気道アレルギーの相加相乗的悪化

○井上 健一郎¹ (1.静岡県立大学看護学部)

17:45 ~ 18:00

[3PW21-8] 環境汚染物質が眼アレルギー・炎症に及ぼす影響

○三村 達哉¹ (1.帝京大・医学部・眼科)

18:00 ~ 18:15

[3PW21-Discussion] Discussion

18:15 ~ 18:25

[3PW21-Conclusion] Conclusion

○三村 達哉¹ (1.帝京大学)

18:25 ~ 18:30

第22会場

[3PW22] 全能性獲得と消失の分子機構の理解に向けて

オーガナイザー:中村 肇伸(長浜バイオ大学)、オーガナイザー:青木 不学(東京大学)

16:00 ~ 18:30 第22会場 (神戸国際展示場 2号館 3階 3A会議室)

[3PW22-Introduction] Introduction

○中村 肇伸¹ (1.長浜バイオ大学)

16:00 ~ 16:06

[3PW22-1] 1細胞期胚の雌雄前核におけるヒストン

H3変異体の非対称的局在について

○青木 不学¹、河村 真愛¹ (1.東大・院新領域・先端生命)

16:06 ~ 16:29

[3PW22-2] 全能性細胞で特異的に発現する遺伝子群の機能解析

○中村 肇伸^{1,2} (1.長浜バイオ大学、2.AMED-CREST)

16:29 ~ 16:52

[3PW22-3] マウス始原生殖細胞の発生分化における代謝特性変換の制御機構の解析

○林 陽平^{1,2,3}、大塚 慧¹、蝦名 真行^{4,5}、五十嵐 香織⁶、竹原 雅子花¹、松本 光代^{4,7}、金井 昭夫⁶、五十嵐 和彦^{3,4,7}、曾我 朋義^{3,6}、松居 靖久^{1,2,3,7} (1.東北大・加齢研、2.東北大・院・生命科学、3.AMED-CREST、4.東北大・院医、5.東北大・T

oMMo、6.慶大・先端生命研、7.東北大・CRED)

16:52 ~ 17:15

[3PW22-4] BMPとレチノイン酸は協調してマウス生殖細胞の雌性決定を行う

○宮内 英孝^{1,2}、大田 浩^{1,2}、斎藤 通紀^{1,2,3,4} (1.京大・医・機能微細形態学、2.JST・ERATO、3.京大・iCeMS、4.京大・CiRA)

17:15 ~ 17:38

[3PW22-5] 体細胞クローン胚の DNAメチローム解析によって見える全能性獲得過程とその異常

○的場 章悟^{1,2}、Li Shen^{2,3}、小倉 淳郎¹、Yi Zhang² (1.理研・BRC、2.米国・ハーバード大・医学、3.中国・浙江大)

17:38 ~ 18:01

[3PW22-6] マニピはピペットより強し

○若山 清香¹ (1.梨大・発生工学センター)

18:01 ~ 18:24

[3PW22-Conclusion] Conclusion

○青木 不学¹ (1.東京大学)

18:24 ~ 18:30

第23会場

[3AW23] 疾患関連分子の認識技術の革新

オーガナイザー:坂野 大介(東京工業大学)、オーガナイザー:門之園 哲哉(東京工業大学)

09:00 ~ 11:30 第23会場 (神戸国際展示場 2号館 3階 3B会議室)

[3AW23-Introduction] Introduction

○門之園 哲哉¹ (1.東京工業大学)

09:00 ~ 09:05

[3AW23-1] がんのエネルギー代謝を標的とする化合物の探索

○竹内 倫文¹ (1.微化研)

09:05 ~ 09:25

[3AW23-2] Pathway-oriented screening法による癌細胞の代謝制御化合物の探索

○小松 徹¹、柳 光一¹、荻原 洲介¹、小島 宏建³、岡部 隆義³、長野 哲雄³、浦野 泰照^{1,2,4} (1.東大院薬、2.東大院医、3.東京大学創薬機構、4.AMED-CREST)

09:25 ~ 09:45

[3AW23-3] mRNA構造のダイナミクスを考慮した疾患関連遺伝子の発現制御技術の構築

○遠藤 玉樹¹、杉本 直己^{1,2} (1.甲南大・FIBER、2.甲南大・FIRST)

09:45 ~ 10:05

[3AW23-4] 核酸-タンパク質間相互作用解析のためのケミカルアプローチ

○田良島 典子¹、南川 典昭¹ (1.徳島大学大学院 薬科学教育部)

10:05 ~ 10:25

[3AW23-5] 人工合成系を活用して擬天然物を創製する

○後藤 佑樹¹ (1.東大・院理・化学)

10:25 ~ 10:45

[3AW23-6] ミトコンドリア代謝変化による造血幹細胞の活性化制御機構

○梅本 晃正¹、橋本 倫拓¹、須田 年生^{1,2} (1.熊本大・国際先端医学研究機構、2.シンガポール国立大・がん研究所)

10:45 ~ 11:05

[3AW23-7] モノアミンシグナルによる膵β細胞の分化・増殖制御

○坂野 大介¹、豊田 悠暉¹、荒木 菜¹、白木 伸明¹、桑

昭苑¹ (1.東工大・生命理工)

11:05 ~ 11:25

[3AW23-Conclusion] Conclusion

○坂野 大介¹ (1.東京工業大学)

11:25 ~ 11:30

[3PW23] リピート病における神経変性の分子機構解明を目指して

オーガナイザー:塩田 倫史(岐阜薬科大学)、オーガナイザー:今野 歩(群馬大学)

16:00 ~ 18:30 第23会場 (神戸国際展示場 2号館 3階 3B会議室)

[3PW23-1] オーバービュー: リピート病の病態と不安定性メカニズム

○松浦 徹¹ (1.自治医大・医・神経内科学)

16:00 ~ 16:20

[3PW23-2] リピート病におけるリピート伸長機構解明とその制御による治療法開発

○中森 雅之¹、中谷 和彦²、望月 秀樹¹ (1.阪大・院医・神経内科学、2.阪大・産研・精密制御化学)

16:20 ~ 16:45

[3PW23-3] アデノ随伴ウイルスによる遺伝子導入を介したリピート病モデル動物の作出と治療法の開発

○今野 歩¹、渡邊 将¹、星野 千秋¹、篠原 洋一郎¹、松崎 泰教¹、平井 宏和¹ (1.群馬大・医・脳神経再生医学)

16:45 ~ 17:10

[3PW23-4] マイクロサテライト・リピート伸長病における Repeat-associated non-ATG

translation (RANT) を介した分子病態

○塚越 設貴¹、平柳 公利¹、古田 夏海¹、池田 佳生¹ (1.群馬大・医学系研究科・脳神経内科学)

17:10 ~ 17:25

[3PW23-5] 脆弱 X関連振戦/失調症候群 (FXTAS) における RANタンパク質 FMRpolyGの産生と病態との関与

○塩田 倫史¹、中山 祐二²、足立 香織²、久郷 裕之^{3,4}、難波 栄二² (1.岐阜薬大・分子生物、2.鳥大・生命機能セ・遺伝子探索、3.鳥大・院医・遺伝子機能工学、4.鳥大・染色体工学セ)

17:25 ~ 17:50

[3PW23-6] 脊髄小脳失調症 3 1 型 (SCA31)の病態

○石川 欽也¹ (1.東京医科歯科大・医病・長寿健康人生推進センター)

17:50 ~ 18:30

第24会場

[3AW24] 神経変性疾患への分子生物学的アプローチ
オーガナイザー:石田 直理雄(国際科学振興財団 時間生物学研究所)
09:00 ~ 11:30 第24会場 (神戸商工会議所 3階 神商ホールA)

[3AW24-1] パーキンソン病原因遺伝子 Vps35はシナプス小胞再生関連遺伝子と協働して神経伝達を制御する

○井下 強^{1,2}、荒野 拓³、穂坂 有加¹、孟 紅蕊⁴、梅崎 勇次郎⁴、小杉 紀紗子⁵、森本 高子⁵、小池 正人⁶、Hui-Yun Chang⁷、今居 讓²、服部 信孝^{1,2} (1.順天堂大・医・神経学、2.順天堂大・医・パーキンソン病、3.順天堂大・医・ゲノム、4.順天堂大・医・老研、5.東京薬大・細胞神経、6.順天堂大・医・細胞神経生物、7.Dept. of Med. Sci., Nat. Tsing Hua Univ.)

09:00 ~ 09:29

[3AW24-2] 遺伝子改変とαシヌクレイン接種による新規パーキンソン病モデルマウスの開発

○上村 紀仁¹、生野 真嗣¹、山門 穂高¹、高橋 良輔¹ (1.京大・院医・臨床神経)

09:29 ~ 09:58

[3AW24-3] Glucocerebrosidase (GBA) 遺伝子変異によるパーキンソン病の発症メカニズム

○永井 義隆¹、鈴木 マリ¹ (1.阪大・院医・神経難病治療学)

09:58 ~ 10:27

[3AW24-4] ゴーシェ病モデルショウジョウバエを用いた分子生物学

○石田 直理雄^{1,2,3}、川崎 陽久¹、鈴木 孝洋^{1,3}、高原 翼^{2,3} (1.国際科学振興財団 時間生物学研究所、2.産総研 T I A N P F、3.生命環境 筑波大学)

10:27 ~ 10:56

[3AW24-5] ライソゾーム病に対する薬理シャペロン療法

○檜垣 克美¹ (1.鳥取大・生命機能・遺伝子探索)

10:56 ~ 11:25

[3AW24-Conclusion] Conclusion

○石田 直理雄¹ (1.国際科学振興財団 時間生物学研究所)

11:25 ~ 11:30

[3PW24] 脂質と糖との間の隠れていたクロストーク
オーガナイザー:花田 賢太郎(国立感染症研究所)、オーガナイザー:島野 仁(筑波大学)

16:00 ~ 18:30 第24会場 (神戸商工会議所 3階 神商ホールA)

[3PW24-Introduction] Introduction

○花田 賢太郎¹ (1.国立感染症研究所)

16:00 ~ 16:05

[3PW24-1] 糖・脂質代謝をつなぐ転写因子の活性化機構

○佐藤 隆一郎¹ (1.東大・院農学生命科学・応用生命化学)

16:05 ~ 16:30

[3PW24-2] 脂質代謝物によるプリン作動性化学伝達の制御とその応用

○宮地 孝明¹ (1.岡大・自然生命セ)

16:30 ~ 16:47

[3PW24-3] CRISPRライブラリーを用いた糖脂質生合成に影響を及ぼす因子の探索

○山地 俊一¹、関塚 剛史²、佐久間 智理¹、立田 由里子¹、黒田 誠²、花田 賢太郎¹ (1.感染研・細胞化学、2.感染研・病原体ゲノム)

16:47 ~ 17:04

[3PW24-4] ガングリオシドの糖鎖・アシル鎖構造に基づく新たな慢性炎症メカニズム

○狩野 裕考¹、井ノ口 仁一¹ (1.東北医科薬科大・分生研・機能病態分子学)

17:04 ~ 17:21

[3PW24-5] 脂肪酸身長酵素 Elovl6 を介した脂質による糖代謝・インスリン感受性制御

○松坂 賢¹、島野 仁¹ (1.筑波大・医学医療系・内分泌代謝・糖尿病内科)

17:21 ~ 17:38

[3PW24-6] レクチン受容体による内因性糖脂質の認識とその意義

○山崎 晶¹ (1.大阪大学微生物病研究所 分子免疫制御分野)

17:38 ~ 18:03

[3PW24-7] 脂質と糖との間の隠れていたクロストーク

○平林 義雄¹ (1.理研・脳科学・神経膜)

18:03 ~ 18:30

第27会場

[3AW27] 脂質膜が活躍する生命現象を探究する

オーガナイザー:藤本 豊土(名古屋大学)、オーガナイザー:田口 友彦(東京大学)

09:00 ~ 11:30 第27会場 (神戸商工会議所 3階 第3会議室)

[3AW27-1] 1分子観察で明らかになったガングリオシドクラスター形成とその EGF 受容体活性制御機構

○鈴木 健一¹ (1.岐阜大・生命鎖センター)

09:00 ~ 09:25

[3AW27-2] 局所パルミトイル化サイクルによるシナプス・ナノドメイン構築

○深田 正紀¹ (1.生理研・生体膜)

09:25 ~ 09:50

[3AW27-3] BARドメインタンパク質の超解像解析

○末次 志郎¹ (1.奈良先端大・バイオ)

09:50 ~ 10:15

[3AW27-4] ミトコンドリア内リン脂質輸送と生合成

○久下 理¹、宮田 暖¹ (1.九大・院理・化学)

10:15 ~ 10:40

[3AW27-5] オートファゴソームへの膜脂質供給機構の解析

○小笠原 裕太¹、内田 岬希¹、杉本 拓也¹、藤本 豊土¹ (1.名古屋大・院医)

10:40 ~ 11:05

[3AW27-6] 周辺ビオチン化酵素を用いたリン脂質近傍タンパク質の新規同定法

○田口 友彦¹、新井 洋由² (1.東大・院薬・疾患細胞生物、2.東大・院薬・衛生化学)

11:05 ~ 11:30

[3PW27] 古くて新しい脂溶性ビタミンの科学

オーガナイザー:上田 夏生(香川大学)、オーガナイザー:松浦 達也(鳥取大学)

16:00 ~ 18:30 第27会場 (神戸商工会議所 3階 第3会議室)

[3PW27-Introduction] Introduction

○上田 夏生¹ (1.香川大学)

16:00 ~ 16:03

[3PW27-1] ビタミン A 代謝酵素とレチノイド結合タンパク質によって制御されるビタミン A 恒常性維持機構

○目崎 喜弘¹ (1.慈恵医大・医・臨床検査医学)

16:03 ~ 16:27

[3PW27-2] 脂溶性バイオファクターである *N*-アシルエタノールアミンの生合成機構

○宇山 徹¹、坪井 一人²、上田 夏生¹ (1.香川大・医・生化学、2.川崎医大・薬理学)

16:27 ~ 16:51

[3PW27-3] ビタミン D の肝臓における免疫・炎症調節作用

○梅田 (遠藤) 香織¹、梅田 直¹、中島 弘幸²、関修司²、榎島 誠¹ (1.日大・医・生化学、2.防衛医大・免疫微生物学)

16:51 ~ 17:15

[3PW27-4] 必須脂肪酸欠乏における脂肪酸代謝の新規制御機構

○市 育代¹ (1.お茶大・基幹研究院)

17:15 ~ 17:39

[3PW27-5] 抗酸化能だけではないビタミン E の効果 ~ トコトリエノールのシグナル伝達を介した神経細胞保護機序 ~

○中曽 一裕¹、松浦 達也¹ (1.鳥取大学医学部統合分子医化学)

17:39 ~ 18:03

[3PW27-6] ビタミン Kの生体内変換機構とその意義

○中川 公恵¹ (1.神戸薬大・薬・衛生化学)

18:03 ~ 18:27

[3PW27-Conclusion] Conclusion

○松浦 達也¹ (1.鳥取大学)

18:27 ~ 18:30



2017年12月9日(土)

第2会場

[4AW02] 加齢関連疾患の発症と治療に関わる

DNA損傷と細胞老化

オーガナイザー:吉岡 研一(国立がん研究センター)、オーガナイザー:日高 真純(福岡歯科大学)

09:00 ~ 11:30 第2会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 階楽2)

[4AW02-Introduction] Introduction

○吉岡 研一¹ (1.国立がん研究センター)

09:00 ~ 09:03

[4AW02-1] DNA複製ストレスに起因したマイクロサテライト不安定性と高変異の誘導機構

○吉岡 研一¹ (1.国立がん研究センター 発がん・予防研究分野)

09:03 ~ 09:27

[4AW02-2] ゲノムの安定化と不安定化をもたらす損傷乗り越え DNA複製の制御機構の解析

○益谷 央豪¹、金尾 梨絵¹、松尾(楠本) 理加¹、増田 雄司^{1,2} (1.名大・環医研・ゲノム動態制御、2.名大・院医)

09:27 ~ 09:51

[4AW02-3] DSB修復に関わる新規 Ubiquitin E3-ligaseの機能解析

岡田 麻衣子¹、敦賀 智子²、扇屋 りん³、○宇井 彩子¹ (1.東京工科大学、2.聖マリアンナ医科大学、3.東海大学)

09:51 ~ 10:15

[4AW02-4] microRNA生合成に関わる RNA結合タンパク DGCR8の DNA修復における役割

○谷口 俊恭¹ (1.東海大・医・分子生命科学)

10:15 ~ 10:39

[4AW02-5] 発がん抑制と治療に関わるミスマッチ修復依存の細胞死誘導機構

○日高 真純¹、藤兼 亮輔¹、武石 幸容²、力武 美保子^{1,3}、高橋 達郎⁴、尾崎 正雄³、関口 睦夫² (1.福岡大・細胞分子生物学、2.福岡大・先端科学研究センター、3.福岡大・成長発達歯学、4.九大・院理)

10:39 ~ 11:03

[4AW02-6] ヒストン H3K36メチル化酵素 NSD2欠損によるB細胞分化異常

○浦 聖恵¹ (1.千葉大・院理・生物学科)

11:03 ~ 11:27

[4AW02-Discussion] Discussion

11:27 ~ 11:30

第3会場

[4AW03] ライフサイエンスおよび創薬プロセスを支える共用基盤施設

オーガナイザー:湯本 史明(高エネルギー加速器研究機構)、オーガナイザー:西村 善文(横浜市立大学)

09:00 ~ 11:30 第3会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 階楽3)

[4AW03-1] 創薬等ライフサイエンス研究のための関連構造解析プラットフォーム

○山本 雅真¹ (1.理研Spring-8センター)

09:00 ~ 09:30

[4AW03-2] タンパク質 X線溶液散乱を活用した関連構造解析

○清水 伸隆¹ (1.高エネ機構・物構研・放射光)

09:30 ~ 10:00

[4AW03-3] NMR構造解析の特徴と共用支援例の紹介

○西村 善文¹ (1.横浜市立大学)

10:00 ~ 10:30

[4AW03-4] Cryo-EM 2.0 - present and future

○Christoph Gerle¹ (1.IPR, Osaka Univ.)

10:30 ~ 11:00

[4AW03-5] ライフサイエンス研究成果の実用化へ向けた活性化合物の探索支援

○小島 宏建¹ (1.東大・創薬機構)

11:00 ~ 11:30

第5会場

[4PW05] 疾患バイオマーカー研究の新潮流

オーガナイザー:越川 直彦(神奈川県立がんセンター臨床研究所)、オーガナイザー:神沼 修(山梨大学)

13:30 ~ 16:00 第5会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 菊水)

[4PW05-Introduction] Introduction

○越川 直彦¹ (1.神奈川県立がんセンター臨床研究所)

13:30 ~ 13:33

[4PW05-1] 膿疱性乾癬のバイオマーカーと治療標的

○杉浦 一充¹ (1.藤田保健衛生大学 医学部 皮膚科学)

13:33 ~ 13:57

[4PW05-2] Adaptive Boostingアルゴリズムによる免疫療法に対する有効性診断法の開発

○神沼 修¹ (1.山梨大・総分実セ)

13:57 ~ 14:21

[4PW05-3] 成人T細胞白血病(ATL)の新たなバイオ

マーカー: TNF受容体スーパーファミリー分子
OX40

○藤猪 英樹^{1,2}、高橋 良明¹、田中 礼子¹、福島 卓也³、田中 勇悦¹ (1.琉大・院医・免疫学、2.徳大・院医歯薬学・口腔微生物、3.琉大・医保健・血液)

14:21 ~ 14:45

[4PW05-4] 新たな肝細胞がんの早期診断法の開発

○越川 直彦¹ (1.神奈川県がん・研)

14:45 ~ 15:09

[4PW05-5] 中枢神経原発悪性リンパ腫診断治療におけるバイオマーカー

○三島 一彦¹ (1.埼玉医科大学国際医療センター)

15:09 ~ 15:33

[4PW05-6] 歯周病抗体価で脳梗塞患者の転帰を予測しえる?

○細見 直永¹ (1.広大・院医・脳神経内科学)

15:33 ~ 15:57

[4PW05-Conclusion] Conclusion

○神沼 修¹ (1.山梨大学)

15:57 ~ 16:00

第6会場

[4AW06] 多様な臓器再生機構の解明~肝臓を対象とした基礎・臨床からのアプローチ

オーガナイザー:谷水 直樹(札幌医科大学)、オーガナイザー:伊藤 暢(東京大学)

09:00 ~ 11:30 第6会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 北野)

[4AW06-Introduction] Introduction

○伊藤 暢¹ (1.東京大学)

09:00 ~ 09:06

[4AW06-1] 成熟肝細胞のリプログラミング技術の開発と再生医療および肝臓研究への応用

○勝田 毅¹、保坂 和徳^{1,2}、松崎 潤太郎¹、落谷 孝広¹ (1.国立がんセンター・研究所・分子細胞治療研究分野、2.新潟大・院医歯・消化器内科)

09:06 ~ 09:30

[4AW06-2] 肝臓の上皮細胞の分化可塑性の制御機構

○谷水 直樹¹、三高 俊広¹ (1.札幌大・フロンティア医研・組織再生)

09:30 ~ 09:54

[4AW06-3] 成熟肝細胞の分化可塑性を基盤とした肝細胞由来の肝腫瘍の多様性

○山本 雅大¹、辛 氷¹、渡邊 賢二¹、後藤 正憲¹、大塩 貴子¹、劉 洋¹、岡田 陽子¹、西川 祐司¹ (1.旭川医科大学病理学講座腫瘍病理分野)

09:54 ~ 10:18

[4AW06-4] 肝臓の再生の基盤となる上皮系組織の構造的・機能的可塑性

○伊藤 暢¹ (1.東大・分生研・発生再生)

10:18 ~ 10:42

[4AW06-5] 肝硬変症に対する自己骨髄細胞を用いた再生療法の開発

○高見 太郎¹、坂井田 功¹ (1.山口大学 大学院医学系研究科 消化器内科学)

10:42 ~ 11:06

[4AW06-6] 脂肪肝再生過程における細胞死誘導の仕組み

○井上 啓¹、稲葉 有香¹ (1.金沢大・新学術創成研究機構)

11:06 ~ 11:30

第7会場

[4AW07] 環境変化とそれに応答する細胞内変化の再発見

オーガナイザー:木村 洋子(静岡大学)、オーガナイザー:白土 明子(金沢大学)

09:00 ~ 11:30 第7会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 布引)

[4AW07-Introduction] Introduction

○木村 洋子¹ (1.静岡大学)

09:00 ~ 09:05

[4AW07-1] 持続的な熱ストレスに応答する酵母の液胞の形態変化

○木村 洋子¹ (1.静大・院・農学)

09:05 ~ 09:26

[4AW07-2] 磁性細菌の磁気感應運動のための細胞内磁気センサー「マグネトソーム」と MamK細胞骨格

○田岡 東^{1,2} (1.金沢大・理工・自然システム、2.金沢大・理工・バイオAFM)

09:26 ~ 09:51

[4AW07-3] 細胞膜損傷は分裂寿命を短縮する

○河野 恵子¹、西村 耕太郎¹、城村 由和²、森山 陽介³、佐藤 良勝⁴、東山 哲也⁴、中西 真² (1.名古屋市・院医、2.東大・医科研、3.藤田保健衛生大・医、4.名大・ITbM)

09:51 ~ 10:16

[4AW07-4] 植物の Actin-myosin XI細胞骨格依存的なストレーティング機構

○西村 いくこ¹、上田 晴子¹ (1.甲南大・理工)

10:16 ~ 10:41

[4AW07-5] 大腸菌二成分制御系による宿主感染と傷害の調節

○白土 明子¹ (1.金沢大院・医薬保健)

10:41 ~ 11:02

[4AW07-6] 細胞ストレスとしてのウイルス感染と抗ウイルス免疫応答の誘導

呉 成旭^{1,2}、尾野本 浩司³、脇本 舞^{1,2}、小野口 和英⁴、石館 文善^{5,6}、藤原 敬宏⁶、米山 光俊³、加藤 博己^{1,2}、○藤田 尚志^{1,2} (1.京大・ウイルス再生研・分子遺伝、2.京大・院生命科学・細胞情報動態、3.千葉大・真菌セ・分子免疫、4.Dep. Microbiol. Immunol., UCSF、5.カールツアイス ミクロイメージング社、6.京大・iCeMS)

11:02 ~ 11:27

[4AW07-Conclusion] Conclusion

○白土 明子¹ (1.金沢大学)

11:27 ~ 11:30

[4PW07] 多角的解析からみえてくる GTPの新たな機能と人疾患への治療戦略

オーガナイザー:佐々木 敦朗(シンシナティ大学)、オーガナイザー:竹内 恒(産業技術総合研究所)

13:30 ~ 16:00 第7会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 布引)

[4PW07-1] GTPの知られざる魅力 其の参 - 生命の起源から疾患治療へ

○佐々木 敦朗¹ (1.シンシナティ大・医学部)

13:30 ~ 13:44

[4PW07-2] 時系列マルチオミクス解析による GTP代謝とがん化をつなぐ制御メカニズムの解明

○河口 理紗¹、デホーン ミヒル³、池田 幸樹²、小藤 智史²、平山 明由⁴、森 大⁴、曾我 朋義⁴、竹内 恒⁵、千田 俊哉⁶、佐々木 敦朗²、木立 尚孝⁷ (1.産総研・人工知能研究センター、2.シンシナティ大・医学部、3.理研・ライフサイエンス技術基盤研究センター、4.慶應大・先端生命科学研究所、5.産総研・創薬プロファイリング研究センター、6.高エネ研・物質構造科学研究所、7.東大・新領域)

13:44 ~ 13:58

[4PW07-3] ホスファチジルイノシトール5-リン酸4-

キナーゼ(PI5P4K)遺伝子ファミリーの分子進化

○中川 草¹ (1.東海大・医・分子生命)

13:58 ~ 14:12

[4PW07-4] 細胞内 GTPセンサーを標的とした新規抗がん戦

略と阻害剤の探索

○竹内 恒¹ (1.産総研・創薬分子)

14:12 ~ 14:22

[4PW07-5] 小細胞肺がんにおける代謝を指標としたバイオマーカー開発

○梅村 茂樹¹ (1.国立がん研究センター東病院・呼吸器内科)

14:22 ~ 14:36

[4PW07-6] ホスホイノシタイド代謝ネットワークにおける GTPセンサー PI5P4Kの役割

○松浦 徹¹ (1.シンシナティ大学・院医・生理学)

14:36 ~ 14:50

[4PW07-7] GTP結合タンパク質 PIP 4 Kβによって制御される、PI(5)Pの標的タンパク質の網羅的探索系の構築

○高橋 宏隆¹、壽美田 一貴²、河口 理紗^{2,3}、小藤 智史^{2,4}、笠原 亜希子⁵、井上 竜也⁵、櫻井 秀敬⁵、和田 直也⁵、久保田 一石⁵、佐々木 敦朗²、澤崎 達也¹ (1.愛媛大・PROS、2.シンシナティ大・医学部・癌研究所、3.産業技術総合研究所 人工知能研究センター、4.広島大・院医歯薬保健学、5.第一三共R Dノバーレ株式会社 創薬基盤研究部)

14:50 ~ 15:04

[4PW07-8] グリオブラストーマにおける同化的増殖のための GTP代謝変換

○小藤 智史^{1,2}、佐々木 敦朗² (1.広大・院・医歯薬保健学、2.Univ. of Cincinnati, College of Med.)

15:04 ~ 15:18

[4PW07-9] 個々の酵母細胞内での ATP動態を可視化する。高稲 正勝¹、今村 博臣²、○吉田 知史³ (1.群大・未来先端、2.京大・生命科学、3.群大・未来先端)

15:18 ~ 15:32

[4PW07-10] 細胞内 GTP定量センサーの開発

岡 芳樹¹、林 勇樹¹、○新井 宗仁¹ (1.東大・院総文・生命環境)

15:32 ~ 15:46

[4PW07-11] GTPセンサー発見における X線結晶構造解析の役割

○千田 俊哉¹ (1.高エネ機構・物構研・構造生物)

15:46 ~ 16:00

第8会場

[4AW08] 食欲・食嗜好の分子・神経基盤

オーガナイザー:佐々木 努(群馬大学)、オーガナイザー:箕越 靖彦(生理学研究所)

09:00 ~ 11:30 第8会場 (神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 生

田)

[4AW08-1] 視床下部摂食中枢神経による味覚感受性の制御

○中島 健一朗^{1,2}、傅 欧¹、岩井 優¹、三坂 巧¹(1.東京大学大学院 農学生命科学研究科、2.生理学
研究所 生殖・内分泌系発達機構研究部門)

09:00 ~ 09:25

[4AW08-2] 匂いが食のモチベーションを誘導する神経回路
機構○山口 正洋¹ (1.高知大・医・生理学)

09:25 ~ 09:50

[4AW08-3] 食物のおいしさの調節への消化管ホルモンの作
用○八十島 安伸¹ (1.大阪大・院人間科学・行動生理)

09:50 ~ 10:15

[4AW08-4] 脳 SIRT1による栄養素に基づいた食選択行動の
制御メカニズム○佐々木 努¹、松居 翔¹、河野 大輔¹、北村 忠弘¹

(1.群馬大 生調研・代謝シグナル)

10:15 ~ 10:40

[4AW08-5] 視床下部 AMPKは炭水化物嗜好性を制御する

○岡本 士毅¹、箕越 靖彦²、益崎 裕章¹ (1.琉大・院
医・内分泌代謝・血液・膠原病内科学、2.生理研・生
体機能調節・生殖・内分泌)

10:40 ~ 11:05

[4AW08-6] ニューロペプチド Yによる熱産生抑制と摂食亢
進の神経メカニズム○中村 佳子¹、柳川 右千夫²、Shaun Morrison³、中
村 和弘^{1,4} (1.名大・院医・統合生理、2.群大・院
医・遺伝発達行動学、3.オレゴン健康科学大・神経外
科、4.JST・さががけ)

11:05 ~ 11:30

第9会場

[4AW09] 分子共生ー RNAタンパク質相互作用による
機能創発オーガナイザー:廣瀬 哲郎(北海道大学)、オーガナイザー:中川 真一
(北海道大学)09:00 ~ 11:30 第9会場 (神戸ポートピアホテル 南館 地下1階 ト
パース)

[4AW09-Introduction] Introduction

○中川 真一¹ (1.北海道大学)

09:00 ~ 09:03

[4AW09-2] ノンコーディング RNAによる細胞内構造構築機
構○廣瀬 哲郎¹ (1.北大・遺制研)

09:03 ~ 09:25

[4AW09-3] microRNAが入っていないアルゴノートは

Irukaiによって選択的にユビキチン化される

小林 穂高¹、根岸 瑠美¹、○泊 幸秀^{1,2} (1.東大・分生
研、2.東大・新領域)

09:25 ~ 09:47

[4AW09-4] CRISPR-Cas9の構造、ダイナミクス、機能改変

○西増 弘志¹、濡木 理¹ (1.東大・院理・生物科学)

09:47 ~ 10:09

[4AW09-5] Noncoding RNA NORAD regulates genomic
stability through PUMILIO sequestration○Joshua Mendell^{1,2} (1.Dept. Mol. Biol., UT
Southwestern Med. Center、2.Howard Hughes
Medical Institute)

10:09 ~ 10:44

[4AW09-6] An endoribonuclease Regnase-1 controls
immune and iron homeostasis○竹内 理¹ (1.京大・ウイルス・再生研)

10:44 ~ 11:06

[4AW09-7] Identification of novel functional lncRNA
candidates using differential sensitivities
to UV-irradiation○中川 真一¹ (1.北大・院・薬)

11:06 ~ 11:28

[4AW09-Conclusion] Conclusion

○廣瀬 哲郎¹ (1.北海道大学)

11:28 ~ 11:30

第10会場

[4AW10] ギャップジャンクションワークショップ
ーコネキシン・イネキシン・パネキシ
ン: 構造から発生、病理までーオーガナイザー:渡邊 正勝(大阪大学)、オーガナイザー:大嶋 篤典
(名古屋大学)09:00 ~ 11:30 第10会場 (神戸ポートピアホテル 南館 地下1階 ル
ビー)

[4AW10-Introduction] Introduction

○渡邊 正勝¹ (1.大阪大学)

09:00 ~ 09:08

[4AW10-1] クライオ電子顕微鏡を用いたギャップ結合
チャネルの構造研究○大嶋 篤典¹ (1.名大・細胞セ)

09:08 ~ 09:31

[4AW10-2] ギャップ結合を介した酸化ストレスおよびレ
ドックスシグナリングに対する調節作用

○姚 建¹ (1.山梨大・医学域・先端応用)

09:31 ~ 09:54

[4AW10-3] Gap junctionと骨形成: Pannexin 3と connexin 43の調べ

○石河 真幸¹ (1.東北大)

09:54 ~ 10:17

[4AW10-4] 中枢神経 GABAニューロンがギャップジャンクションを介して作る樹状突起の網状構造 dendritic reticulumは脳の場所ごとに多彩な形を織りなす

○福田 孝一¹ (1.熊本大・院生命科学・形態構築)

10:17 ~ 10:40

[4AW10-5] 視覚系ニューロン間のギャップ結合・電気シナプスの機能的意義

○日高 聡¹ (1.藤田保健衛生大・医・生理学)

10:40 ~ 11:03

[4AW10-6] 内耳ギャップジャンクションを標的とした iPS細胞からの遺伝性難聴モデル細胞と内耳細胞治療法の開発

福永 一朗¹、藤本 あゆみ¹、畠山 佳欧里¹、美野輪 治²、池田 勝久¹、○神谷 和作¹ (1.順天堂大学医学部耳鼻咽喉科学講座、2.理化学研究所バイオリソースセンター)

11:03 ~ 11:26

[4AW10-Conclusion] Conclusion

○大嶋 篤典¹ (1.名古屋大学)

11:26 ~ 11:30

[4PW10] 細胞膜分子による atypicalな細胞応答

オーガナイザー:山内 淳司(東京薬科大学)、オーガナイザー:加藤 裕教(京都大学)

13:30 ~ 16:00 第10会場 (神戸ポートピアホテル 南館 地下1階 ルビー)

[4PW10-1] がん細胞のグルコース代謝によるアミノ酸トランスポーター xCTの機能制御

○加藤 裕教¹ (1.京大・院生命)

13:30 ~ 13:55

[4PW10-2] TRPA1チャネルによる感覚神経の冷感受性機構と痛み・しびれ

○中川 貴之¹ (1.京都大学医学部附属病院薬剤部)

13:55 ~ 14:20

[4PW10-3] 脱髄性疾患モデルマウスにおける活性化型ミクログリア依存性 Wntシグナルの解析

○清水 健史^{1,2}、Ron Smits³、池田 一裕^{1,2} (1.生理研・分子神経生理、2.総研大・生理科学、3.エラスマスMC大学)

14:20 ~ 14:45

[4PW10-4] 加齢に伴う AT1R-P2Y6R複合体形成によるアンジオテンシン II誘発性高血圧の制御

○西村 明幸¹、Caroline Sunggip¹、富田 拓郎¹、西田 基宏^{1,2,3} (1.生理研・心循環シグナル、2.九大・薬・統括室、3.JSTさがけ「疾患代謝」)

14:45 ~ 15:10

[4PW10-5] $\alpha 4 \beta 1$ インテグリンリガンドと VCAM1受容体による中枢神経系ミエリン形成機構

○宮本 幸¹、山内 淳司² (1.国立成育センター・薬剤治療、2.東京薬科大・生命科学・分子神経)

15:10 ~ 15:35

[4PW10-6] Notch受容体の機能発現における O型糖鎖の多様で冗長的な機構

○松野 健治¹、松本 顕治郎¹、長谷川 真央¹ (1.阪大・院理・生物科学)

15:35 ~ 16:00

第12会場

[4AW12] 呼吸器生命科学のランドスケープ-分子生物学・発生生物学・再生医学の融合-

オーガナイザー:首藤 剛(熊本大学)、オーガナイザー:森本 充(理化学研究所)

09:00 ~ 11:30 第12会場 (神戸ポートピアホテル 南館 地下1階 エメラルド)

[4AW12-1] Wnt5a-Ror2シグナルは気管の間充細胞の極性を同調させ管腔の長さを制御する

○森本 充¹、岸本 圭史¹ (1.理化学研究所CDB呼吸器形成研究チーム)

09:00 ~ 09:25

[4AW12-2] メカノセンサーチャネル Piezo2を介した呼吸パターンの調節

○野々村 恵子^{1,2}、Seung-Hyun Woo¹、Rui Chang³、Astrid Gillich⁴、Zhaozhu Qui⁵、Allain Francisco¹、Sanjeev Ranade¹、Stephen Liberles³、Ardem Patapoutian¹ (1.スクリプス研究所、ハワード・ヒューズ医学研究所、2.基礎生物学研究所、3.ハーバード大学医学大学院、4.スタンフォード大学・ハワード・ヒューズ医学研究所、5.ノバルティス・ゲノム研究所)

09:25 ~ 09:50

[4AW12-3] 2型自然リンパ球と肺におけるアレルギー性炎症

○茂呂 和世¹ (1.理研IMS)

09:50 ~ 10:15

[4AW12-4] 疫学解析と自然発症型モデル動物解析の融合による閉塞性肺疾患の包括的理解と創薬研究

○首藤 剛¹ (1.熊本大・院薬・遺伝子機能応用学)

10:15 ~ 10:40

[4AW12-5] ヒト多能性幹細胞由来の呼吸器上皮細胞の有用性

○後藤 慎平^{1,2} (1.京大・院医・呼吸器創薬、2.京大・院医・呼内)

10:40 ~ 11:05

[4AW12-6 (3P-0840)] 遺伝性呼吸器疾患嚢胞性繊維症 (Cystic Fibrosis, CF) に対する遺伝子治療と再生医療の展望

○鈴木 伸悟^{1,2}、帖佐 圭佑^{1,3}、Cristina Barilla^{1,4}、Dieter Gruenert¹、Roy Sargent¹ (1.Dept. of OHNS, UC, San Francisco、2.Department of Biomed. Exper. and Clin. Sci., Univ. of Florence、3.熊本大・院薬・先端生命医療科学、4.Dept. of Mol. Med., Univ. of Pavia)

11:05 ~ 11:30

第13会場

[4AW13] ユビキチン・コード：細胞内の最も難解な暗号を読む

オーガナイザー:佐伯 泰(東京都医学総合研究所)、オーガナイザー:村田 茂穂(東京大学)

09:00 ~ 11:30 第13会場 (神戸国際会議場 1階 メインホール)

[4AW13-Introduction] Introduction

○佐伯 泰¹ (1.東京都医学総合研究所)

09:00 ~ 09:03

[4AW13-1] p97および RAD23によるプロテアソーム分解制御

○佐伯 泰¹ (1.都医学研・蛋白質代謝)

09:03 ~ 09:21

[4AW13-2] ユビキチンリガーゼ ASB7による DDA3の発現制御は、適切な紡錘体形成と染色体分配に必要である

○奥村 文彦¹、植松 桂司¹、外海 駿輔¹、奥村(城尾) 晶子¹、Alemayehu Dawit¹、錦見 昭彦³、福井 宣規²、中務 邦雄¹、嘉村 巧¹ (1.名大・院理・生命、2.九大・生医研・免疫遺伝、3.北里大・理・生物科学)

09:21 ~ 09:39

[4AW13-3] DNAメチル化継承を制御するユビキチン・コード

○西山 敦哉¹、石山 玲²、佐伯 泰³、三島 優一⁴、川上 徹⁵、北條 裕信⁵、末武 勲⁴、有田 恭平²、中西 真¹ (1.東大・医科研・癌防御、2.横浜市大・生命医科学・構造生物、3.都医総研・蛋白質代謝、4.阪大・蛋白研・エピジェネティクス、5.阪大・蛋白研・蛋白質有機化学)

09:39 ~ 09:57

[4AW13-4] ユビキチン化を介した構造異常タンパク質の核外排出分子機構の解析

○平山 尚志郎¹、大東 宣貴¹、八代田 英樹¹、村田 茂穂¹ (1.東京大学)

09:57 ~ 10:15

[4AW13-5] ユビキチンコードによる損傷ミトコンドリアの標識

○山野 晃史¹、松田 憲之¹ (1.都医学研・ユビキチン)

10:15 ~ 10:33

[4AW13-6] USP30による Lys6結合型ユビキチン鎖特異的切断機構の構造的基盤

○佐藤 裕介¹、尾勝 圭¹、佐伯 泰²、山野 晃史²、松田 憲之²、海保 愛²、山形 敦史¹、伊藤 桜子¹、石川 稔¹、橋本 祐一¹、田中 啓二²、深井 周也¹ (1.東大・分生研、2.都医学研)

10:33 ~ 10:51

[4AW13-7] 脱ユビキチン化酵素 USP8によるコラーゲン分泌経路の制御

○川口 紘平¹、遠藤 彬則¹、福嶋 俊明¹、和栗 聡²、駒田 雅之¹ (1.東工大・科技創成研究院・細胞制御センター、2.福島医大・医・解剖組織)

10:51 ~ 11:09

[4AW13-8] 直鎖状ユビキチン鎖生成酵素 LUBACによる免疫恒常性維持と炎症制御

○佐々木 克博¹、岩井 一宏¹ (1.京大・院医・細胞機能制御)

11:09 ~ 11:27

[4AW13-Conclusion] Conclusion

○村田 茂穂¹ (1.東京大学)

11:27 ~ 11:30

第15会場

[4AW15] ライフイベントを紡ぐ栄養環境への適応機構

オーガナイザー:上村 匡(京都大学)、オーガナイザー:深水 昭吉(筑波大学)

09:00 ~ 11:30 第15会場 (神戸国際会議場 3階 レセプションホール)

[4AW15-1] 個体成長において栄養バランス変化への適応を支える全身性シグナル経路

服部 佑佳子¹、渡辺 佳織¹、高橋 優喜¹、古溝 優生¹、金岡 泰哲¹、内山 博允²、矢嶋 俊介²、和多田 正義³、○上村 匡¹ (1.京大・院生命、2.東京農大・生物資源ゲノム、3.愛媛大・院理工学)

09:00 ~ 09:25

[4AW15-2] アミノ酸取り込みを調節する酵母細胞間相互作用

○八代田 陽子¹ (1.理研・CSRS・ケミカルゲノミクス)

09:25 ~ 09:50

[4AW15-3] イトヨの淡水進出を支える脂肪酸代謝

石川 麻乃¹、○北野 潤¹ (1.遺伝研・生態遺伝)

09:50 ~ 10:15

[4AW15-4] 低栄養による哺乳類の生殖機能抑制の脳内メカニズム

○東村 博子¹ (1.名古屋大学大学院生命農学研究科)

10:15 ~ 10:40

[4AW15-5] 哺乳類の冬眠を可能とする全身性代謝変化の分子基盤

○山口 良文¹ (1.東大・薬・遺伝)

10:40 ~ 11:05

[4AW15-6] 栄養-メチル化作用が働きかける代謝と老化

○深水 昭吉¹ (1.筑波大・TARA)

11:05 ~ 11:30

[4PW15] 胚と配偶子の転写制御機構

オーガナイザー:山縣 一夫(近畿大学)、オーガナイザー:佐藤 優子(東京工業大学)

13:30 ~ 16:00 第15会場 (神戸国際会議場 3階 レセプションホール)

[4PW15-Introduction] Introduction

○佐藤 優子¹ (1.東京工業大学)

13:30 ~ 13:33

[4PW15-1] 精子クロマチン構造の再評価

○岡田 由紀¹、山口 幸佑¹ (1.東大・分生研)

13:33 ~ 13:57

[4PW15-2] 母性ヒストン修飾による胚性遺伝子の片アレル性発現の制御

○井上 梓^{1,2}、Lan Jiang^{1,2}、Falong Lu^{1,2}、Yi Zhang^{1,2} (1.ハーバードメディカルスクール、2.ボストン小児病院)

13:57 ~ 14:21

[4PW15-3] CHD1はマウス初期胚において胚性ゲノムの活性化時の Hmgpi の発現を介して細胞の運命決定を制御している

○南 直治郎¹ (1.京都大学)

14:21 ~ 14:45

[4PW15-4] 長鎖 ncRNA によるほ乳類エピゲノム制御

○今村 拓也¹ (1.九州大学医学研究院)

14:45 ~ 15:09

[4PW15-5] ゼブラフィッシュ胚ゲノム活性化におけるヒストン修飾動態の意義

○佐藤 優子¹、Lennart Hilbert^{2,3,4}、Vasily Zaburdaev^{2,3}、Nadine Vastenhouw⁴、木村 宏¹ (1.東工大・科学技術創成研究院、2.Center for Systems Biology Dresden、3.MPI Physics of Complex Systems、4.MPI Molecular Cell Biology and Genetics)

15:09 ~ 15:33

[4PW15-6] ツメガエル卵抽出液で核依存的な転写を誘起することは可能か?

○大隅 圭太¹、加藤 さつき¹、濱崎 省吾¹、岩淵 万里¹ (1.名大・院理・生命理学)

15:33 ~ 15:57

[4PW15-Conclusion] Conclusion

○山縣 一夫¹ (1.近畿大学)

15:57 ~ 16:00

第16会場

[4AW16] 原核細胞ゲノム動態の新たな基礎研究の展開

オーガナイザー:片山 勉(九州大学)、オーガナイザー:石野 良純(九州大学)

09:00 ~ 11:30 第16会場 (神戸国際会議場 4階 401+402)

[4AW16-Introduction] Introduction

○石野 良純¹ (1.九州大学)

09:00 ~ 09:04

[4AW16-1] 核様体タンパク質の高精度マッピングでゲノム動態を解析する

○大島 拓¹ (1.富山県立大学)

09:04 ~ 09:22

[4AW16-2] バクテリアコンデンシン複合体 Smc-

ScpABの結合部位としての rRNA 遺伝子の役割
○矢野 晃一¹、仁木 宏典¹ (1.遺伝研・系統生物セ・原核生物)

09:22 ~ 09:40

[4AW16-3] 大腸菌染色体の複製開始における DnaAタンパク質とその制御 DNA因子*DARS2*および*d atA*の分子動態機構
○片山 勉¹、加生 和寿¹、崎山 友香里¹、酒井 隆至¹、杉山 諒¹、井上 祐希江¹、川上 広宣¹ (1.九大・院薬・分子生物)

09:40 ~ 09:58

[4AW16-4] セカンドメッセンジャー cyclic di-GMPは細胞周期キナーゼ活性を調節し、染色体複製を駆動する
○尾崎 省吾¹、Christian Lori¹、Badri Dubey¹、T ilman Schirmer¹、Urs Jenal¹ (1.Biozentrum, Univ. of Basel)

09:58 ~ 10:16

[4AW16-5] 超好熱性アーキア *Thermococcus kodakarensis*の DNA合成酵素遺伝子に関する分子遺伝学的解析
○東端 啓貴¹、櫛田 卓志¹、鳴海 一成¹、石野 園子²、石野 良純²、藤原 伸介³、今中 忠行⁴ (1.東洋大院・生命科学、2.九州大院・農学研究、3.関西学院大院・理工、4.立命館大・総合科学技術研究機構)

10:16 ~ 10:34

[4AW16-6] 好熱性アーキア *Thermoplasma acidophilum*における複製ヘリカーゼの機能解析

○尾木野 弘実¹ (1.岐阜大・工)

10:34 ~ 10:52

[4AW16-7] 超好熱性アーキアから発見した新規のミスマッチ修復機構

○石野 園子¹ (1.九大・院農)

10:52 ~ 11:10

[4AW16-8] 超好熱性アーキア *Pyrococcus furiosus*の熱ショック時における RNAプロセシング制御

○金井 昭夫^{1,2} (1.慶應大・先端生命研、2.慶應大・環境情報)

11:10 ~ 11:28

[4AW16-Conclusion] Conclusion

○片山 勉¹ (1.九州大学)

11:28 ~ 11:30

[4PW16] 細胞個性を生み出す翻訳制御の「妙」
オーガナイザー:藤原 俊伸(近畿大学)、オーガナイザー:浅原 弘嗣(東京医科歯科大学)
13:30 ~ 16:00 第16会場 (神戸国際会議場 4階 401+402)

[4PW16-Introduction] Introduction

○藤原 俊伸¹ (1.近畿大学)

13:30 ~ 13:35

[4PW16-1] Poliovirusの組織特異的増殖を生み出す IRES依存的翻訳機構の解明

貞廣 暁利²、深尾 亜喜良¹、竹内 理²、○藤原 俊伸¹
(1.近大・薬、2.京大・ウイルス・再生医科学研究 所)

13:35 ~ 13:55

[4PW16-2] 翻訳を制御する RNAスイッチ：標的細胞の選別と運命制御

○齊藤 博英¹ (1.京都大学)

13:55 ~ 14:20

[4PW16-3] 酵母由来再構成型翻訳システムの開発とその応用

○富田(竹内) 野乃¹ (1.東京大学大学院 新領域創成科学研究科)

14:20 ~ 14:40

[4PW16-4] 神経において mTORシグナル伝達経路は

Palladinの翻訳を調節して軸索の形成を制御する

梅垣 祐介^{1,2}、Antonio Martinez Brotons^{1,2}、中西 由衣^{1,2}、Azad Bonni³、○池内 与志穂^{1,2}
(1.東大・生研、2.東大・院工・化生、3.ワシントン大学(セントルイス))

14:40 ~ 15:00

[4PW16-5] ゼブラフィッシュ胚発生を制御するコドン依存的な mRNA分解機構

○三嶋 雄一郎¹ (1.東大・分生研)

15:00 ~ 15:20

[4PW16-6] 炎症性サイトカインを制御する RNA結合タンパクの解析

○浅原 弘嗣¹、千葉 朋希¹ (1.東京医科歯科大・医学部・システム医学)

15:20 ~ 15:40

[4PW16-7] CCR4-NOT複合体による Atg7依存性細胞死抑制を介した心機能制御の分子機構

○久場 敬司¹ (1.秋田大・院医・分子機能)

15:40 ~ 16:00

第17会場

[4AW17] エンドサイトーシス生物学の新展開
オーガナイザー:五十嵐 道弘(新潟大学)、オーガナイザー:高森 茂雄(同志社大学)
09:00 ~ 11:30 第17会場 (神戸国際会議場 5階 501)

[4AW17-Introduction] Introduction

○五十嵐 道弘¹ (1.新潟大学)

09:00 ~ 09:05

[4AW17-1] 脂肪酸に依存した BARドメインの脂質膜形態形成

○塙 京子¹、木田 和輝¹、大山 拓也¹、末次 志郎¹
(1.奈良先端・バイオ)

09:05 ~ 09:34

[4AW17-2] ダイニンによる膜切断過程の動態イメージング

竹田 哲也¹、小財 稔矢²、楊 惠然¹、石黒 大輝²、背山 佳穂¹、熊谷 祐介²、阿部 匡史¹、山田 浩司¹、内橋 貴之⁴、安藤 敏夫³、○竹居 孝二¹ (1.岡山大学・院・医歯薬・生化学、2.金沢大学・院・理工、3.金沢大学・バイオAFMフロンティアリサーチセンター、4.名古屋大学・院・理)

09:34 ~ 10:03

[4AW17-3] 神経成長におけるエンドサイトーシスとアクチン再編の関係

○野住 素広¹、五十嵐 道弘¹ (1.新潟大学・院医歯学・分子細胞機能学)

10:03 ~ 10:32

[4AW17-4] 神経終末におけるシナプス小胞のリサイクリング経路の解析

○森 靖典¹、高森 茂雄¹ (1.同志社大学・脳科学)

10:32 ~ 11:01

[4AW17-5] 神経活動に依存したダイナミン・ミオシン活性化とエンドサイトーシス・小胞移送

○持田 澄子¹ (1.東京医大・医・細胞生理学)

11:01 ~ 11:30

第24会場

[4AW24] 生活習慣病において分子・細胞・組織・全身連携が司る代謝変容の病態意義

オーガナイザー:尾池 雄一(熊本大学)、オーガナイザー:真鍋 一郎(千葉大学)

09:00 ~ 11:30 第24会場 (神戸商工会議所 3階 神商ホールA)

[4AW24-Introduction] Introduction

○真鍋 一郎¹ (1.千葉大学)

09:00 ~ 09:03

[4AW24-1] アミノ酸バランスが司る造血幹細胞の制御

○山崎 聡¹ (1.東大・医科研・幹細胞)

09:03 ~ 09:27

[4AW24-2] GSK-3 α はPPAR α の機能の調節を介して心臓の脂肪毒性に関与する

中村 通也¹、○佐渡島 純一¹ (1.ラトガース ニュージャージー医科大学)

09:27 ~ 09:51

[4AW24-3] 高糖質食負荷による全身性の代謝異常が腫瘍増殖を促進する分子機序の解析

○平林 享¹ (1.MRC London Institute of Medical Sciences)

09:51 ~ 10:15

[4AW24-4] マクロファージにおける細胞代謝-機能連携のメカニズム

○大石 由美子¹ (1.東京医科歯科大・難研・細胞分子医学)

10:15 ~ 10:39

[4AW24-5] 肥満環境で誘導される Th17細胞分化における脂肪酸代謝のユニークな役割の解明

○遠藤 裕介¹ (1.千葉大学・医学研究院・免疫発生学)

10:39 ~ 11:03

[4AW24-6] 交感神経によるリンパ球動態と適応免疫応答の制御

○鈴木 一博¹ (1.阪大・IFReC)

11:03 ~ 11:27

[4AW24-Conclusion] Conclusion

○尾池 雄一¹ (1.熊本大学)

11:27 ~ 11:30

[4PW24] 必須微量元素“セレン”の生物学と医学一発見から200年を迎えて

オーガナイザー:斎藤 芳郎(同志社大学)、オーガナイザー:今井 浩孝(北里大学)

13:30 ~ 16:00 第24会場 (神戸商工会議所 3階 神商ホールA)

[4PW24-Introduction] Introduction

○斎藤 芳郎¹ (1.同志社大学)

13:30 ~ 13:35

[4PW24-1] 質量分析法によるセレン代謝物の解析

○小椋 康光¹ (1.千葉大学・院薬・予防薬学)

13:35 ~ 14:04

[4PW24-2] セレンタンパク質生合成の初発段階: セレニドの生成と供給の謎

○三原 久明¹ (1.立命大学・生命・生物工)

14:04 ~ 14:33

[4PW24-3] セレンタンパク質 GPx4とビタミン Eによる脂質酸化の抑制は生命の維持に必須である

○松岡 正城¹、幸村 知子¹、今井 浩孝¹ (1.北里大学・薬・衛生化学)

14:33 ~ 15:02

[4PW24-4] 血漿セレン含有タンパク質セレノプロテイン Pの機能と疾患-レドックスバランスと隣β細胞の機能

○齋藤 芳郎¹ (1.同志社大・生命医科学・医生命システム)

15:02 ~ 15:31

[4PW24-5] サイレンシングヘパトカインセレノプロテイン

Pの過剰による2型糖尿病関連病態の発症

○御簾 博文^{1,2} (1.金大・院医・内分泌代謝内科学、2.JST さきがけ)

15:31 ~ 16:00

